

內日本蠶綿書

御內典奏祝東業記念鳳真帖

昭和三十五年十月三日

緒言

今上陛下御即位大禮の御舉行に當りては特に蠶絲業は歴代の皇室より厚き御奨励を賜はり其の御庇護を蒙りて今日の盛況を呈するに至りたるを以て斯業に従事する者は千載一遇のこの機會に於て何等かの方法を以て奉祝の赤誠を捧げ一は寶祥の無窮に 聖壽の萬歳を壽ぎ奉り一は鴻恩の萬分一に酬ひ奉らんことを希ふもの多きを察し本會に於ては多數當業者の微衷を捧げ得べき方法に付數次議を凝したる末當事者の生産に係る繭及生絲、玉絲を集め之を織物となして献上せんことを企て先づ支會に諮り更に本會評議員會の決議を経再び支會當局と協議して普く其の趣旨を周知せしめたるに當業者先を競ふて其の生産品を寄進し其の數豫想の六割増の盛況を呈し繰絲及機織を委託したる六十餘の工場亦皆之を光榮として快諾し敬虔丹念の精神を罩めて之に當り豫定の日限内に優良の製品を作製し十二月二十一日滞りなく献上の手續を完了し得たり。

惟ふに斯の如く空前の盛況を呈し且つ寄進者、關係者を合すれば其の數實に百萬を算し取扱多岐多端に亘りたるにも拘らず何等の支障なく順調圓滿に本事業を遂行し得たるは一に 御聖徳の稜威に依るものにして感激措く能

はざるご共に邦家の爲洵に慶賀に堪えざる處なり而して
寄進者、關係者赤誠の發露は隨所に美談佳話を作り如何
に皇室尊崇の念厚きかを思はしめ思想善導上に偉大な
る影響を及ぼしたるものあるを信ず。

茲に本事業の完了に際し實況の寫眞と經過の概要とを輯
録して永く之を記念するに當り直接事務に携はりて多大
の聲援を與へられたる支會當局を始め地方蠶業機關及各
團體の當事者及犠牲的の奉仕を捧げられたる製絲業者、
帝國蠶絲倉庫株式會社並に機業者各位に對し深甚なる感
謝の意を表す。

昭和三年十二月盡日

大日本蠶絲會々頭子爵 牧 野 忠 篤

聖 壽 萬 歲



天 皇 陛 下

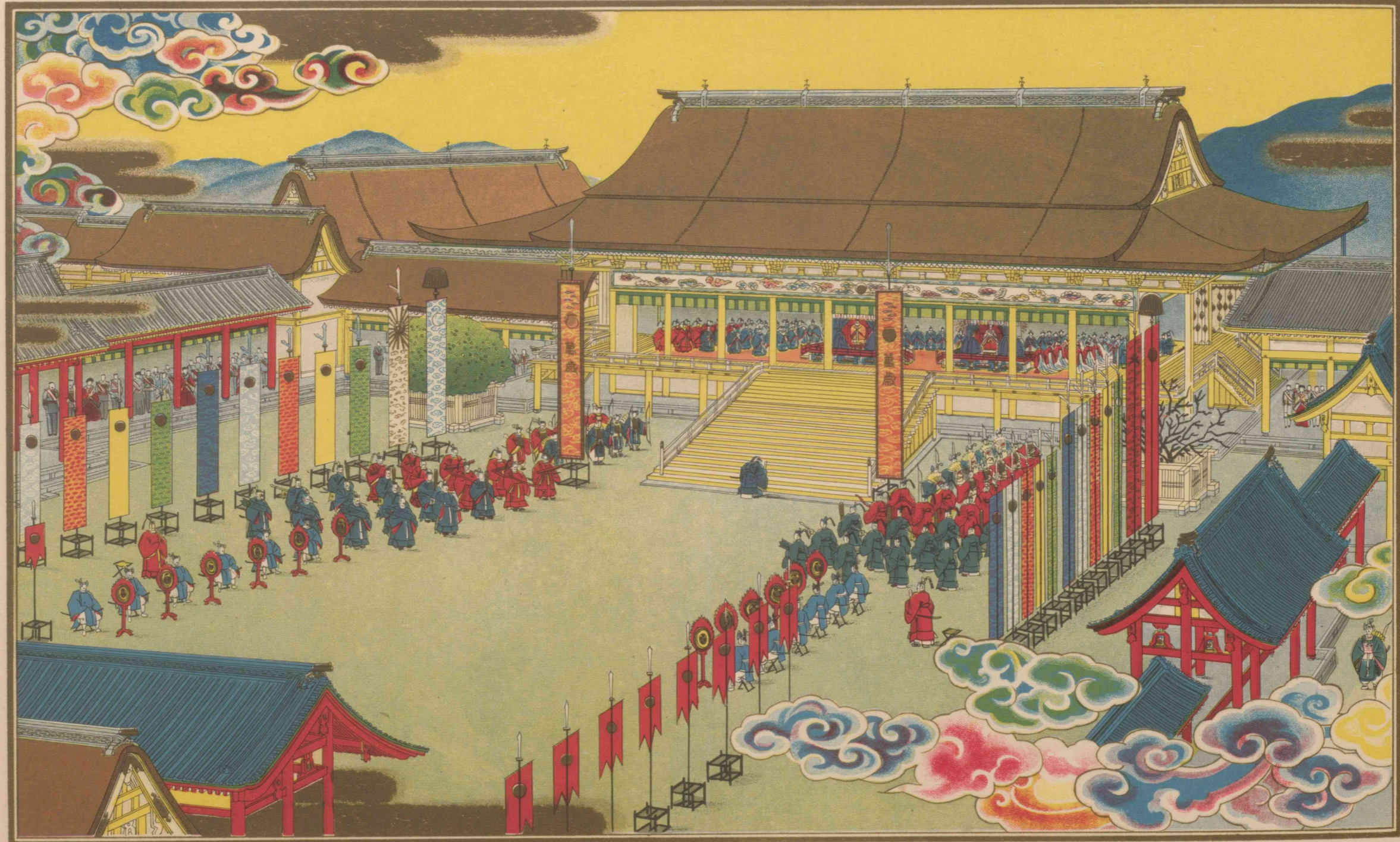


皇 后 陛 下

賢 所 卜 函 簿



(儀御ノ殿宸紫)禮位即



大嘗祭(大嘗宮御渡)





大日本蠶絲會總裁閑院載仁親王殿下



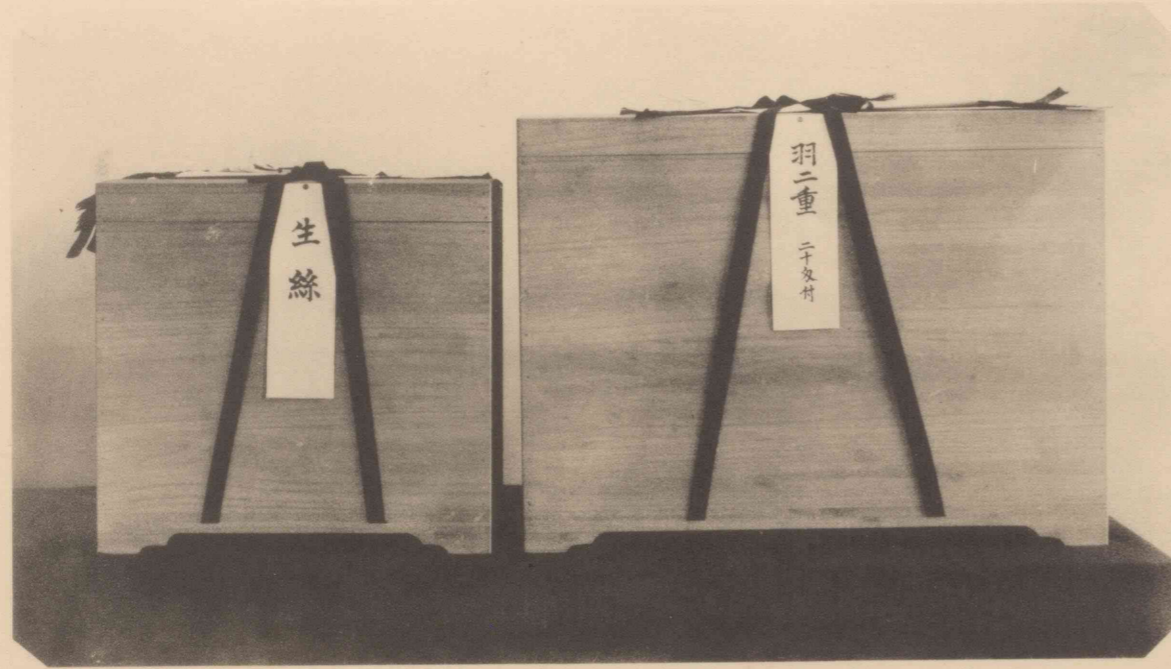
大日本蠶絲會副頭農學博士本多岩次郎



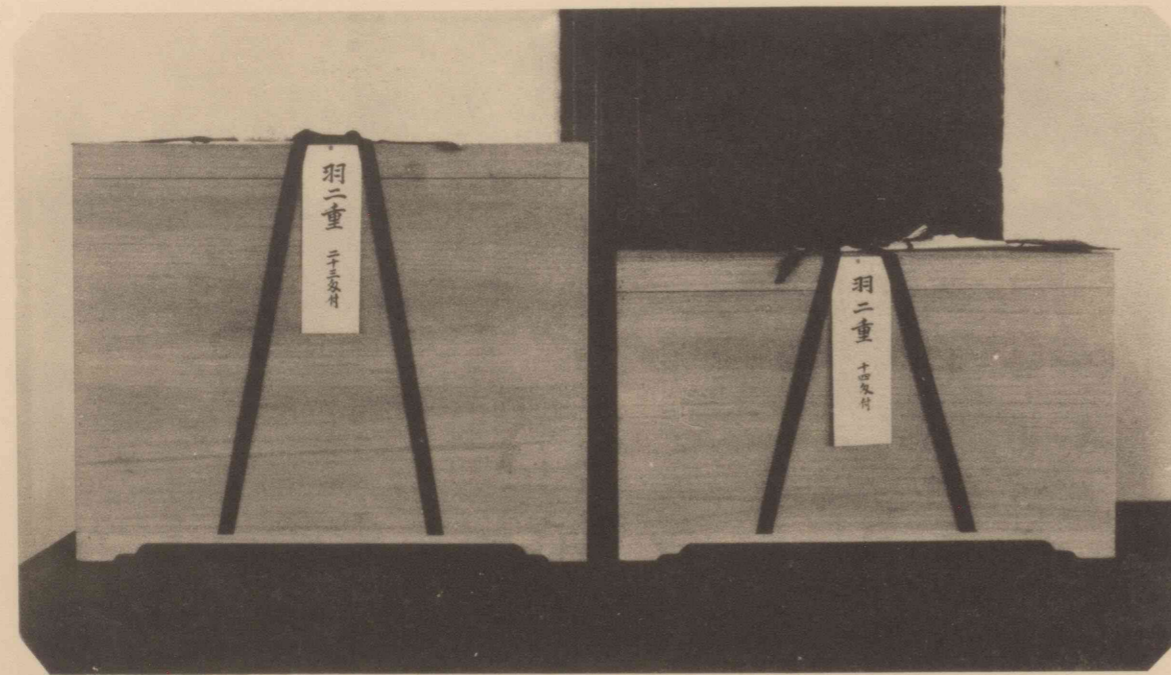
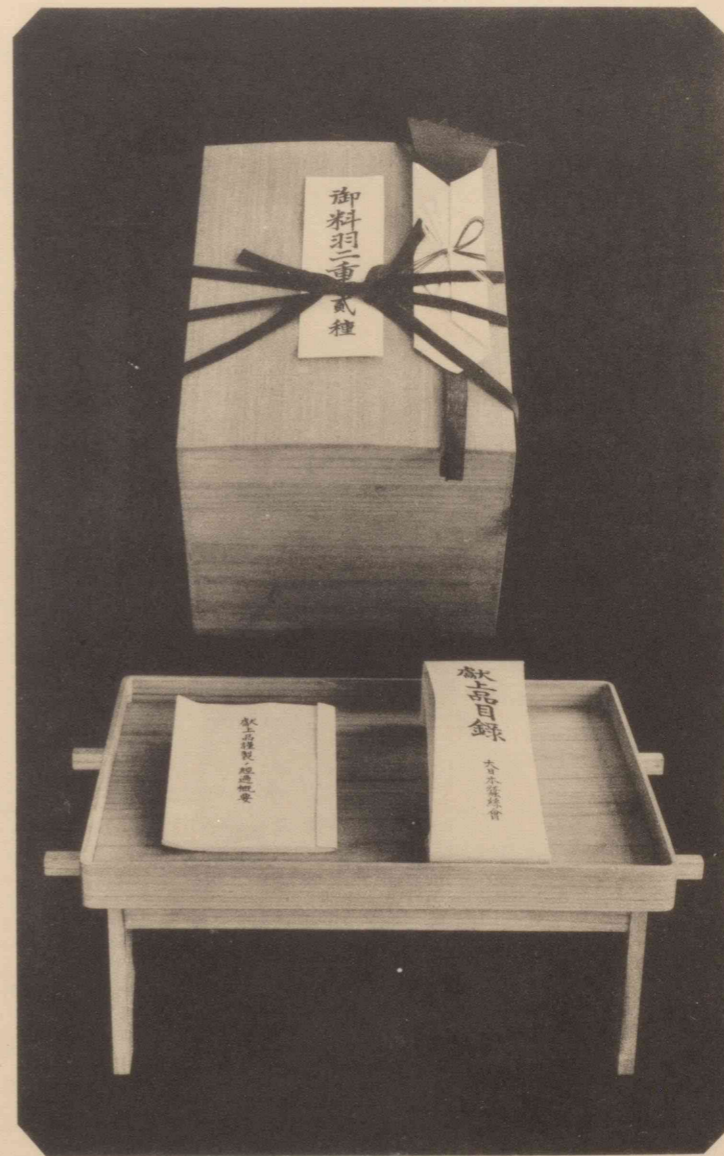
大日本蠶絲會副頭子爵牧野忠篤

(一ノ共) 品 上 獻

疋百 付 匁 十二 重 二 羽
糊 一 絲 生



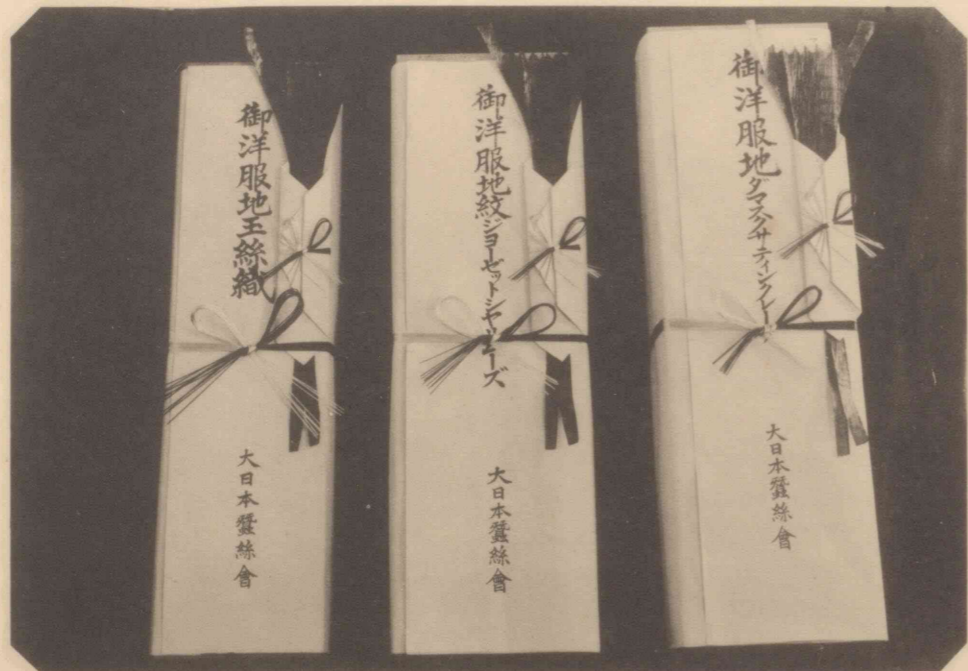
疋十二 種 二 重 二 羽 料 御



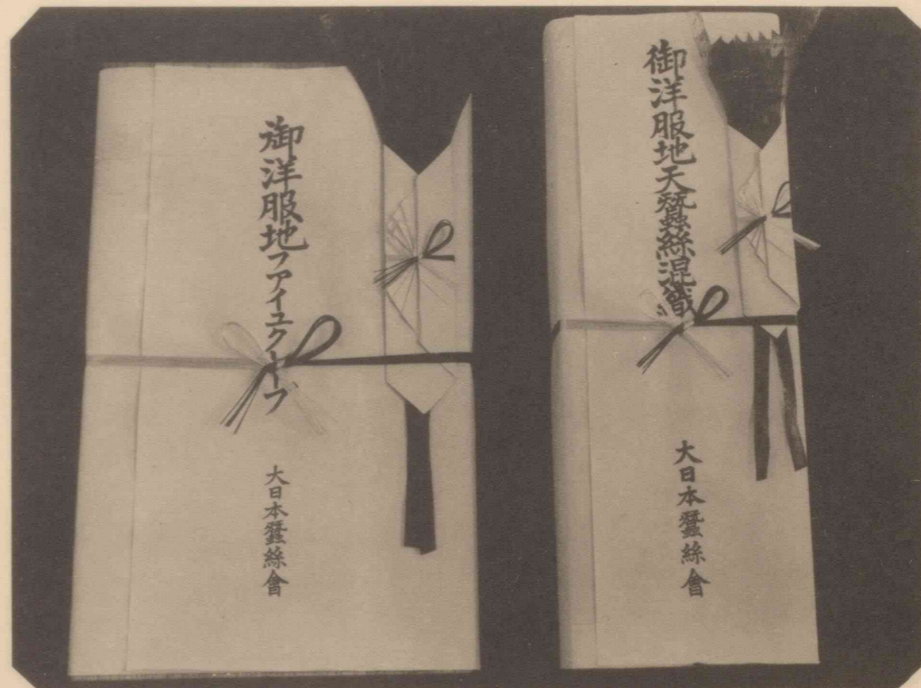
疋百 付 匁 四 十 重 二 羽
疋百 付 匁 三 十 二 同

(二ノ其) 品 上 献

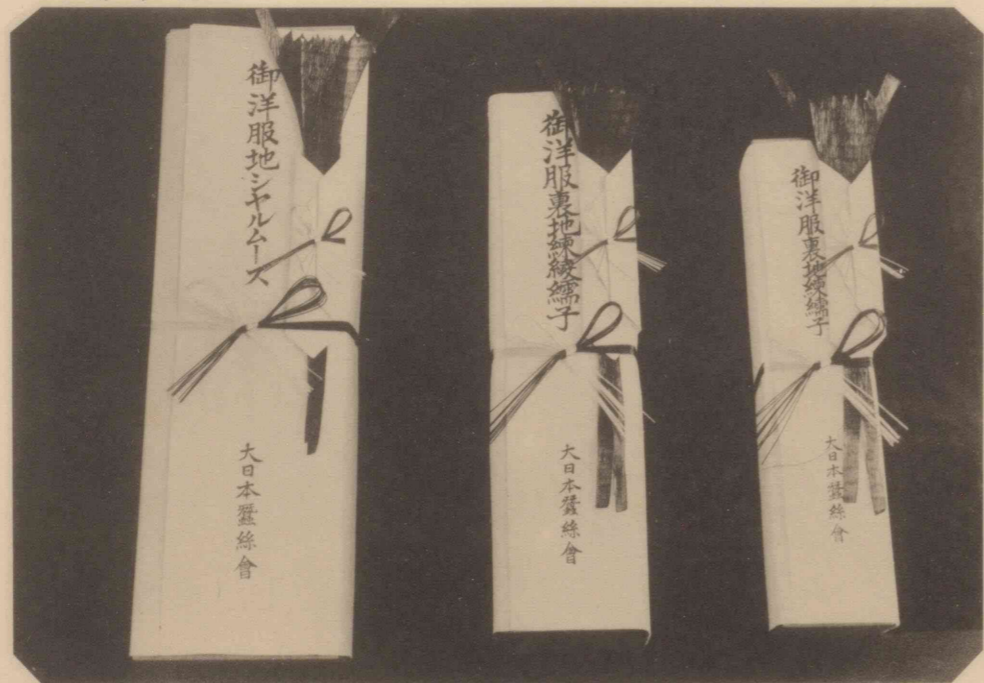
碼 十 五 百 プーレクニイテサクスマダ 地 服 洋 御
 碼 十 五 ズームルヤシトツゼーヨジ紋 同
 碼 十 三 織 絲 玉 同



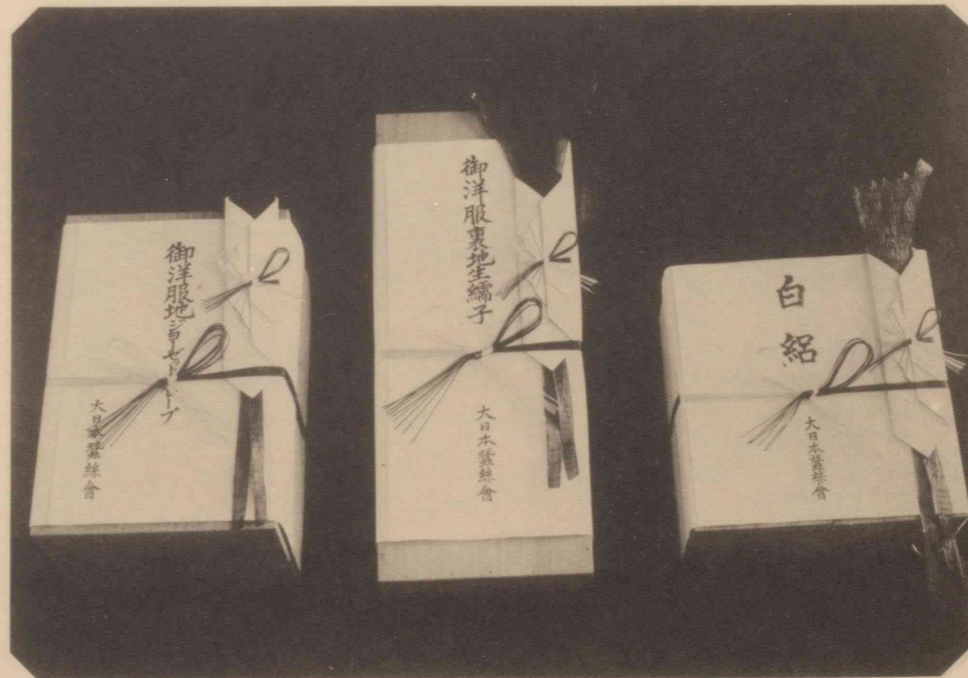
碼 十 五 織 混 絲 蠶 天 地 服 洋 御
 碼 十 五 百 プーレクニイアフ 同



碼 十 五 子 繻 練 地 裏 服 洋 御
 碼 十 五 子 繻 綾 練 地 服 洋 御
 碼 十 五 百 ズームルヤシ 同



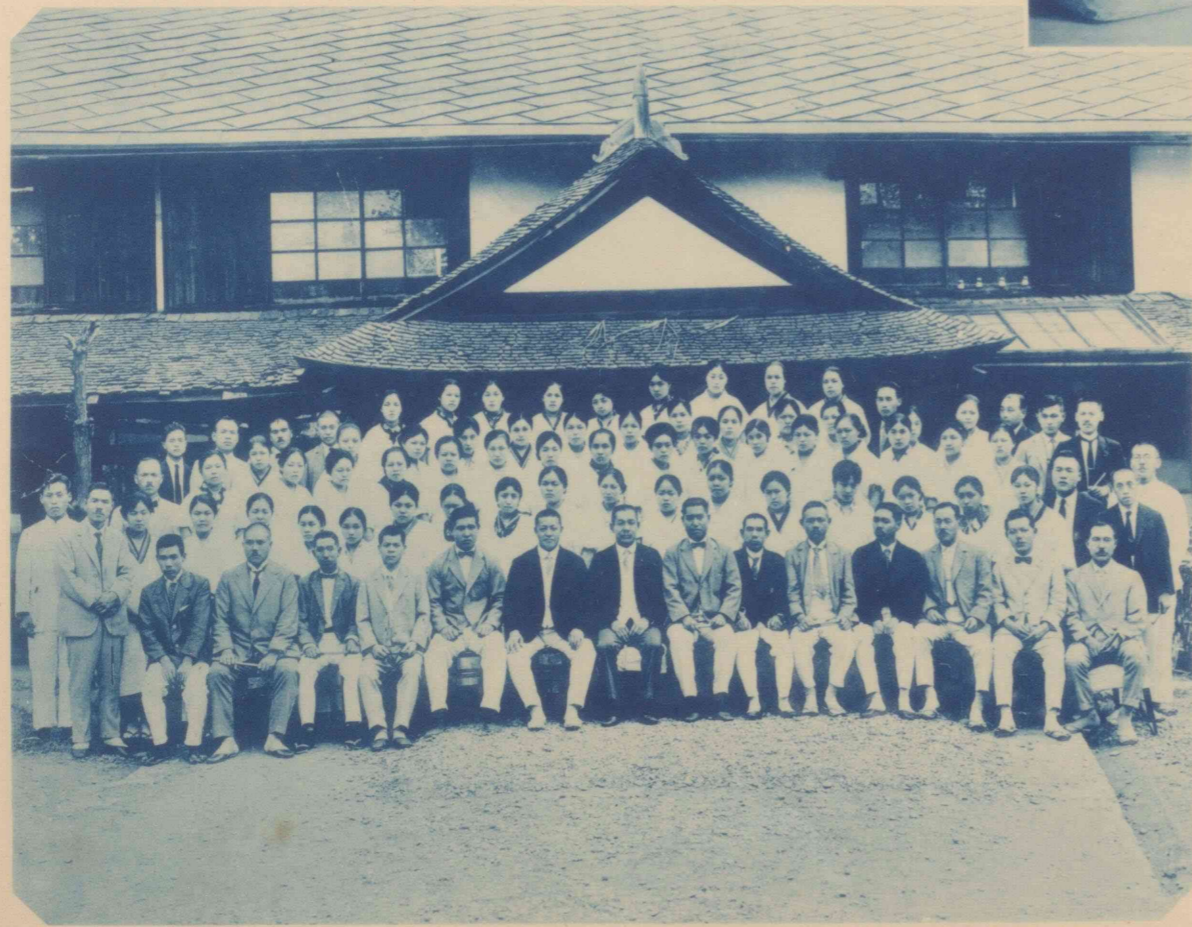
疋 十 紹 白
 碼 十 五 子 繻 生 地 裏 服 洋 御
 碼 十 五 百 プーレクトツゼーヨジ 同



秋 田 縣 奉 獻 繭



片倉製絲紡績株式會社盛岡製絲所奉獻繭絲關係者

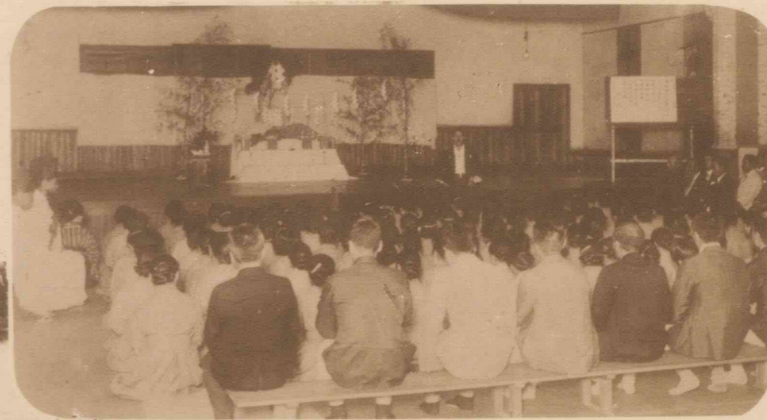


片倉製絲紡績株式會社仙臺製絲所奉獻繭絲

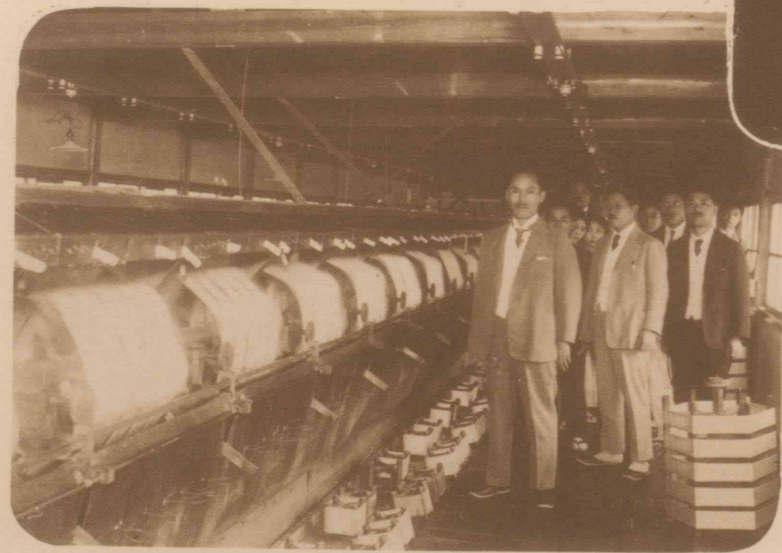
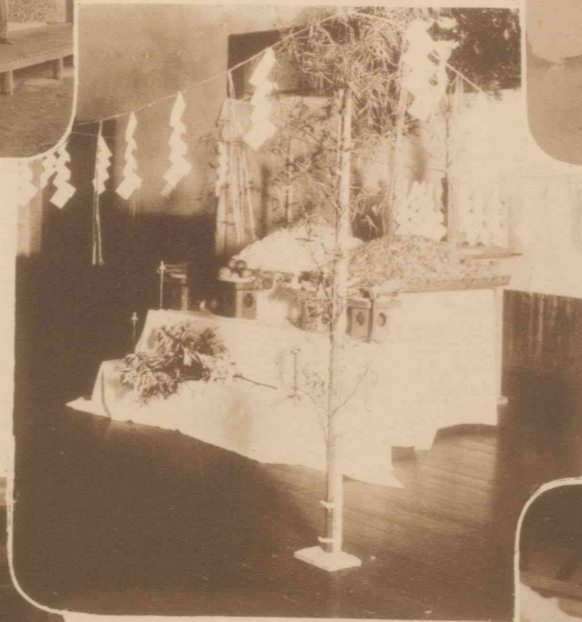
繭 撰



式 殿 修



壇 祭



返 揚



絲 繰

者獻奉繭旨蛾一校學小田蓬郡川石縣島福



者獻奉繭旨蛾一校學小町倉棚 縣同

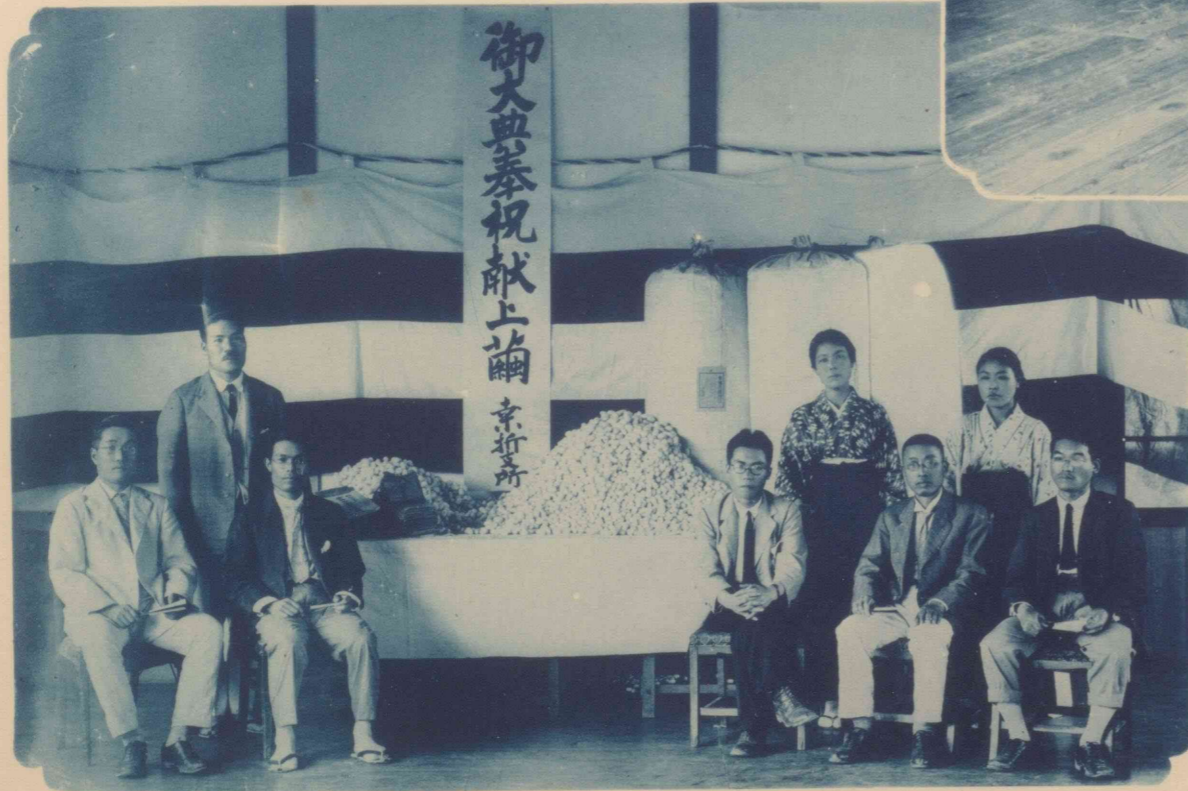


福 島 縣 奉 獻 繭

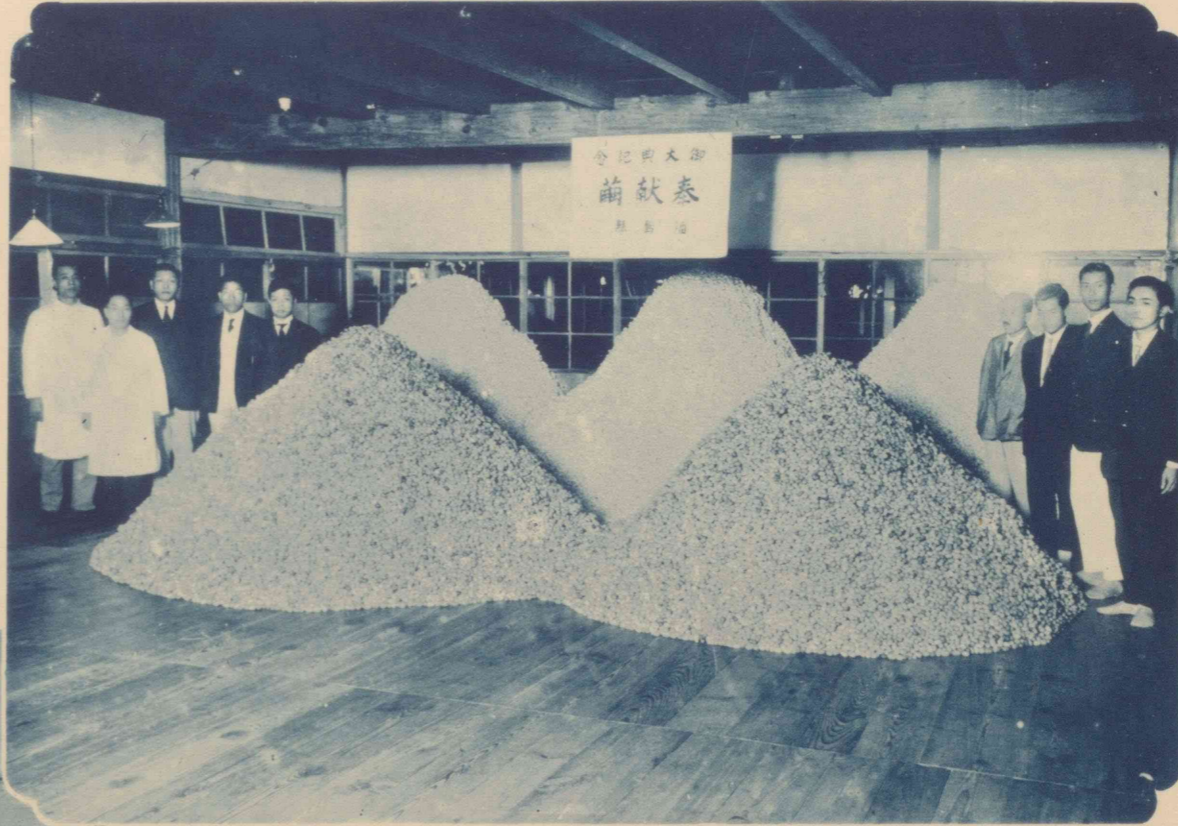
同 福 島 支 所



同 桑 折 支 所



福 島 縣 蠶 業 取 締 所 郡 支 所



同 福 島 支 所

同掛田支所



同保原支所



福島縣蠶業取締所若松支所

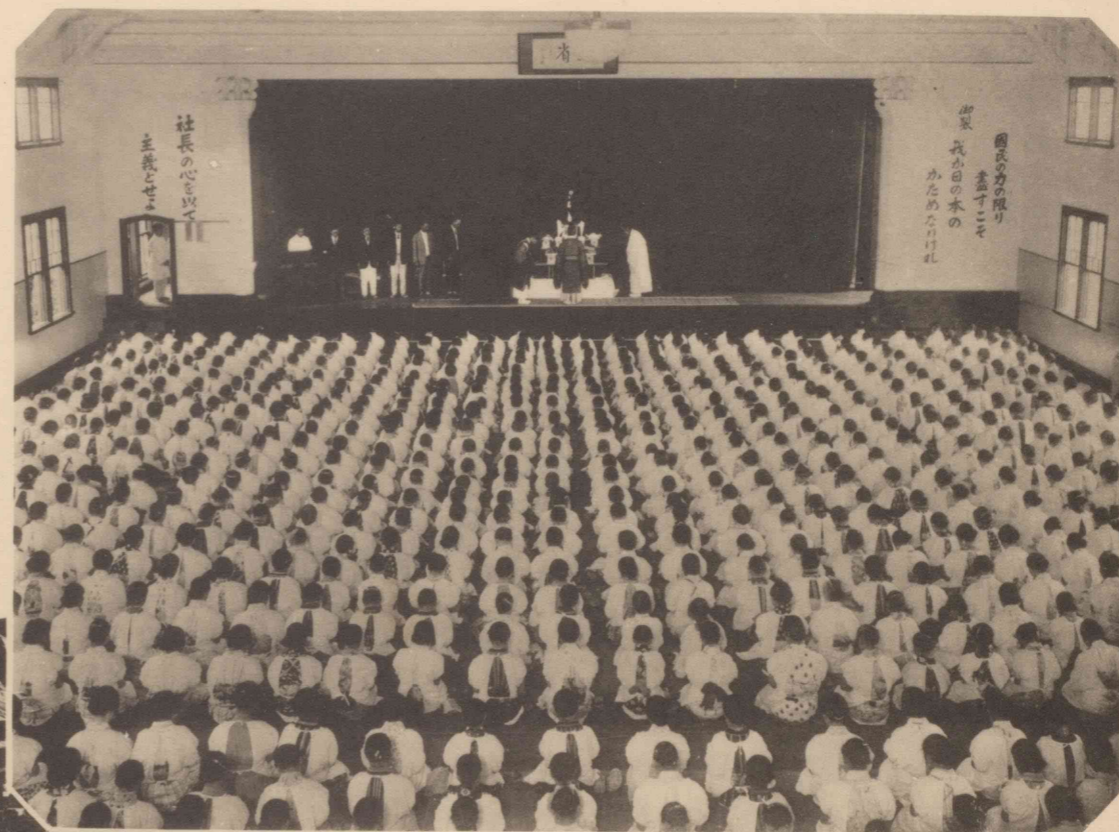


同二本松支所



片倉製絲紡績株式會社岩代製絲所ノ奉獻繅絲

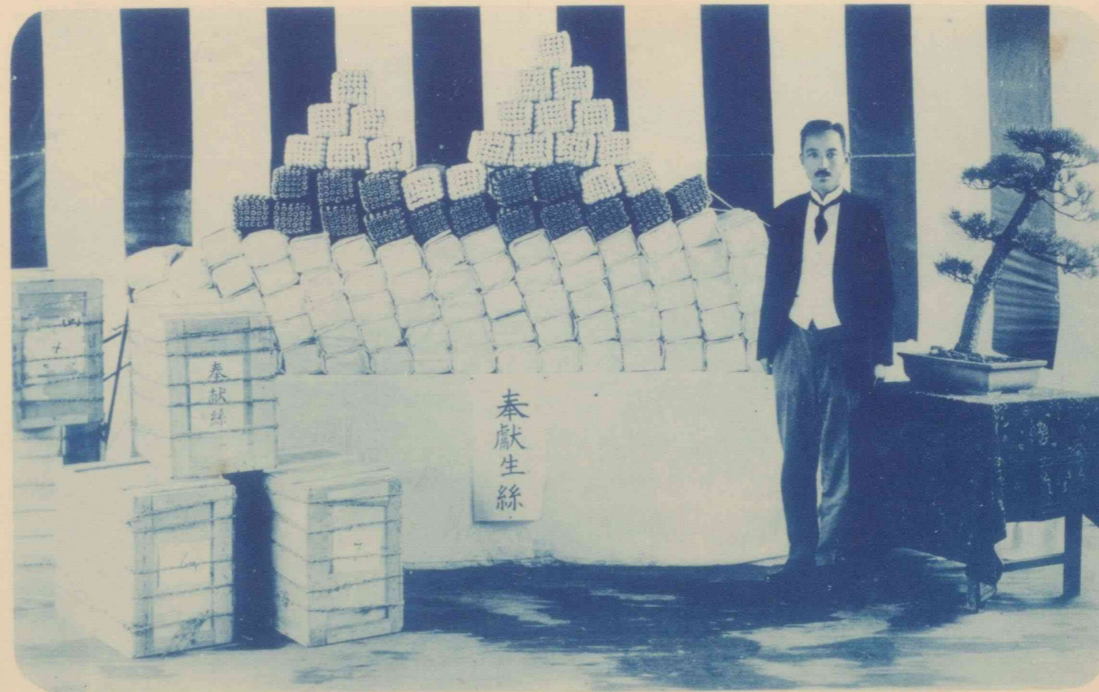
修 祓 式



同 繅 絲



茨城縣ノ奉獻生絲



千葉縣匝瑳郡養蠶聯合會ノ奉獻繭付



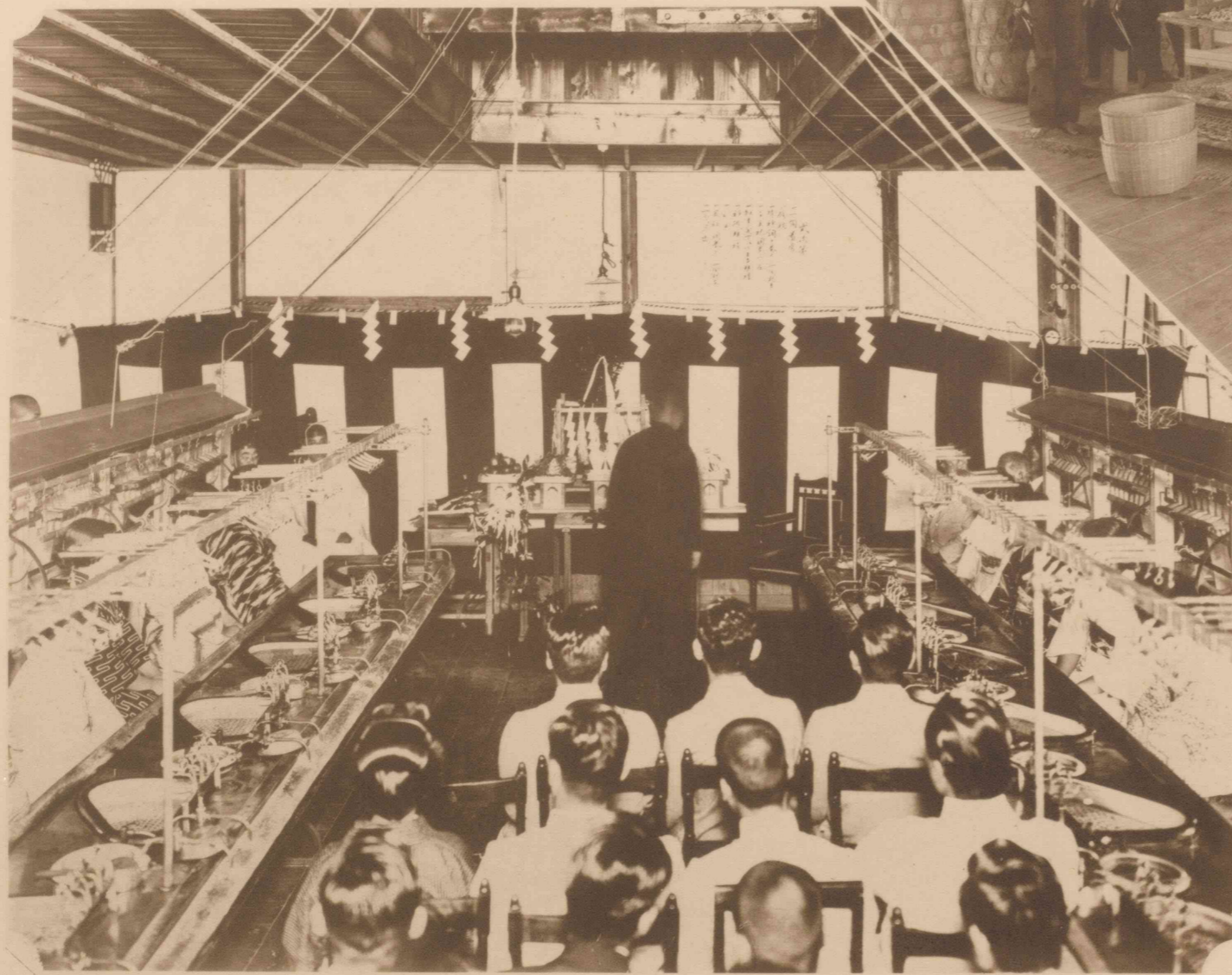
有限責任販賣組合群馬社
ノ奉獻繭繰絲



育飼兒蠶ノ繭獻奉ルケ於ニ校學農谷熊立縣玉埼



式祓修絲繰繭獻奉ノ場驗試業蠶縣玉埼

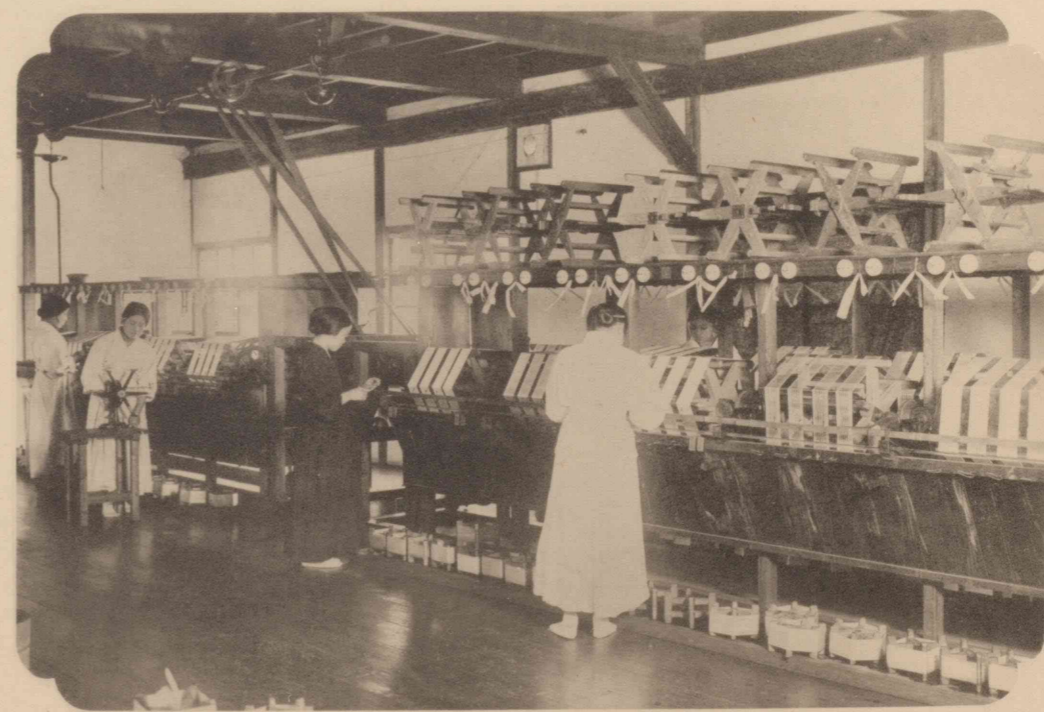


東京高等蠶絲學校ノ奉獻繅絲

繅 絲



東 裝



揚 返

片倉製絲紡績株式會社八王子製絲所奉獻繭絲

修 祓 式

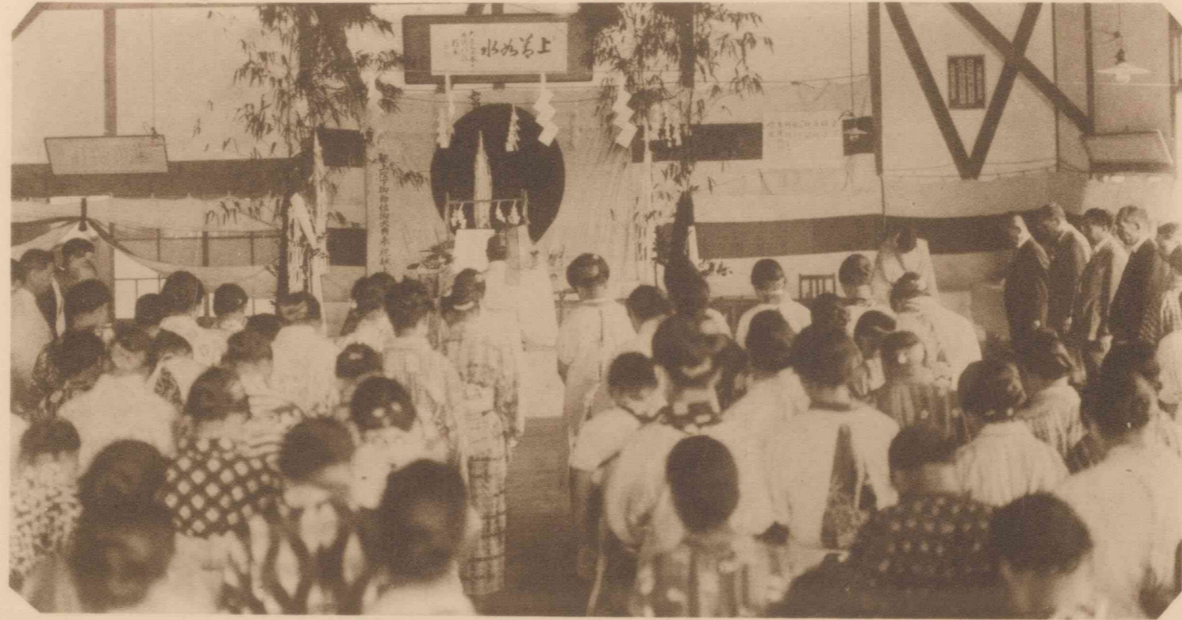


絲 線

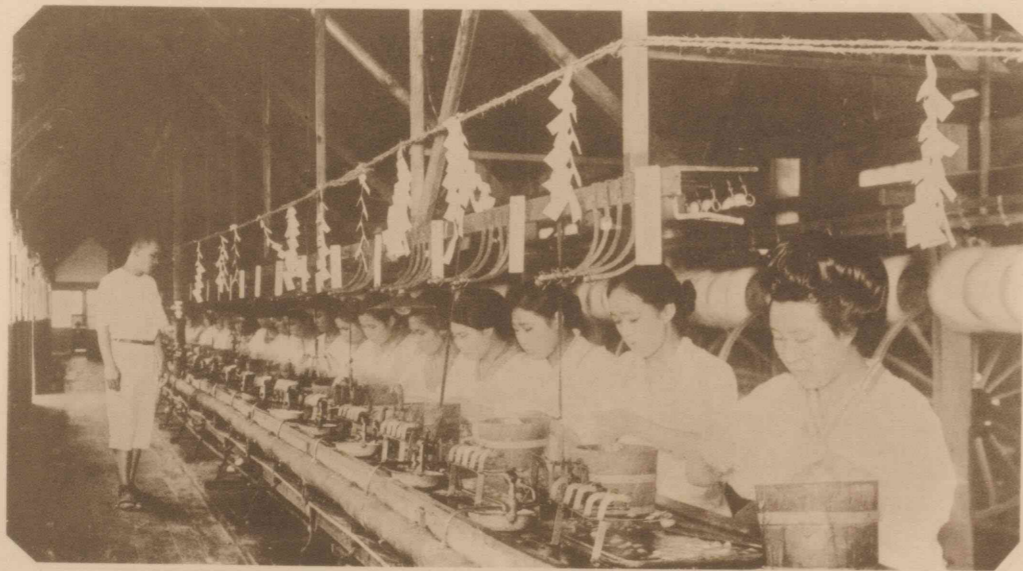


純水館茅ヶ崎製絲所ノ奉獻繭綵

修 祓 式



綵 繭

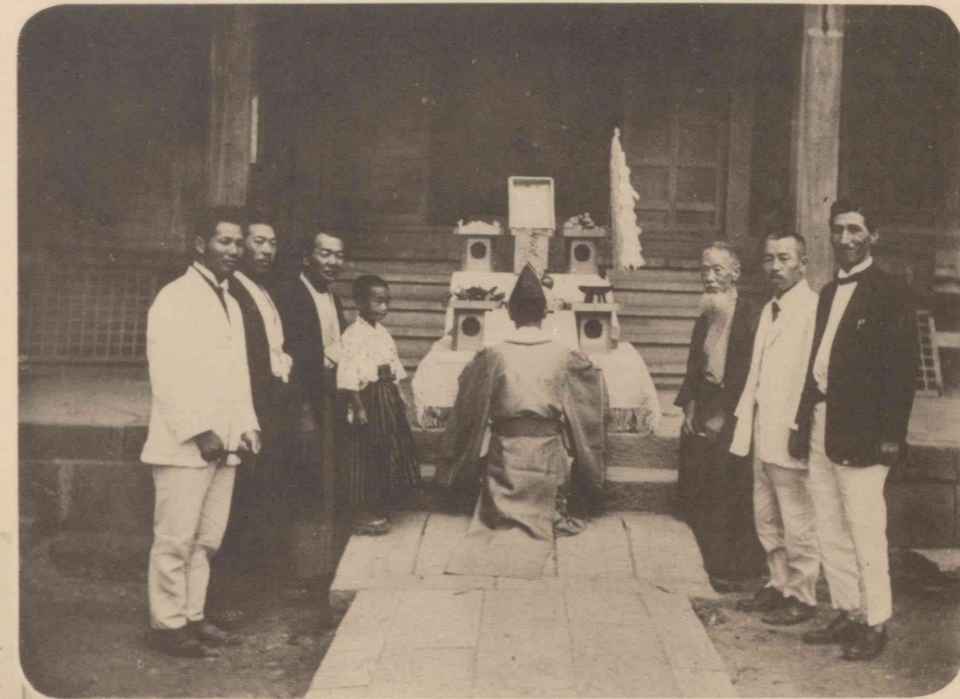


撰 繭



新潟縣三島郡ニ於ケル繭獻奉

修祓式

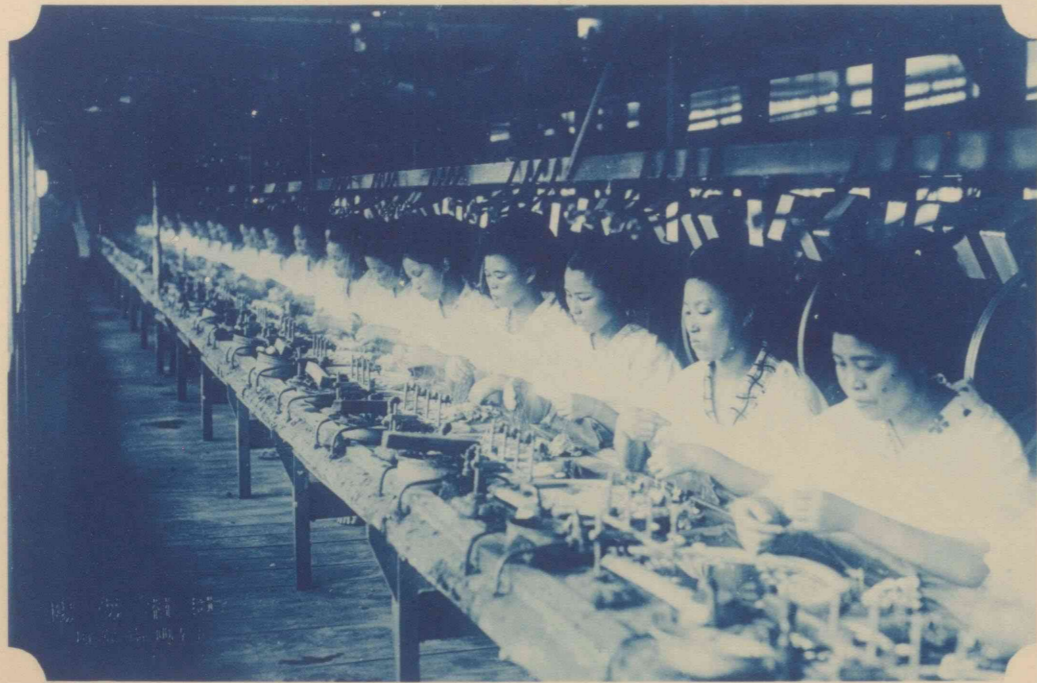
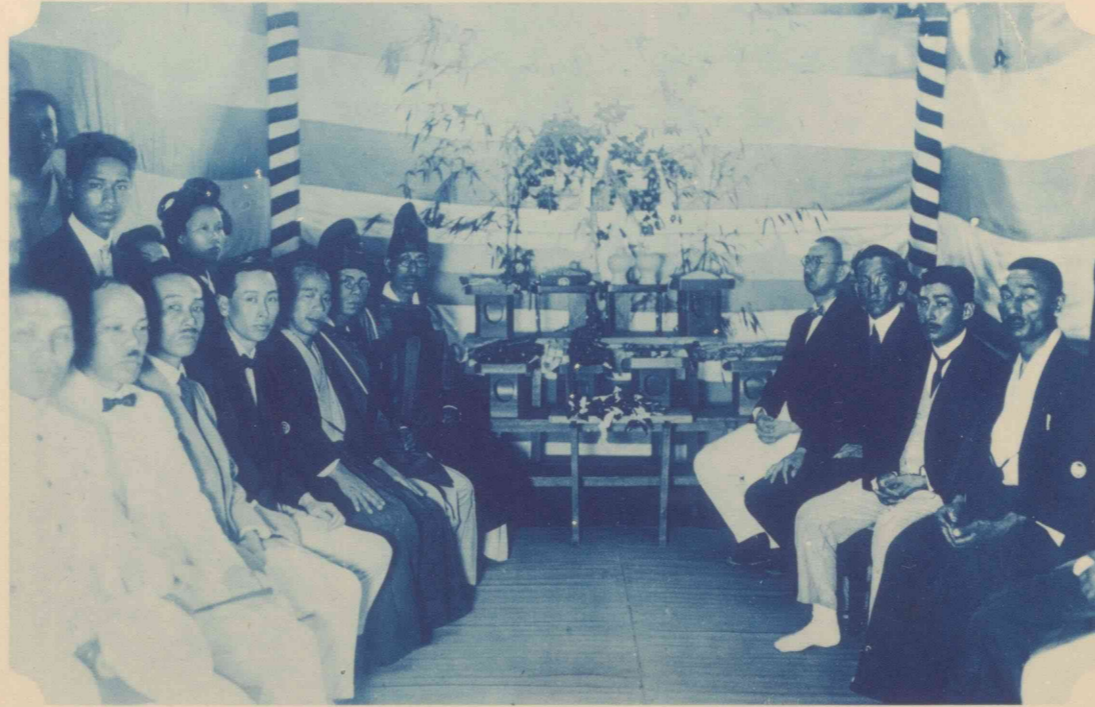


同縣鈴木製絲場ノ奉獻繭線



富山縣共盛館製絲場ノ奉獻繭絲

修 祓 式



絲 繰



繭 撰

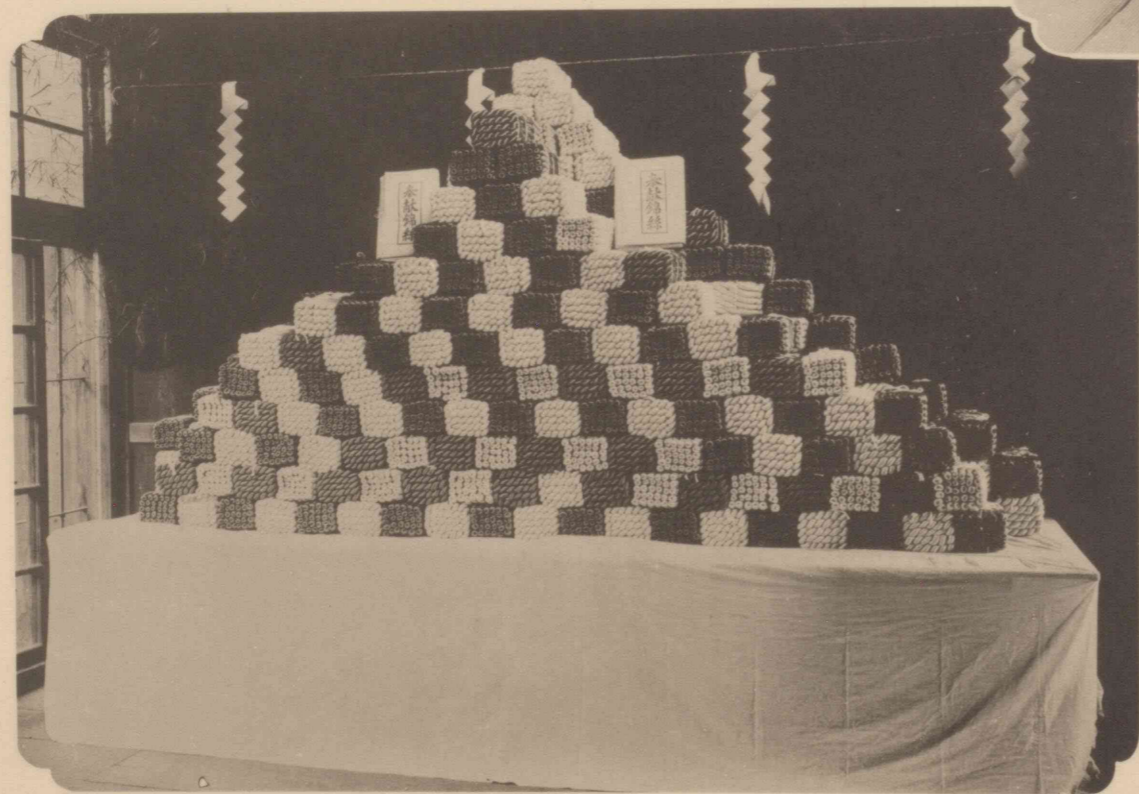
富山縣ニ於テ奉獻ノ繭撰



同縣奉獻ノ繭發送



山梨縣ノ奉獻繭ト生絲

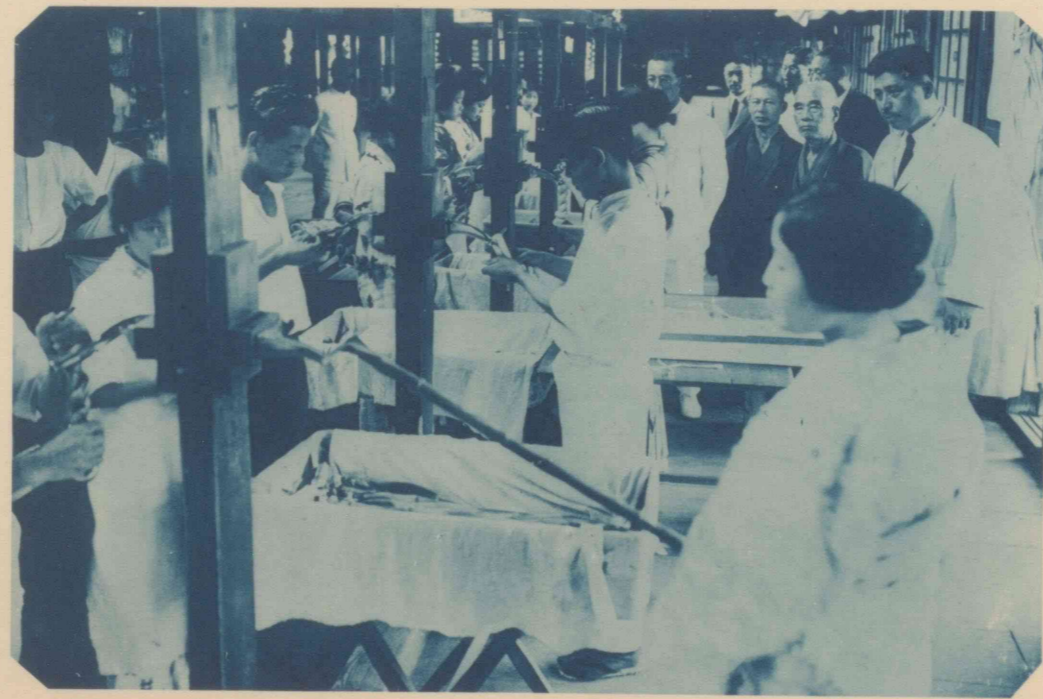
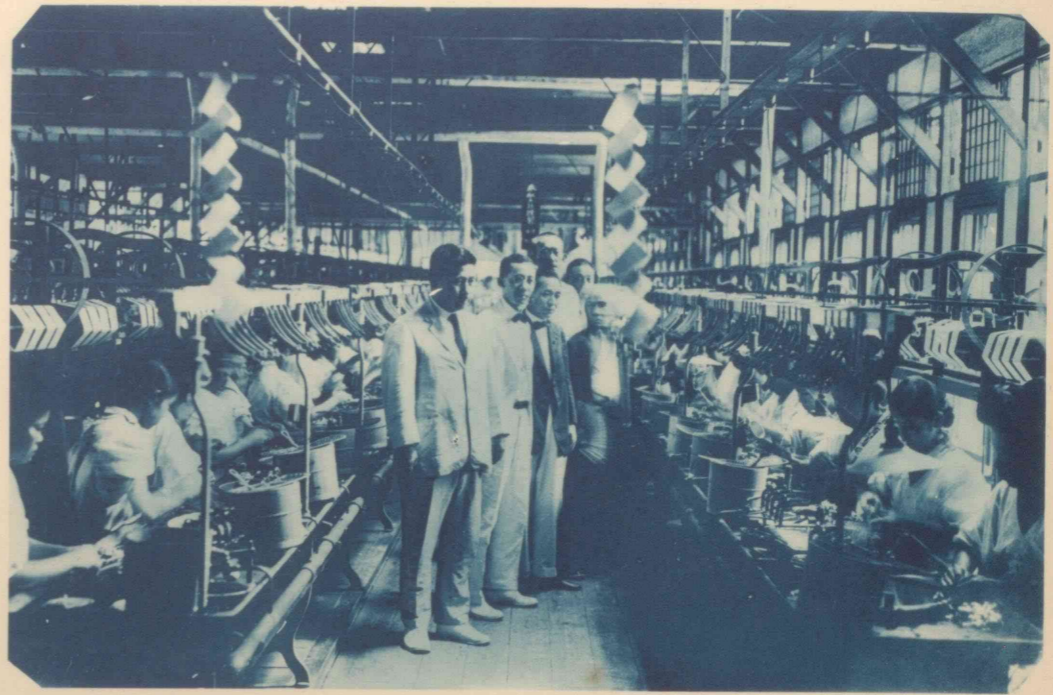


山梨縣矢島製絲株式會社ノ奉獻繭綵絲

返揚



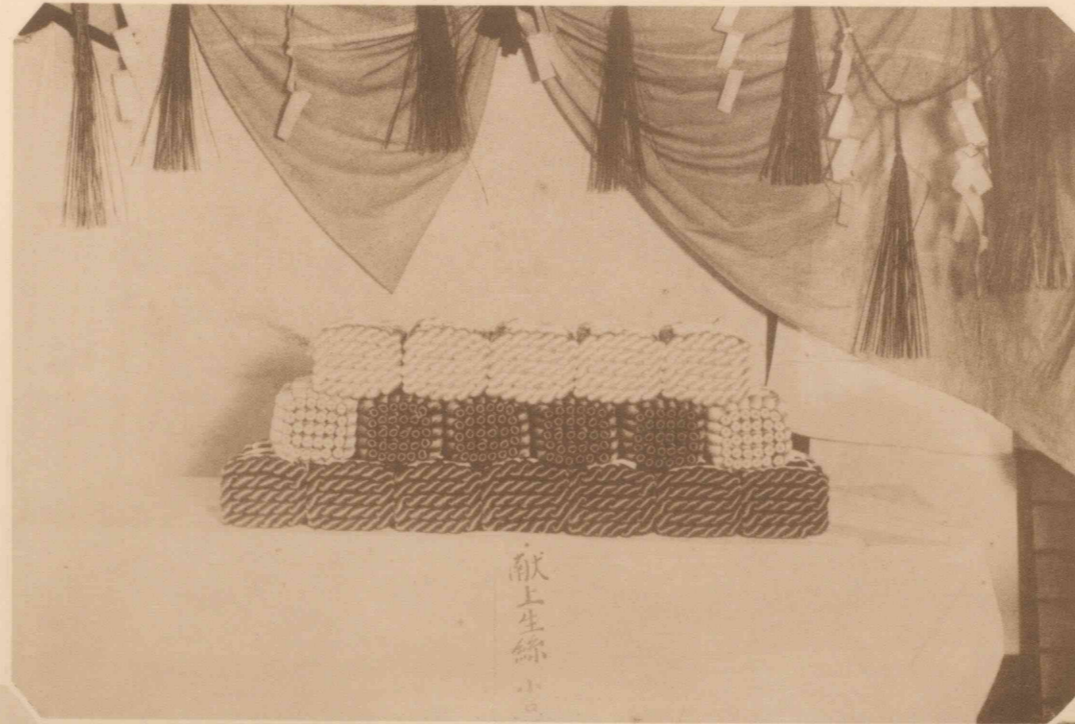
絲綵



結東

長野縣小口組金丸工場ノ奉獻繅絲

生 絲



揚 返

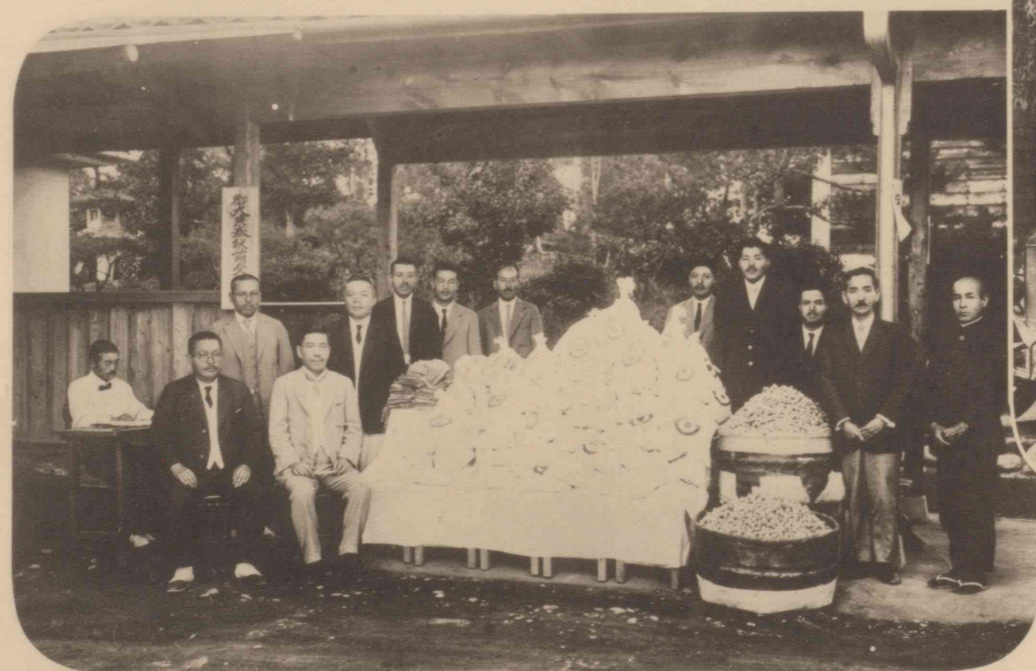


繅 絲

同縣土岐郡ノ奉獻繭



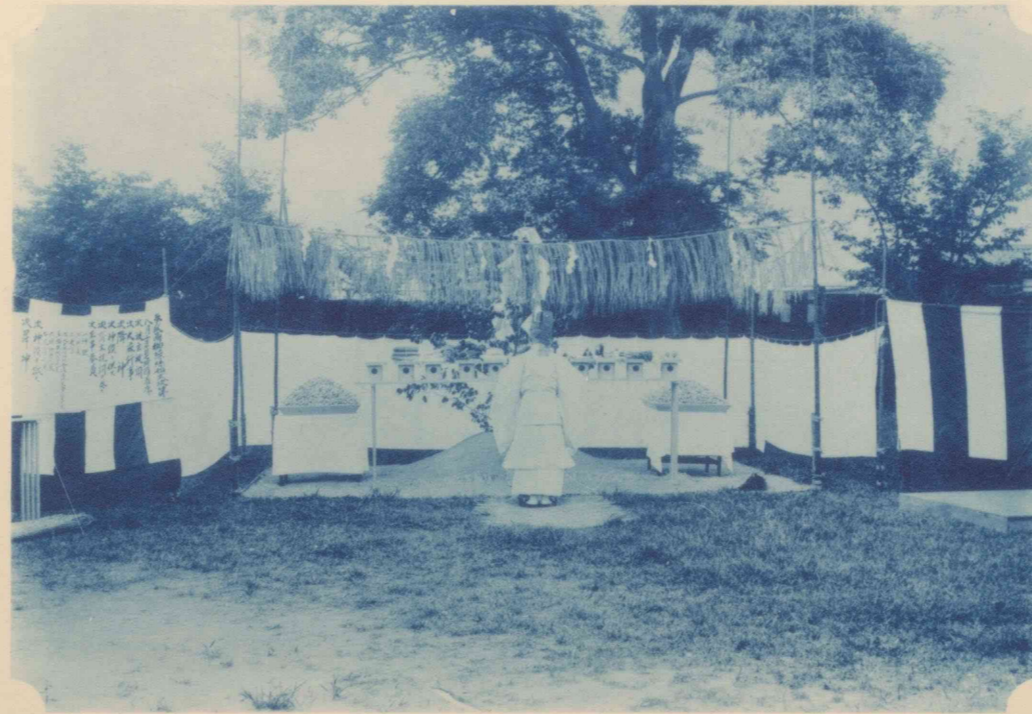
岐阜縣本巢郡養蠶組合ノ奉獻繭



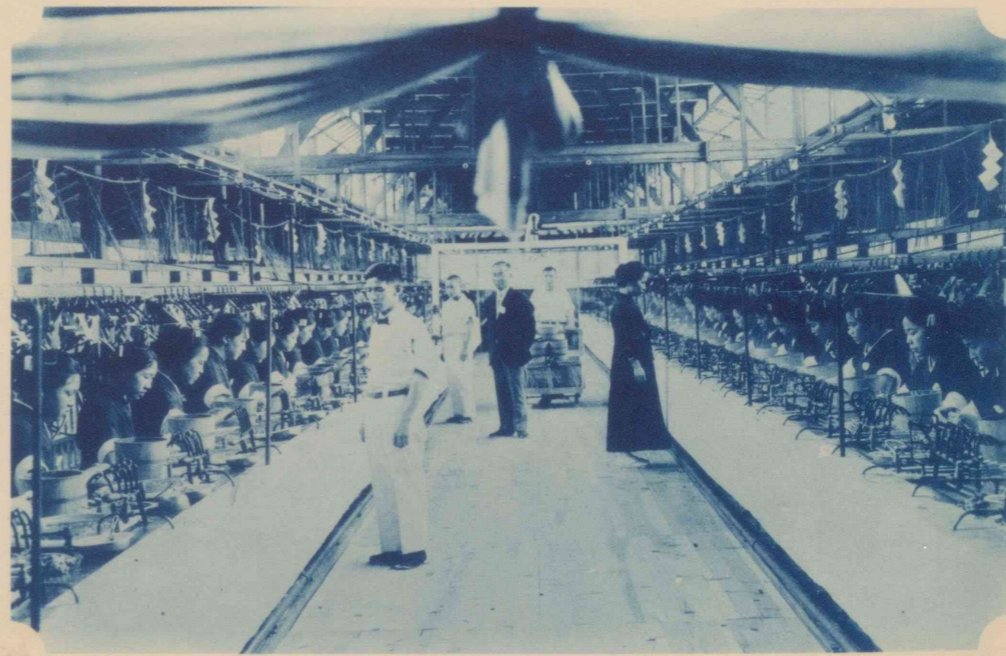
同縣郡製絲株式會社美濃工場於ケル奉獻繭受付

片倉製絲紡績株式會社中田製絲所ノ奉獻繅絲

修 祓 式



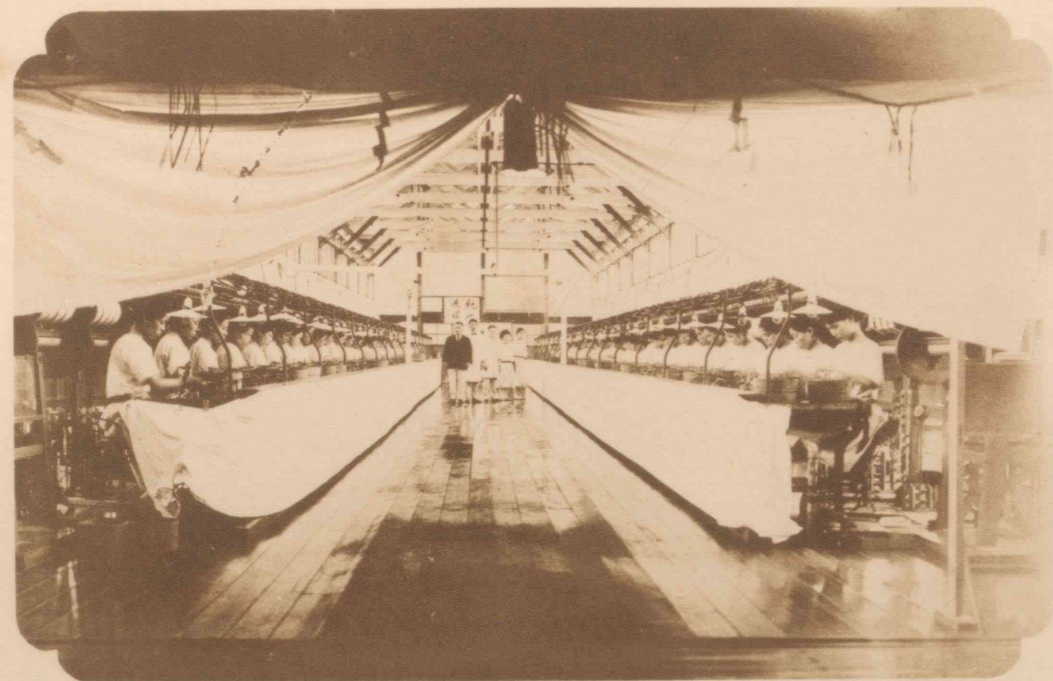
揚 返



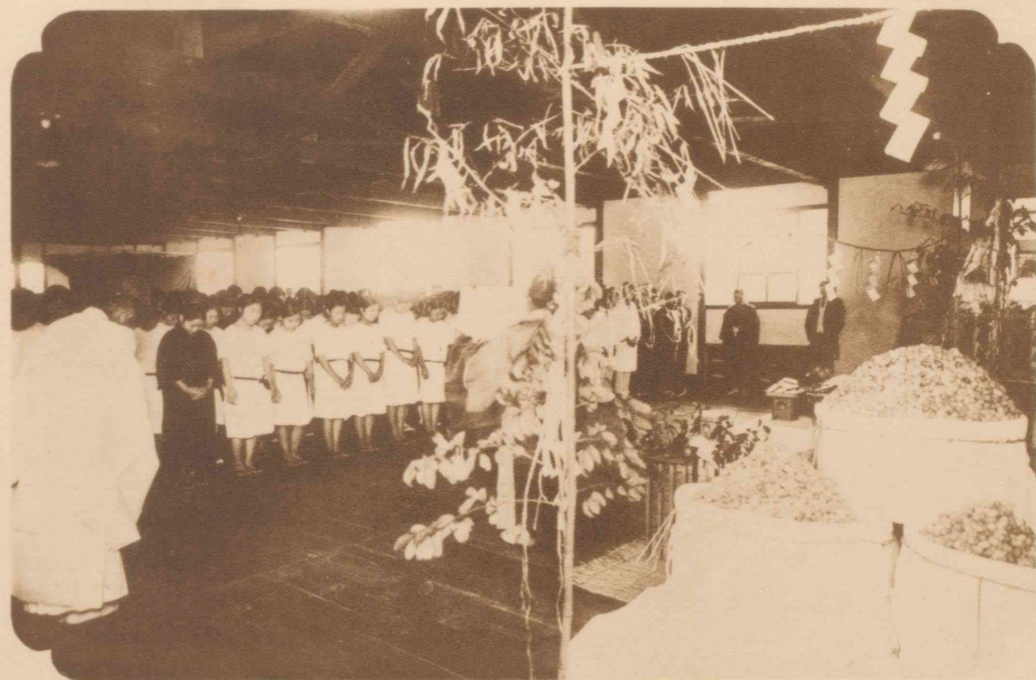
絲 繰

郡是製絲株式會社美濃工場ノ奉獻繭絲

絲 綵



式 祓 修



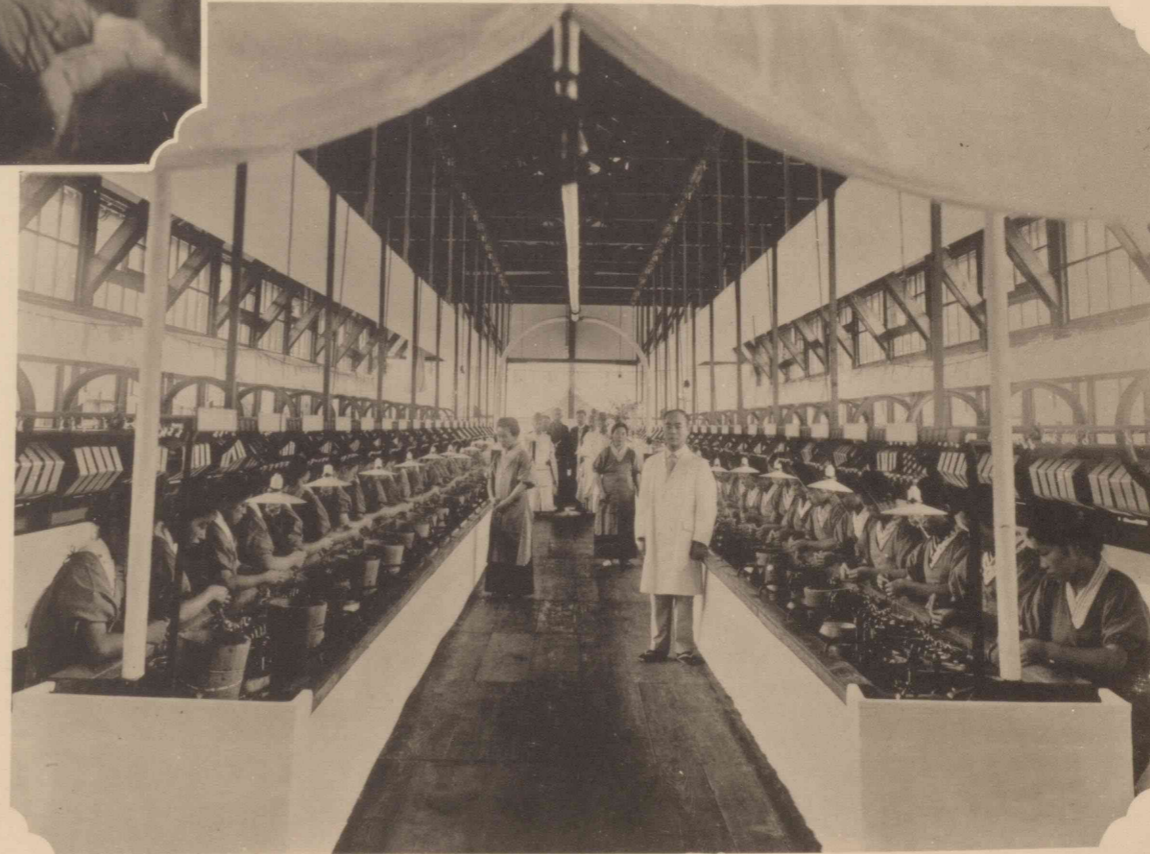
絲 生

岐阜縣合名社會勝野商店於之奉獻繭絲

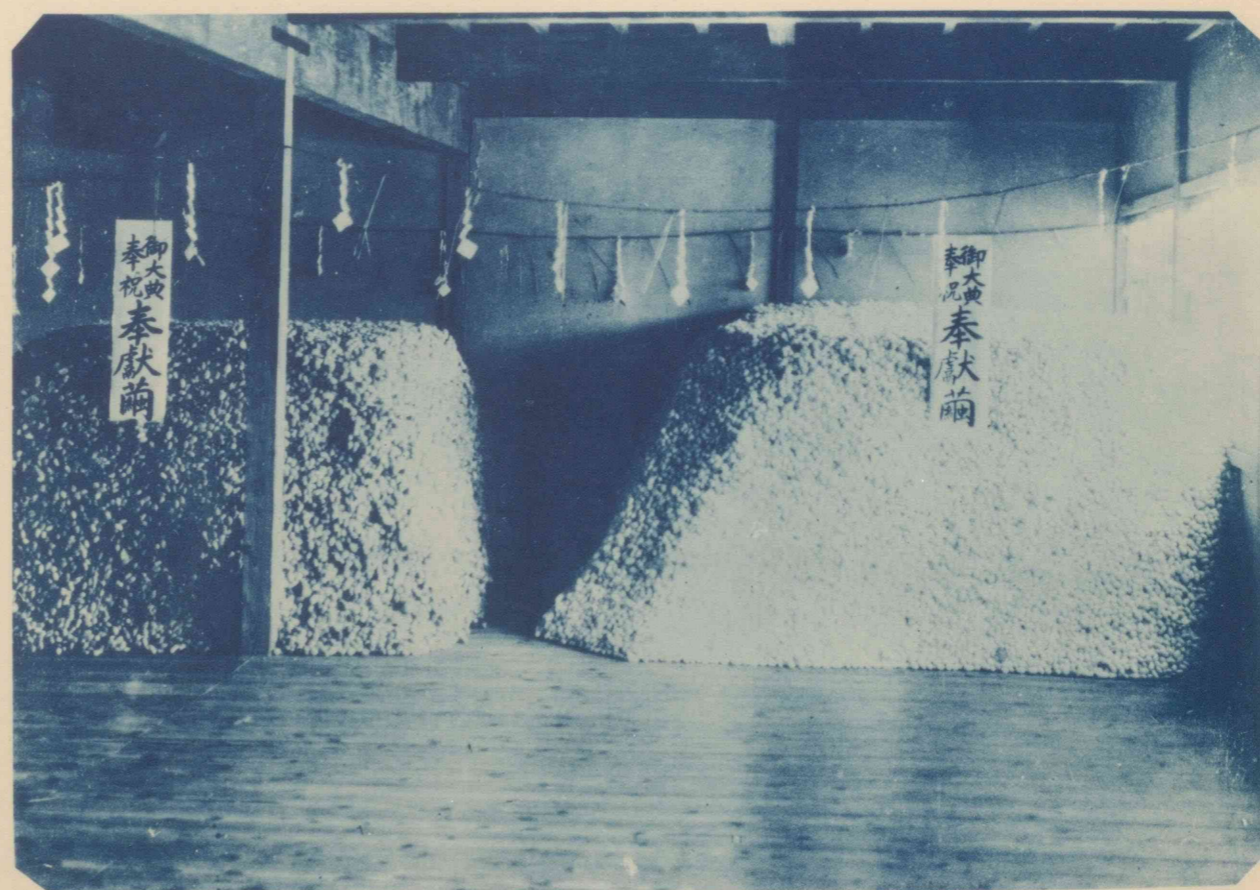


修被式

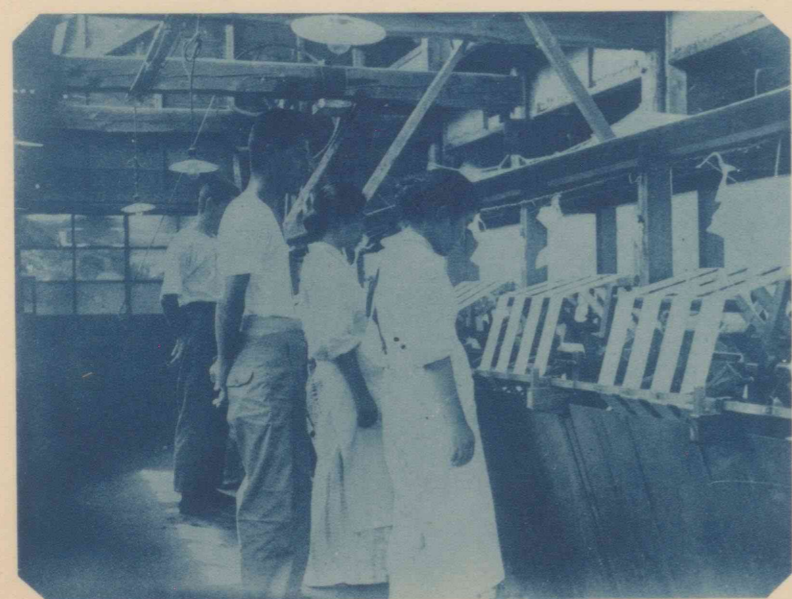
絲 絲



靜岡縣ノ奉獻繭



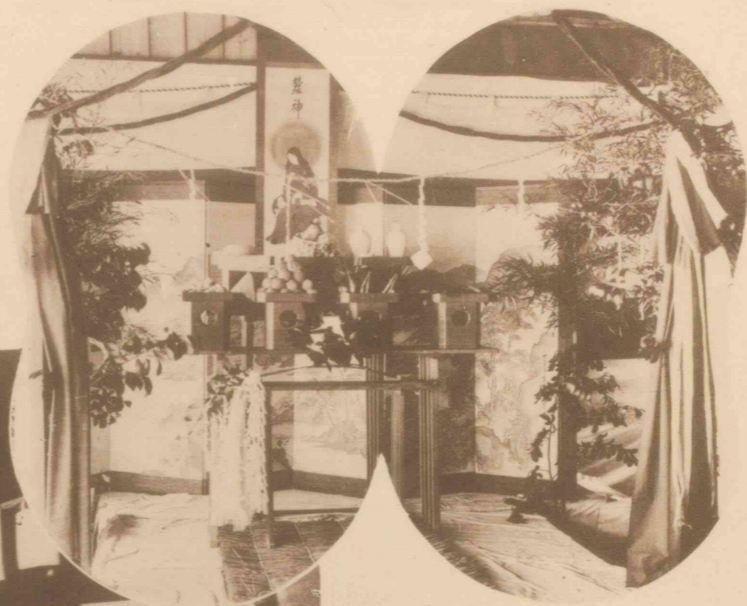
遠江玉絲同業組合ノ奉獻玉絲繰絲



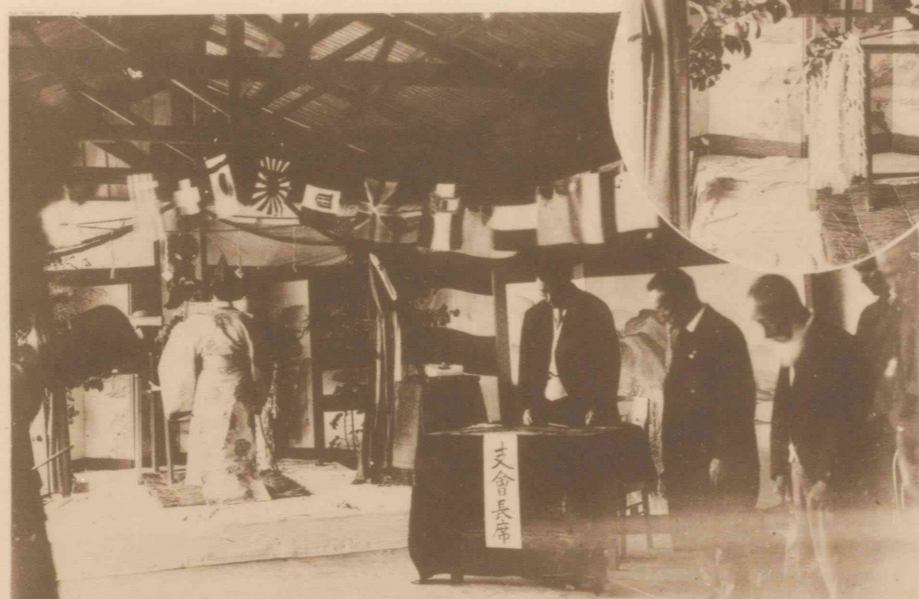
同上揚返

絲綫繭獻奉ノ社會式株絲製泉中崎宮縣岡靜

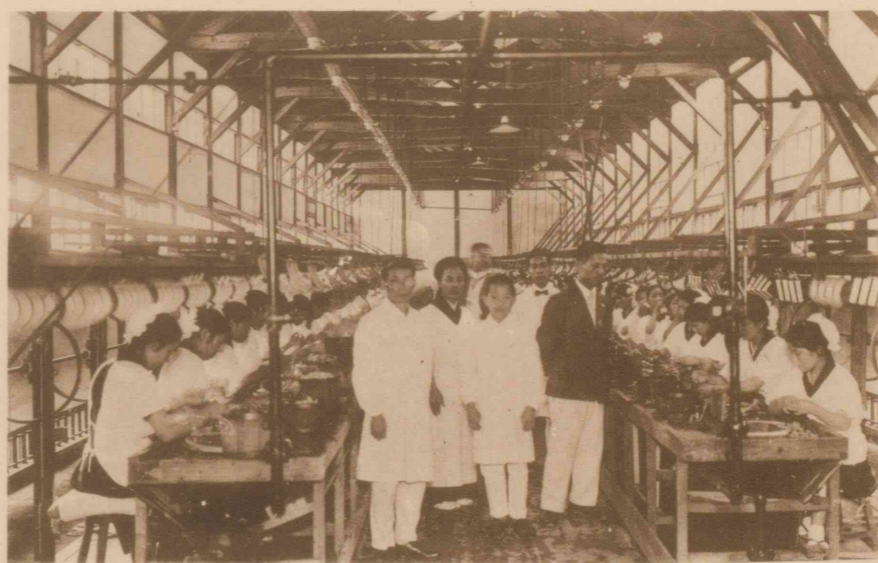
壇 祭



式 祓 修

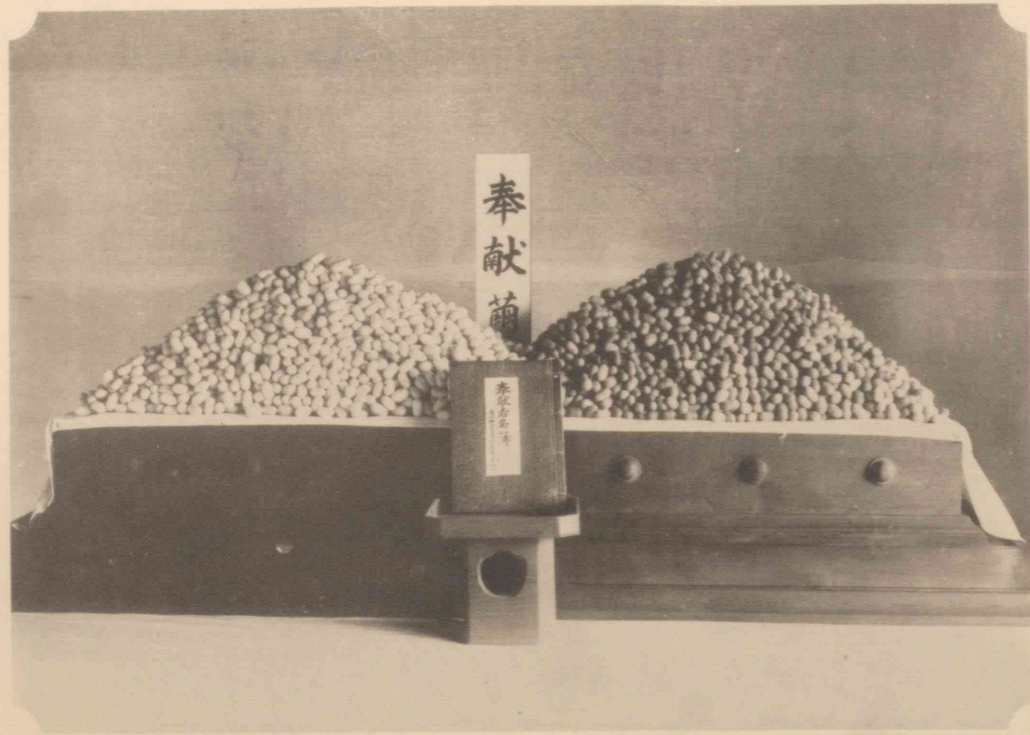


送 發 ノ 絲 生



絲 綫

同縣西春日井郡蠶業同業組合於此奉獻繭



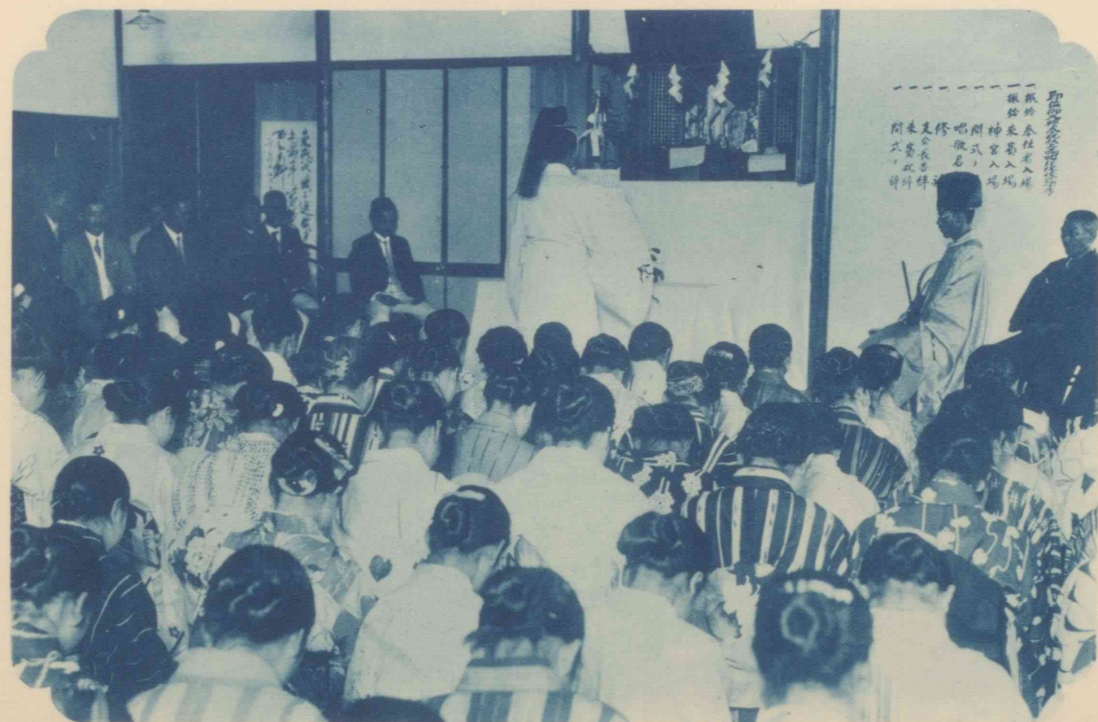
愛知縣栗原郡蠶業同業組合於此奉獻繭



同縣南設樂郡蠶業同業組合於此奉獻繭

三河製絲株式會社ノ奉獻繅絲

修 祓 式

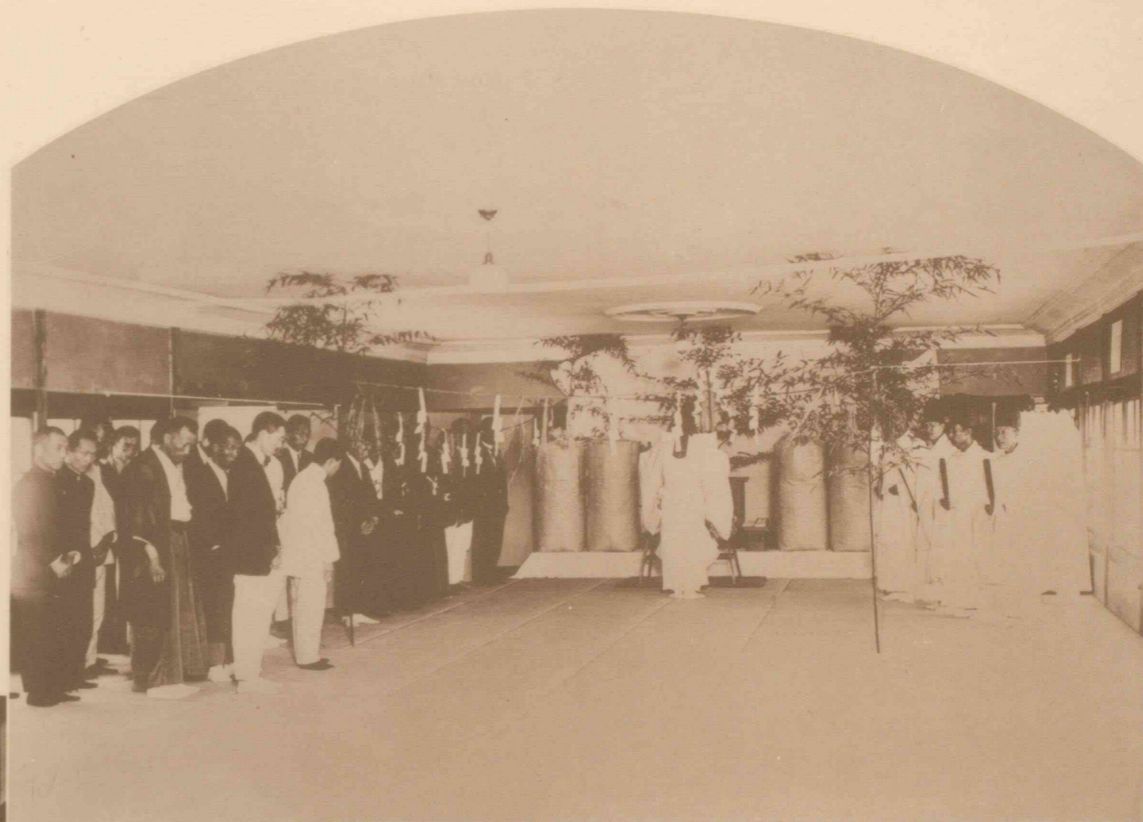


絲 繅

生 絲



三重縣合郡養蠶組聯合會
＝於奉獻繭生絲修被式＝



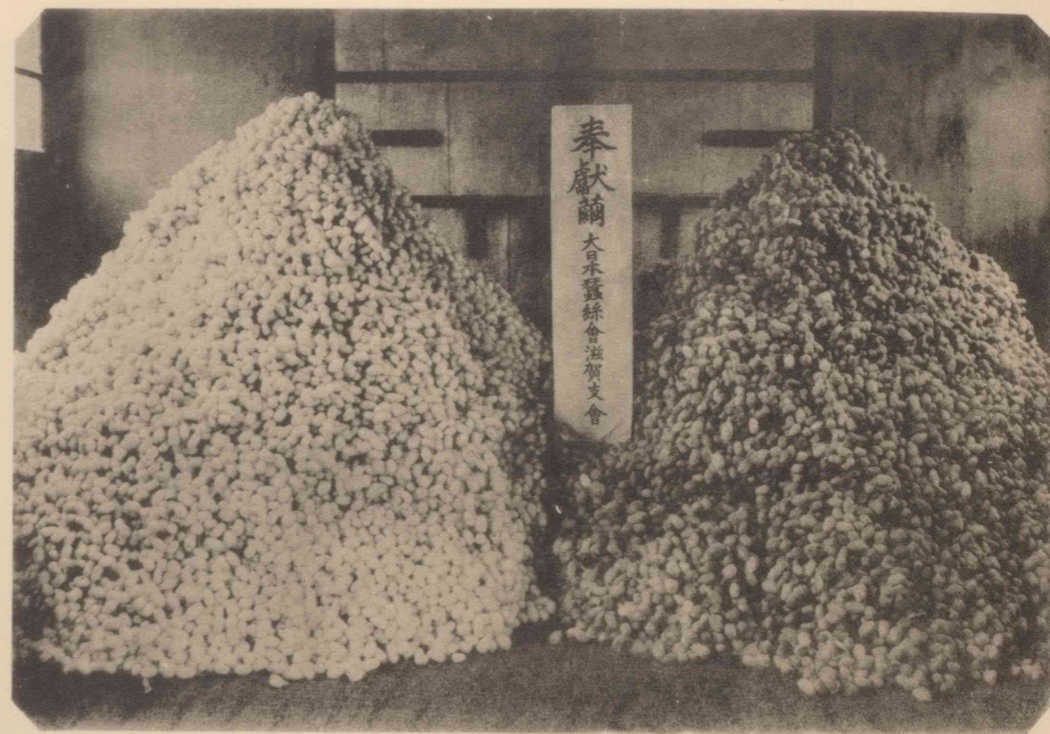
滋賀縣山西製絲組合ノ奉獻生絲繭



同縣伊香郡北富永村蠶蠶組合ノ奉獻繭



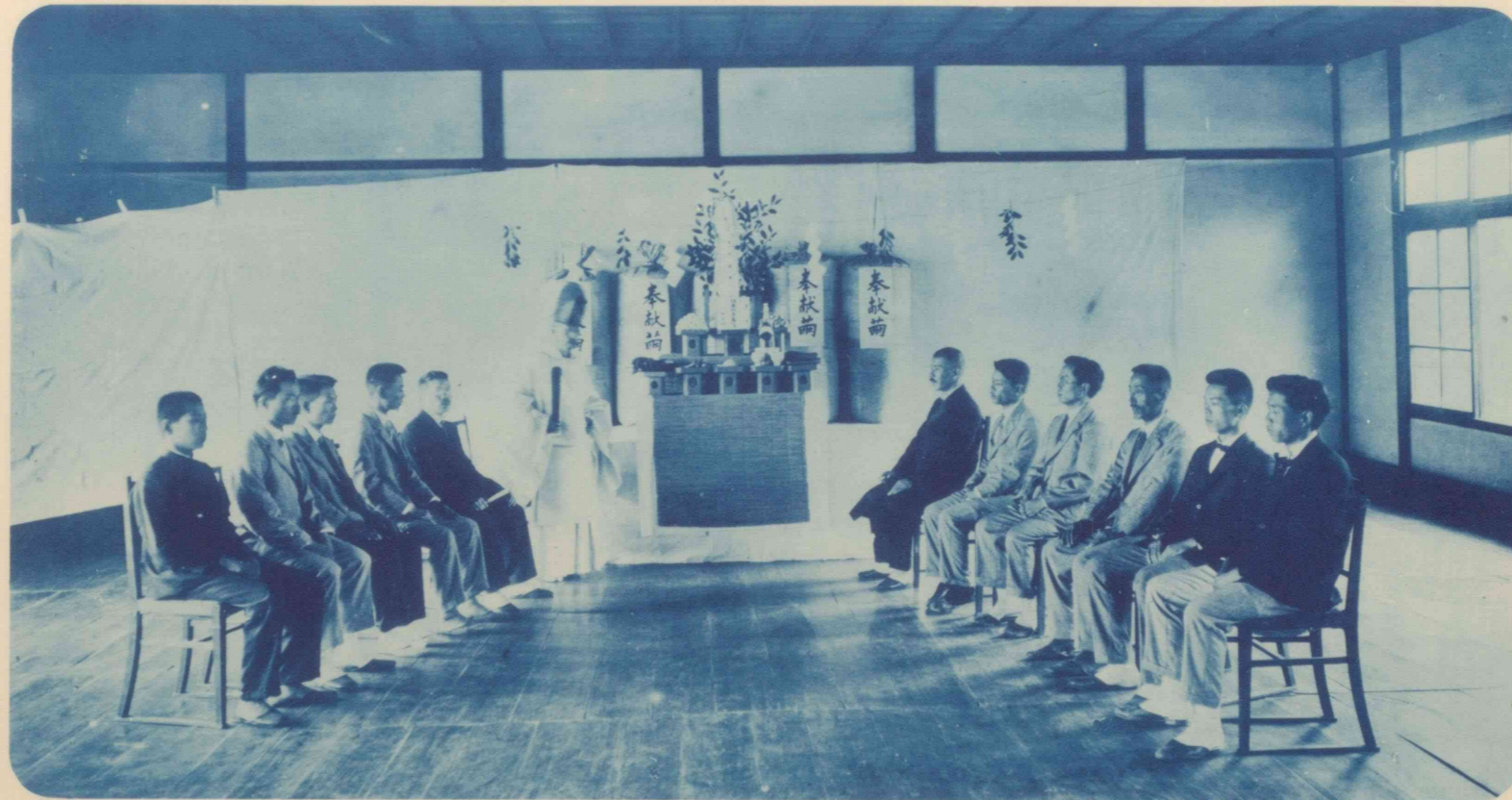
滋賀縣長濱町於ケル奉獻繭



同縣大音製絲組合ノ奉獻生絲繅絲

京 都 府 ノ 奉 獻 繭

何 鹿 郡 蠶 絲 同 業 組 合



同 府 蠶 業 取 締 所 久 美 濱 支 部

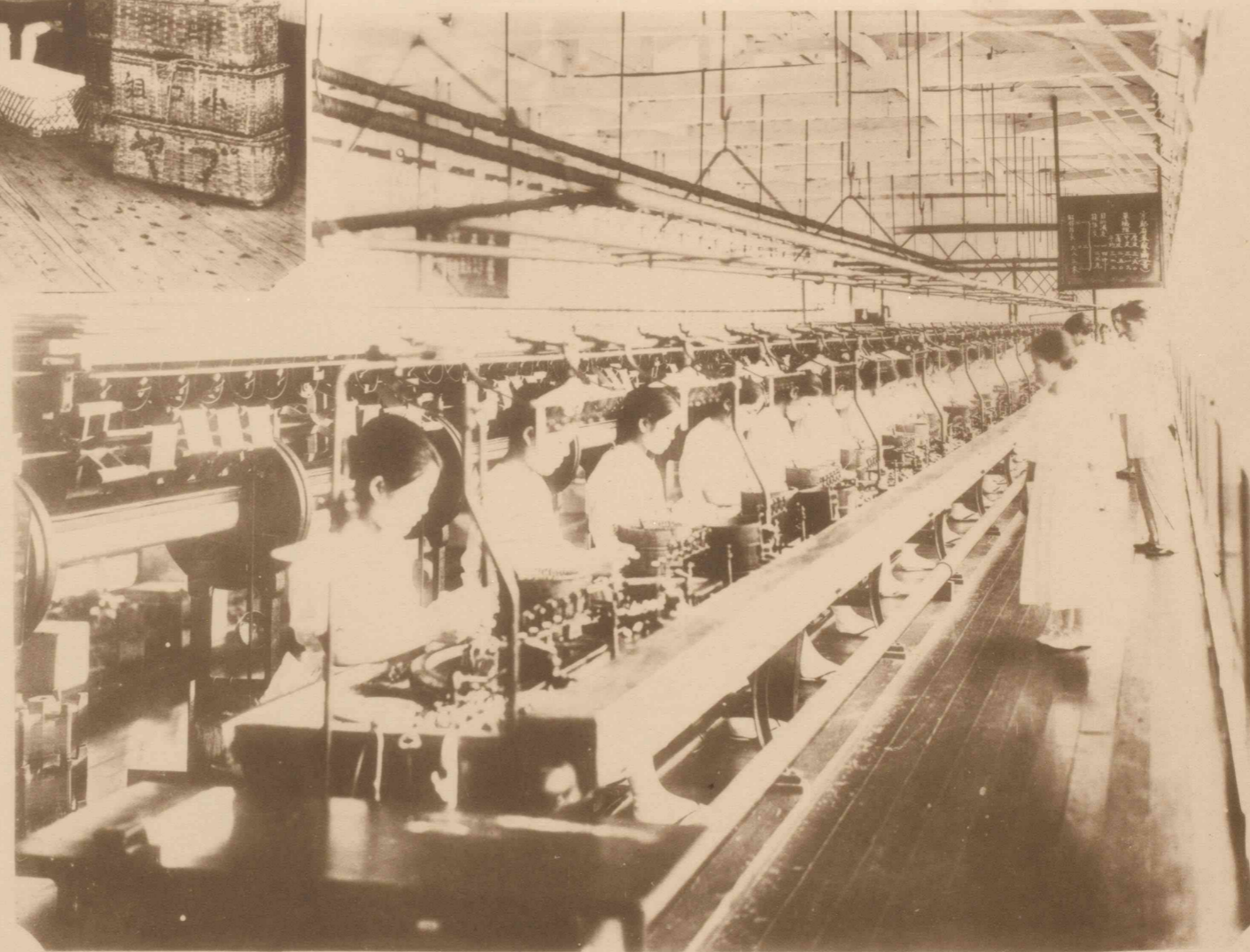


同 府 蠶 業 取 締 所 福 地 山 支 部

兵庫縣ノ奉獻繭



京都府郡是製絲株式會社ノ奉獻繭繰絲

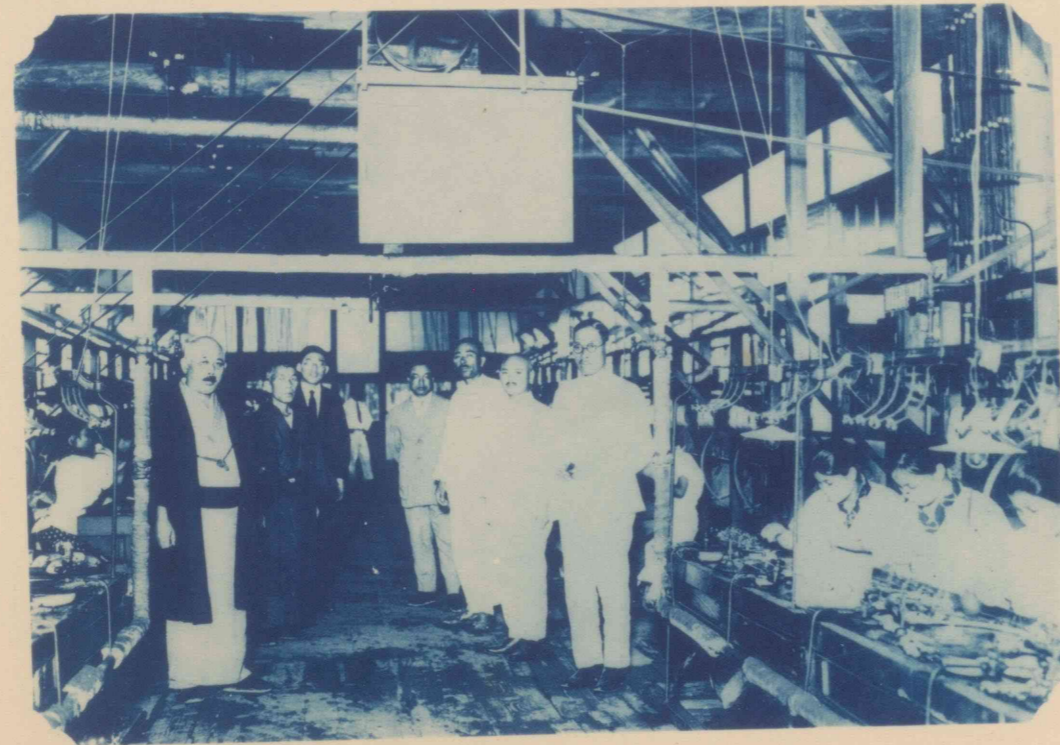
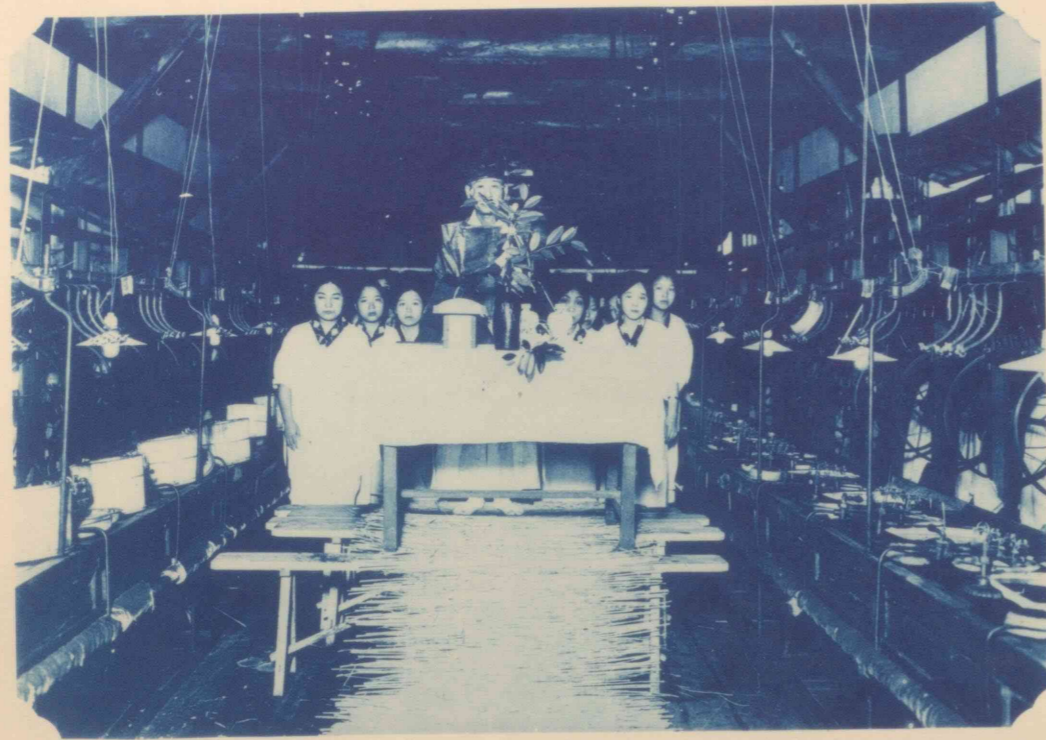


和歌山縣ノ奉獻繭



和歌山縣株式會社紀川製絲所奉獻繭絲

修 社 式



絲
繭

絲 線 繭 獻 奉 ノ 場 絲 製 藤 佐 縣 根 島

式 祓 修



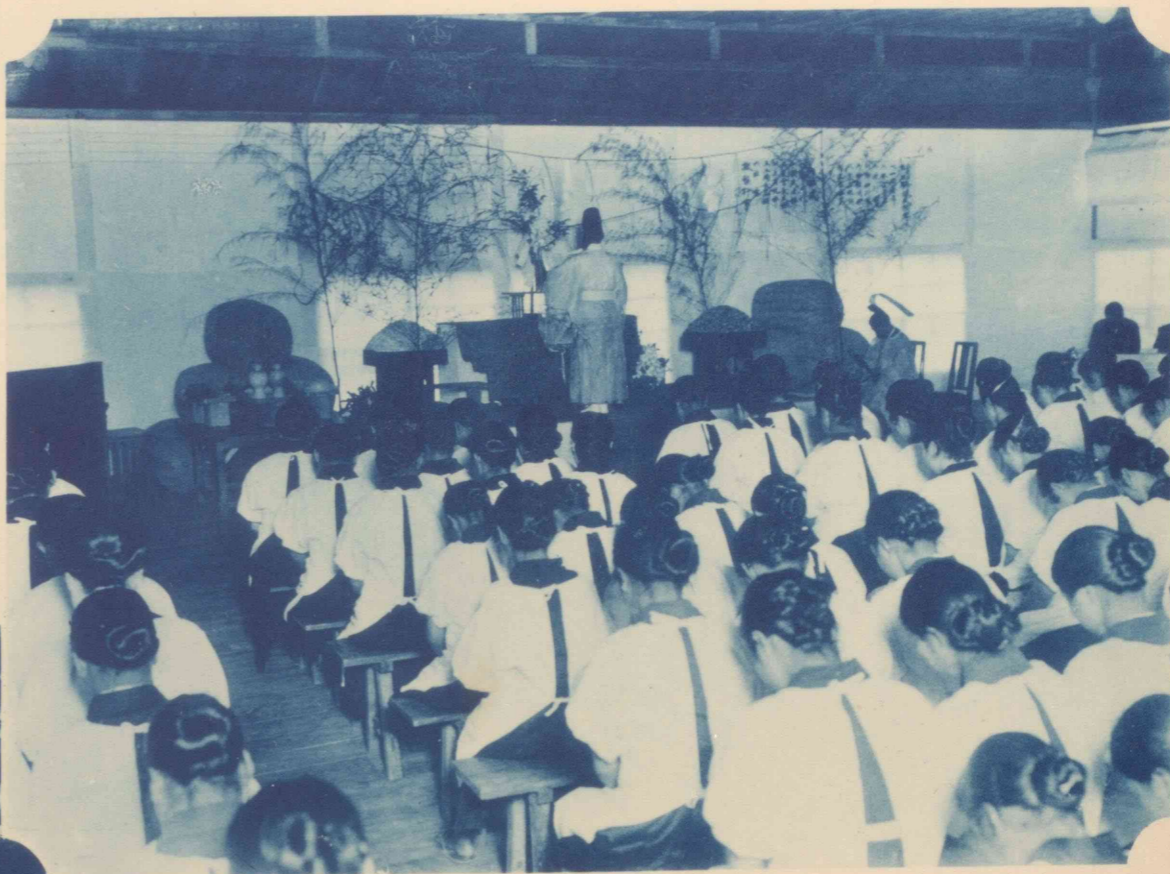
式 祓 修 絲 線 繭 獻 奉 ノ 社 會 式 株 絲 製 陰 山 縣 取 鳥



絲 線

岡山縣備作絲株株式會社ノ奉獻繭線

修 敬 式

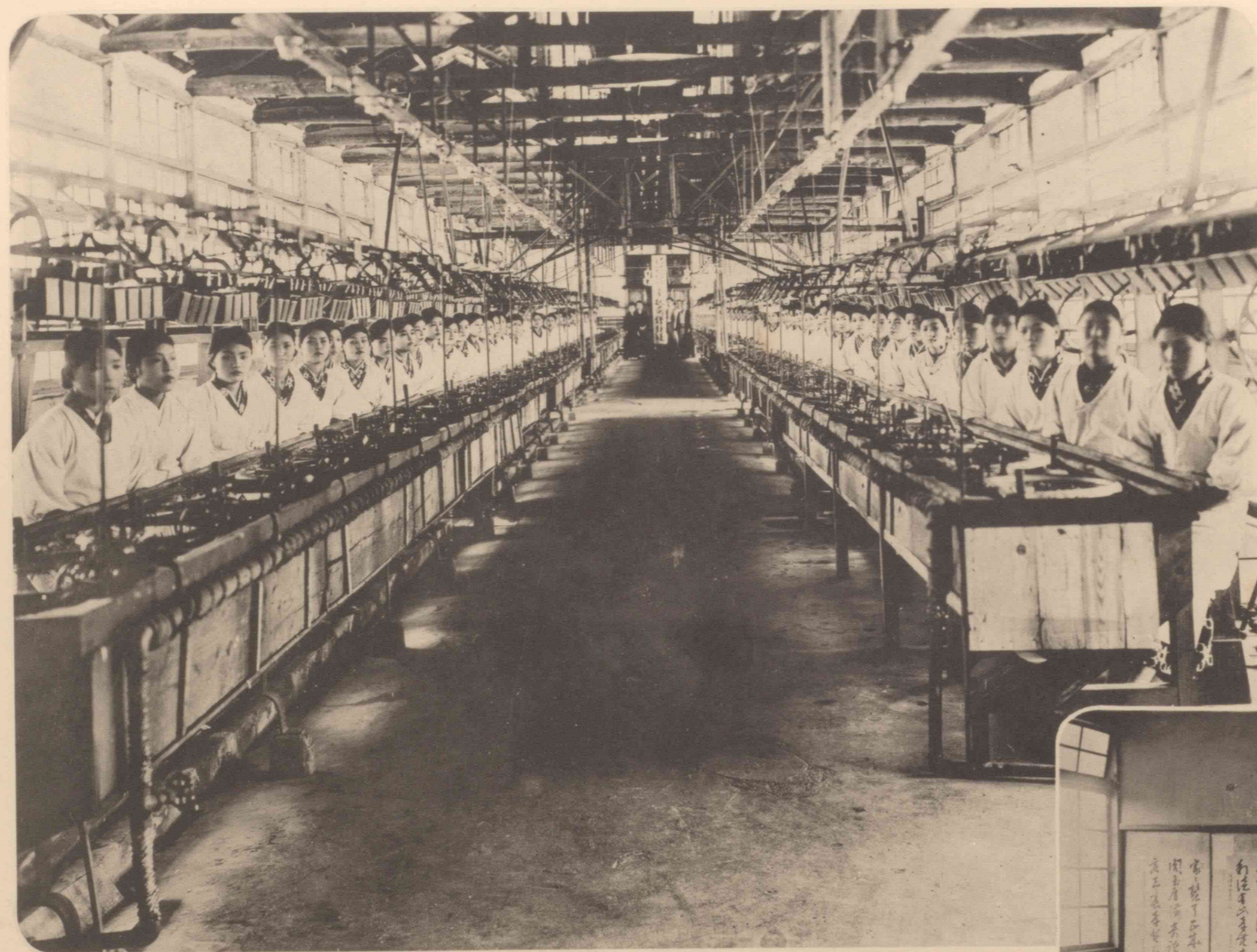


絲 綫



絲線繭獻奉ノ社伯佐合組用利賣販用信絲蠶任責限有縣島廣

絲 線



裝 束



山口縣株式會社義濟堂ノ奉獻繅絲

繅絲生絲修設式



繅絲修設式



繅絲

小口組徳島製絲所ノ奉獻繭絲



絲 線



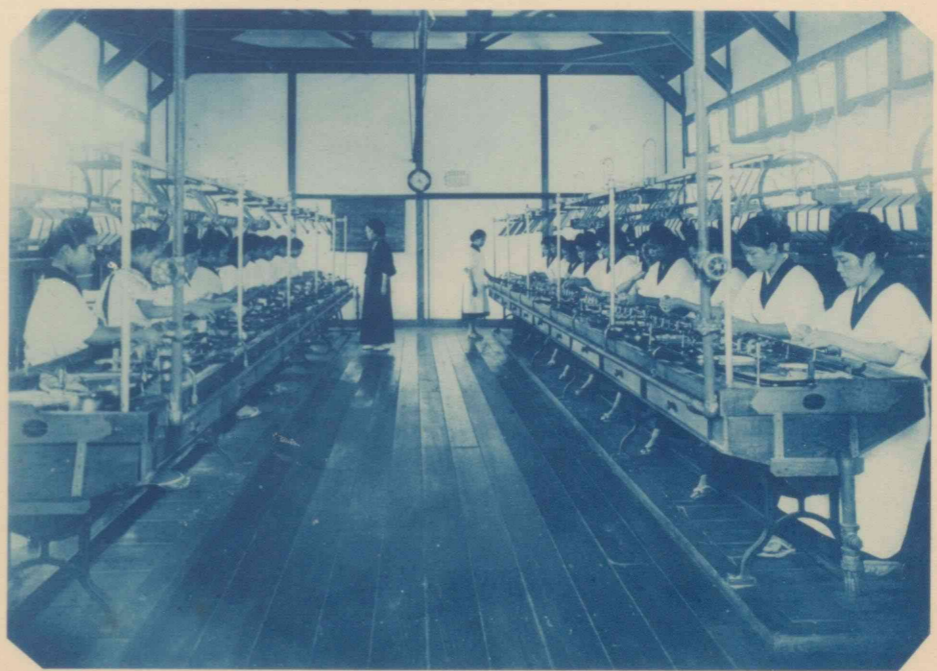
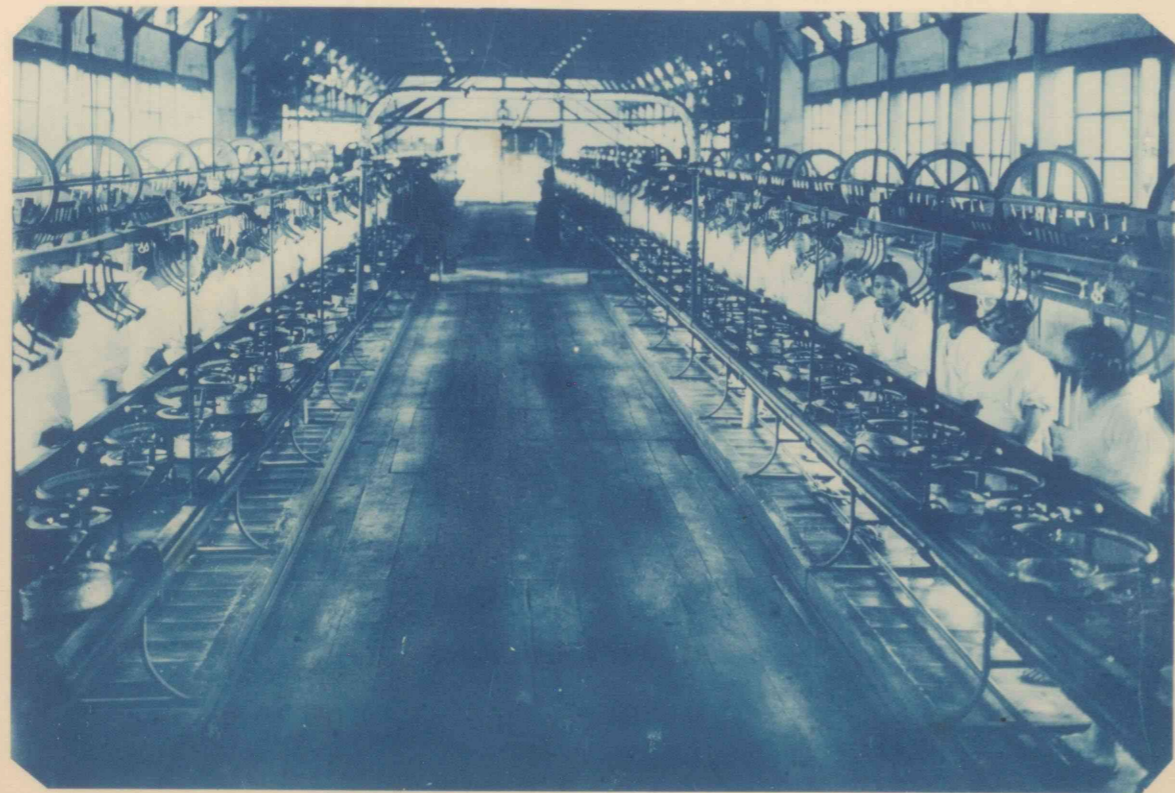
修 献 式

愛媛縣製絲講習所奉獻繅絲

修 祓 式

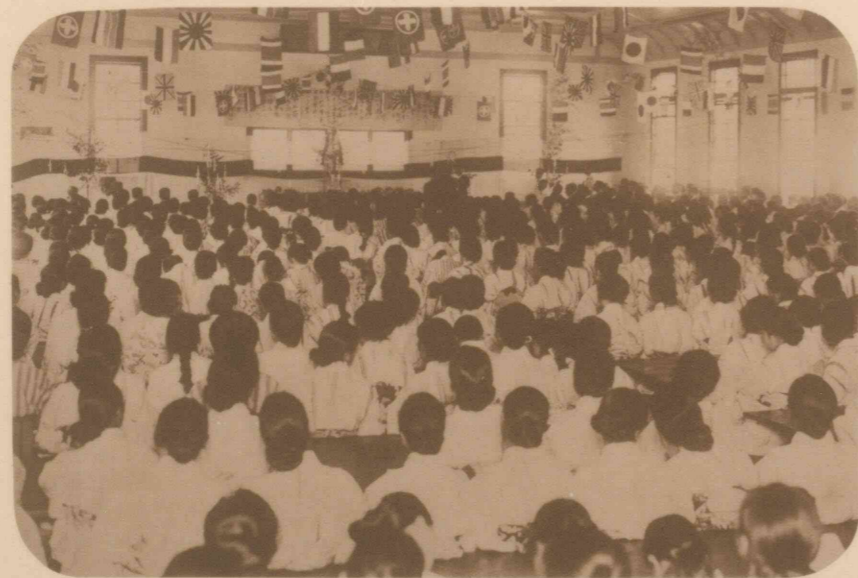
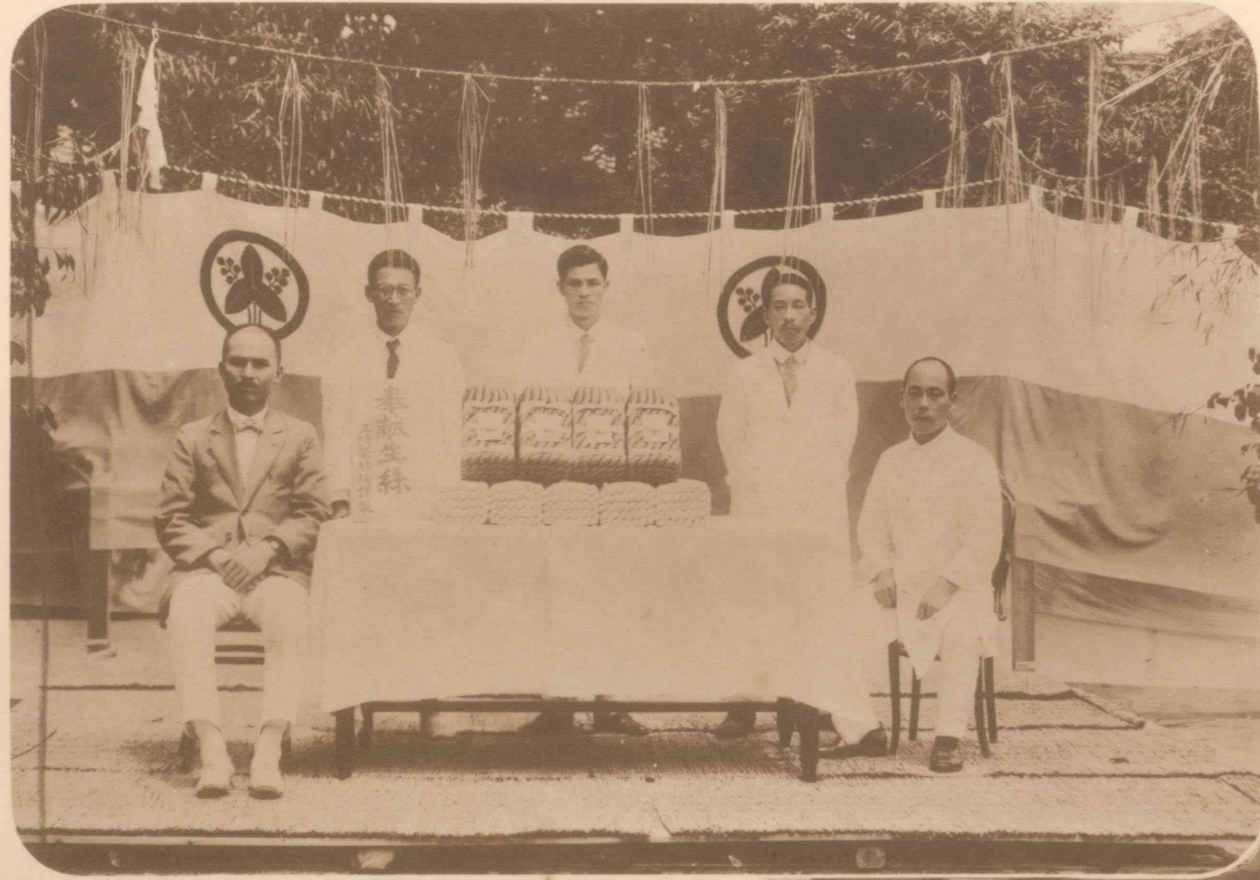


有限責任伊豫繅絲繭種利用販賣組合奉獻繅絲

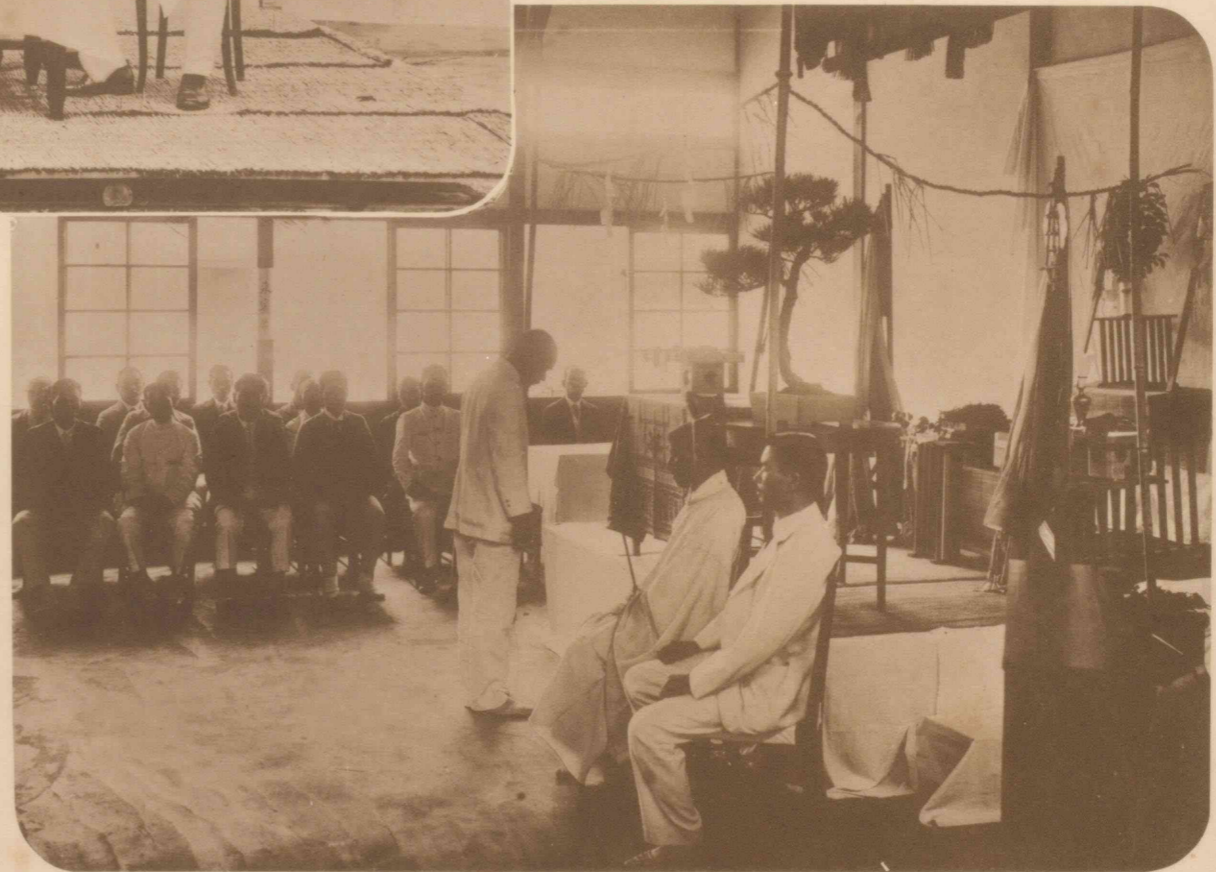


繅 絲

愛媛縣三好製絲場ノ奉獻繭絲生絲



片倉製絲紡績株式會社高知製絲所
奉獻繭絲修被式

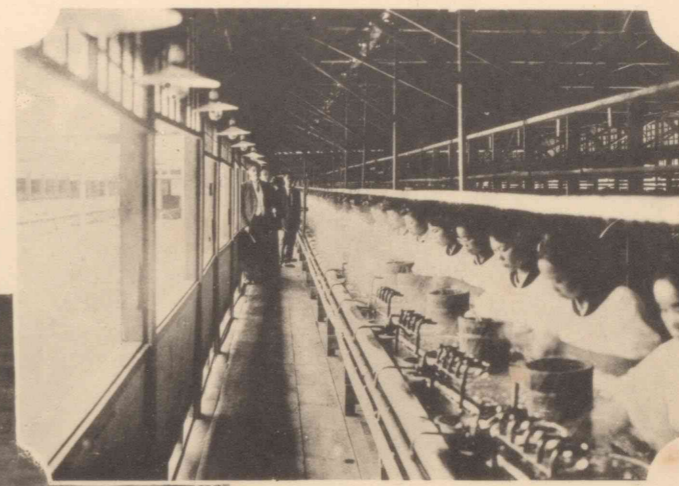


愛媛縣攝津製絲株式會社ノ奉獻繭絲修被式

福岡縣山十製絲株式會社二日市製絲所奉獻繭絲

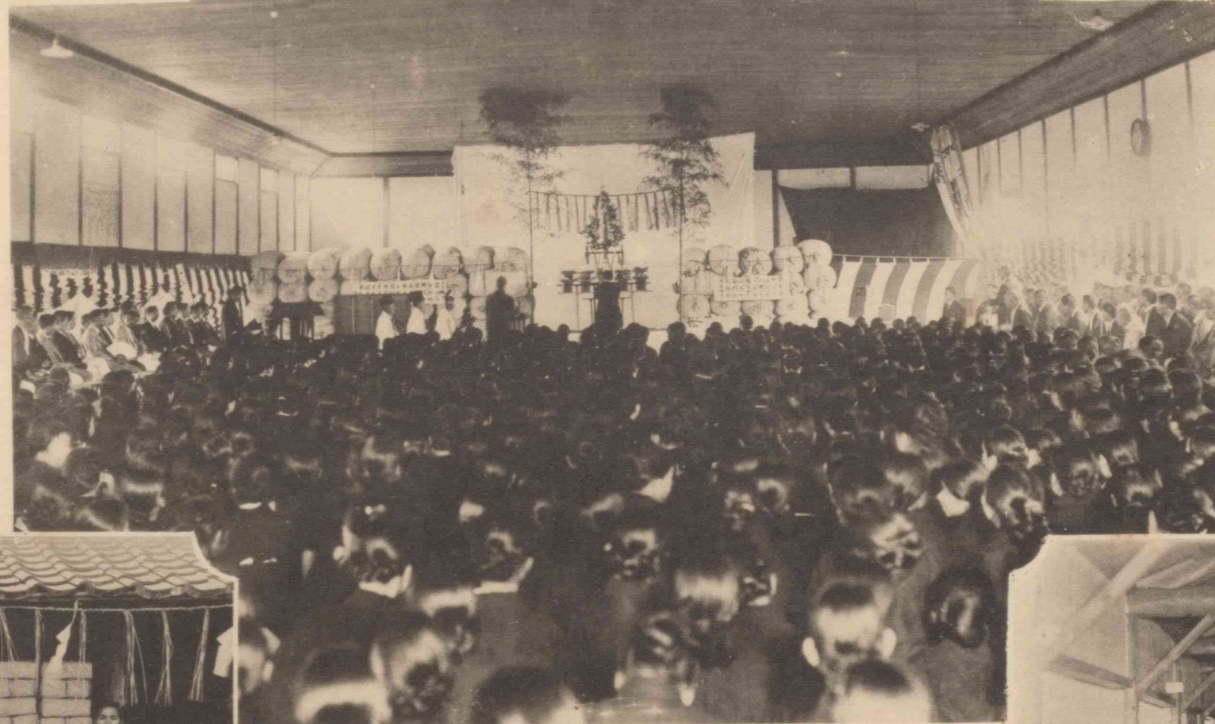


東 裝



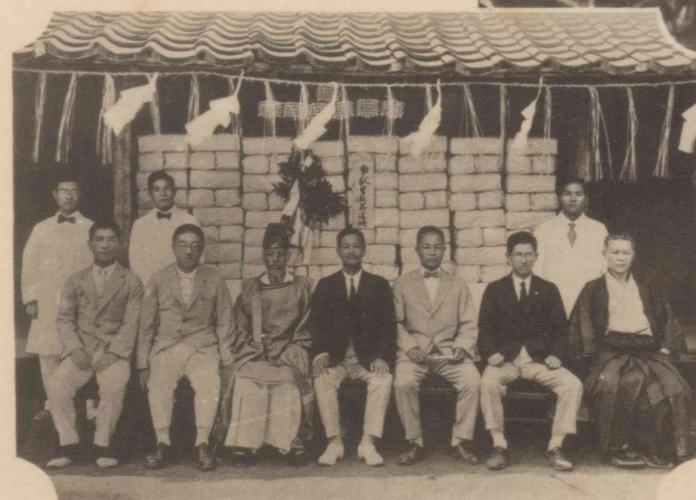
絲 線

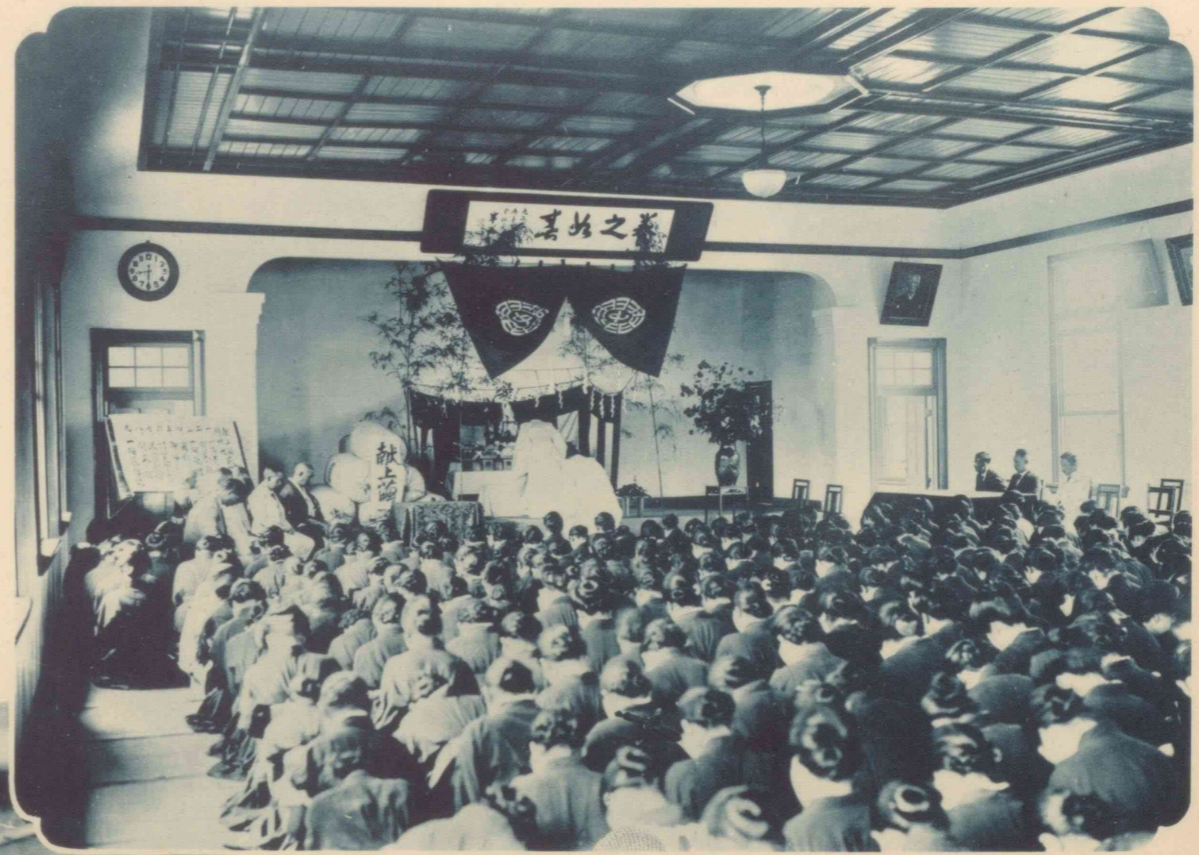
修 社 式



生 絲

揚 返

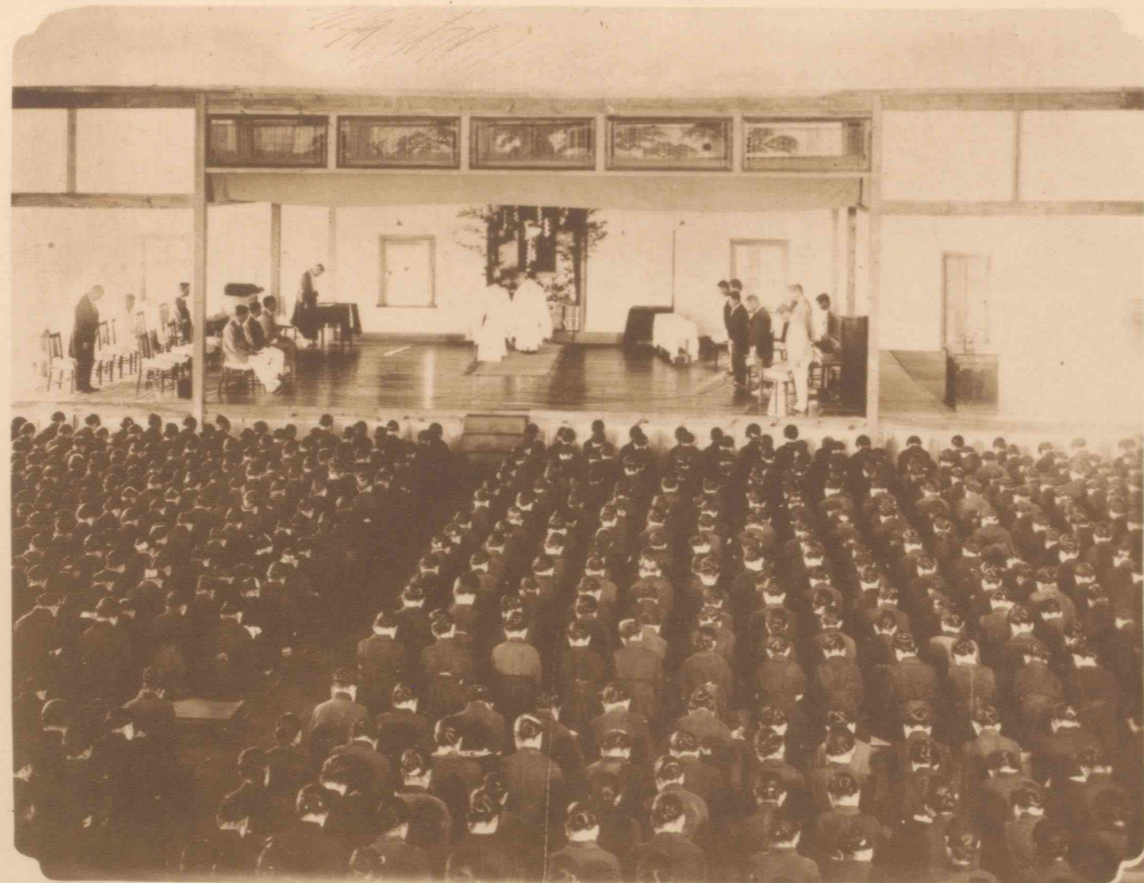




式被修絲繭繭獻奉ノ社會式株絲製中豐縣分大



式被修絲繭繭獻奉所絲製柗島社會式株績紡絲製倉片縣賀佐



式 祓 修

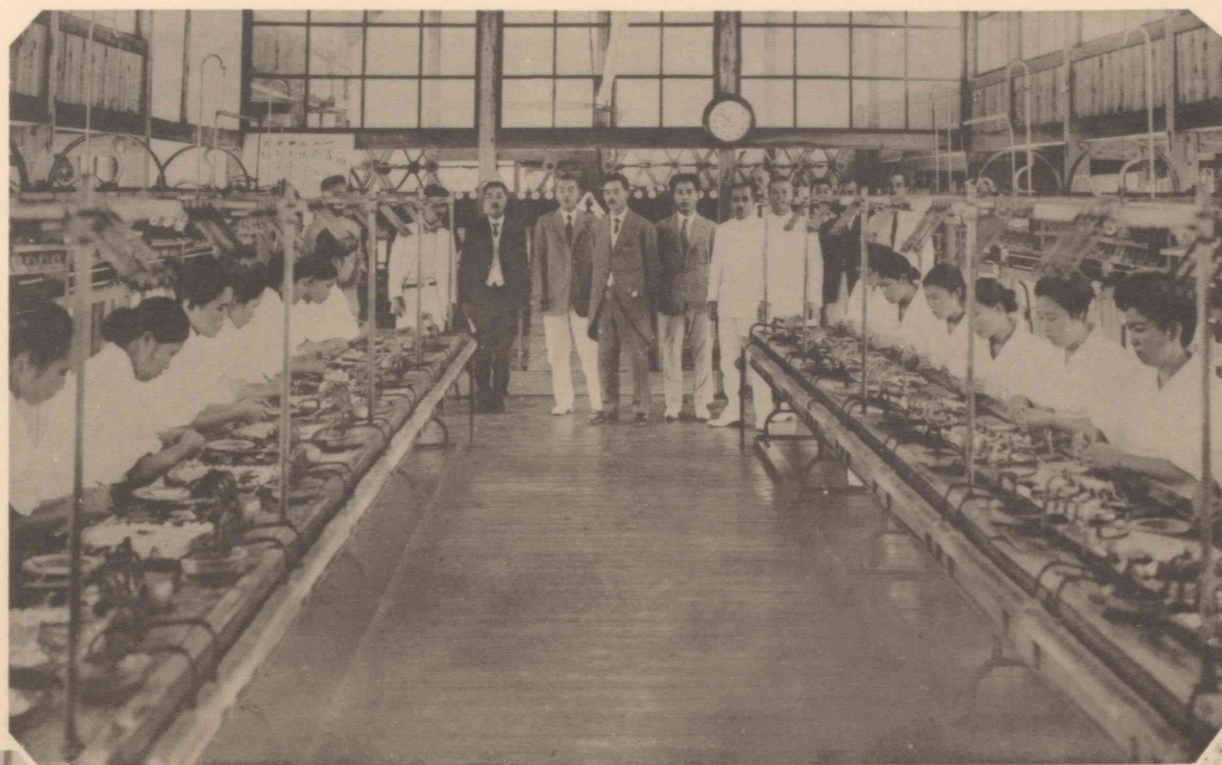
片倉製絲紡績株式會社
大分製絲所ノ奉獻繭綵絲



絲 綵

絲綉繭獻奉ノ庫倉業農繭乾縣崎宮合組用利賣販任責限有

絲 綉



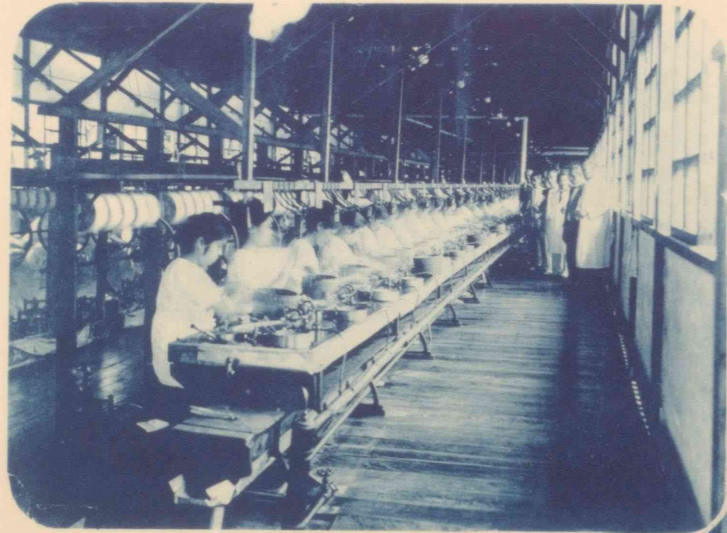
裝 束



繭 煮



薩摩製絲株式會社ノ奉獻繭絲

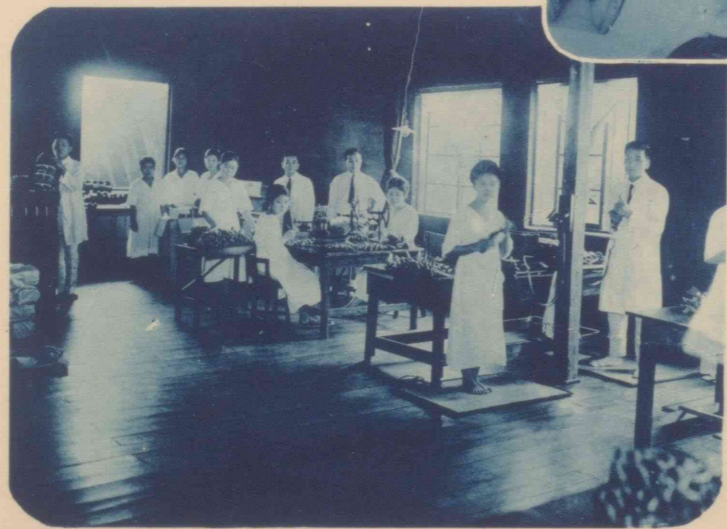


絲 綫



式 禮 修

裝 束

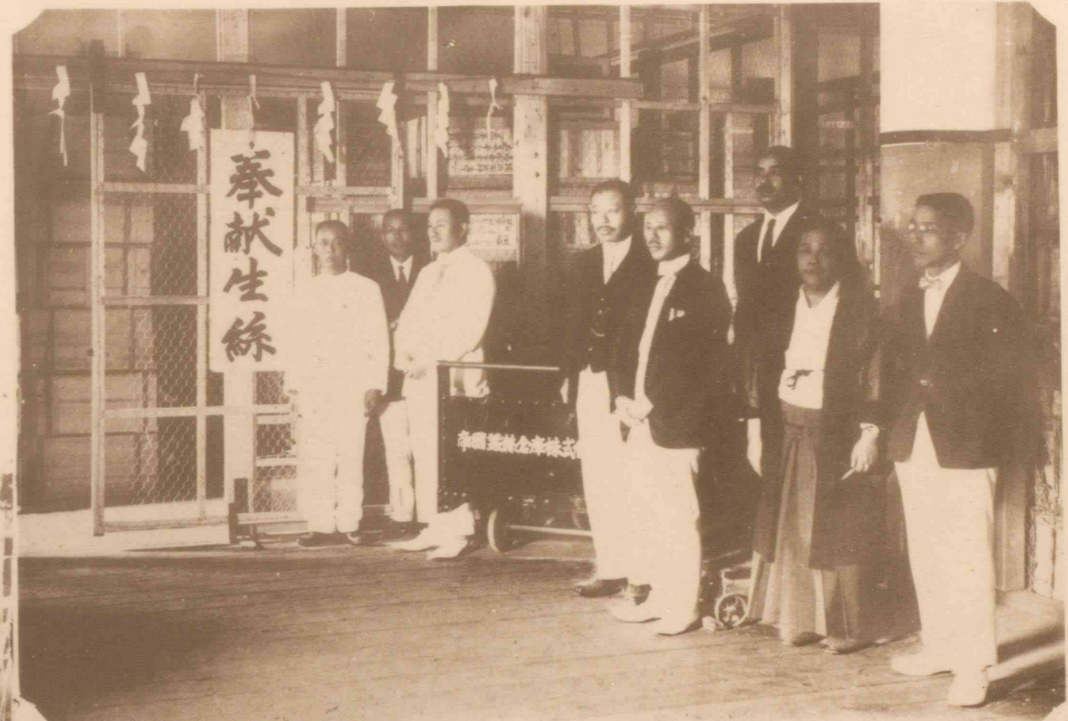
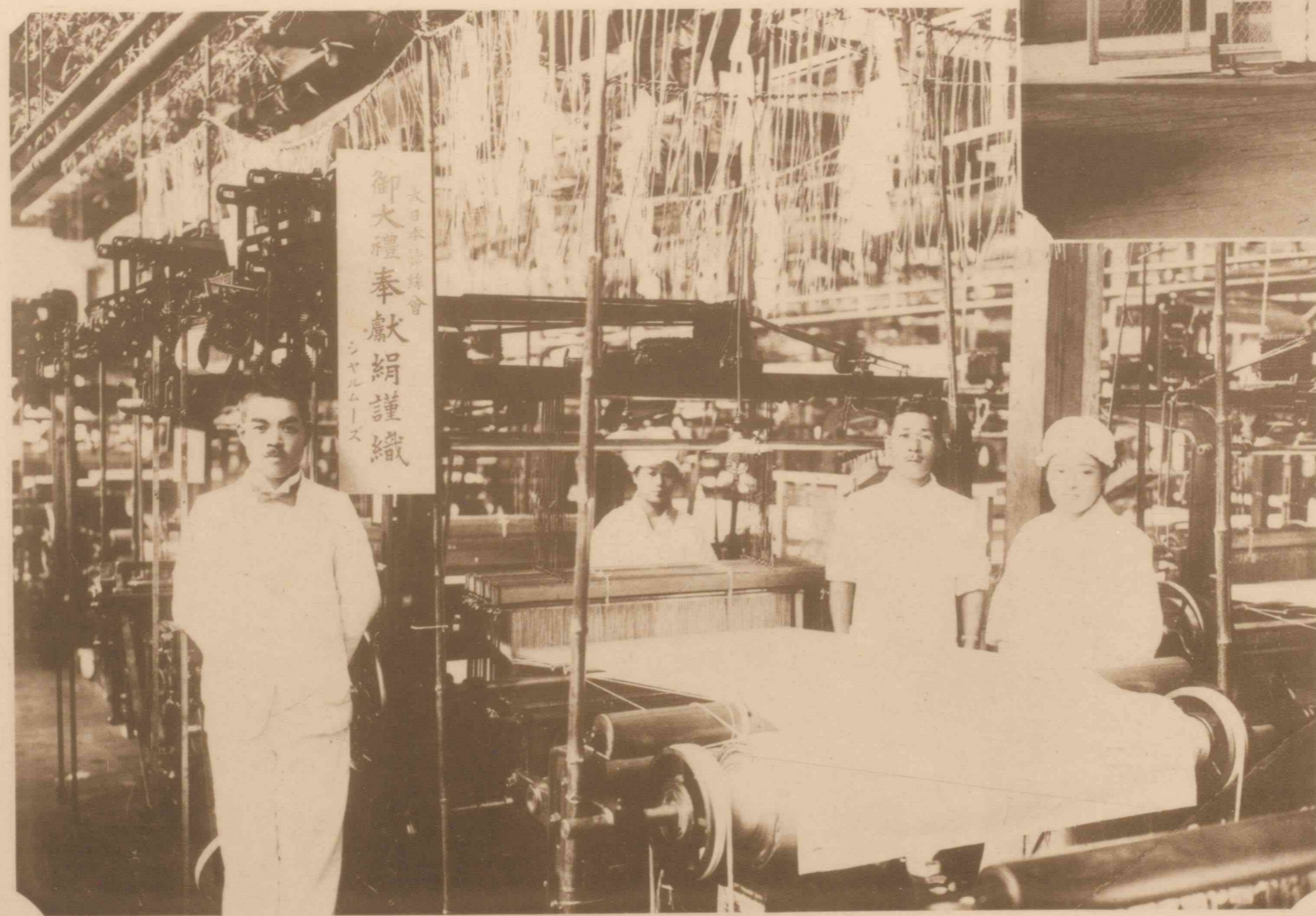


繭 撰

繭 煮



奉獻絹織物ノ製織
 (群馬縣 飯塚春太郎)



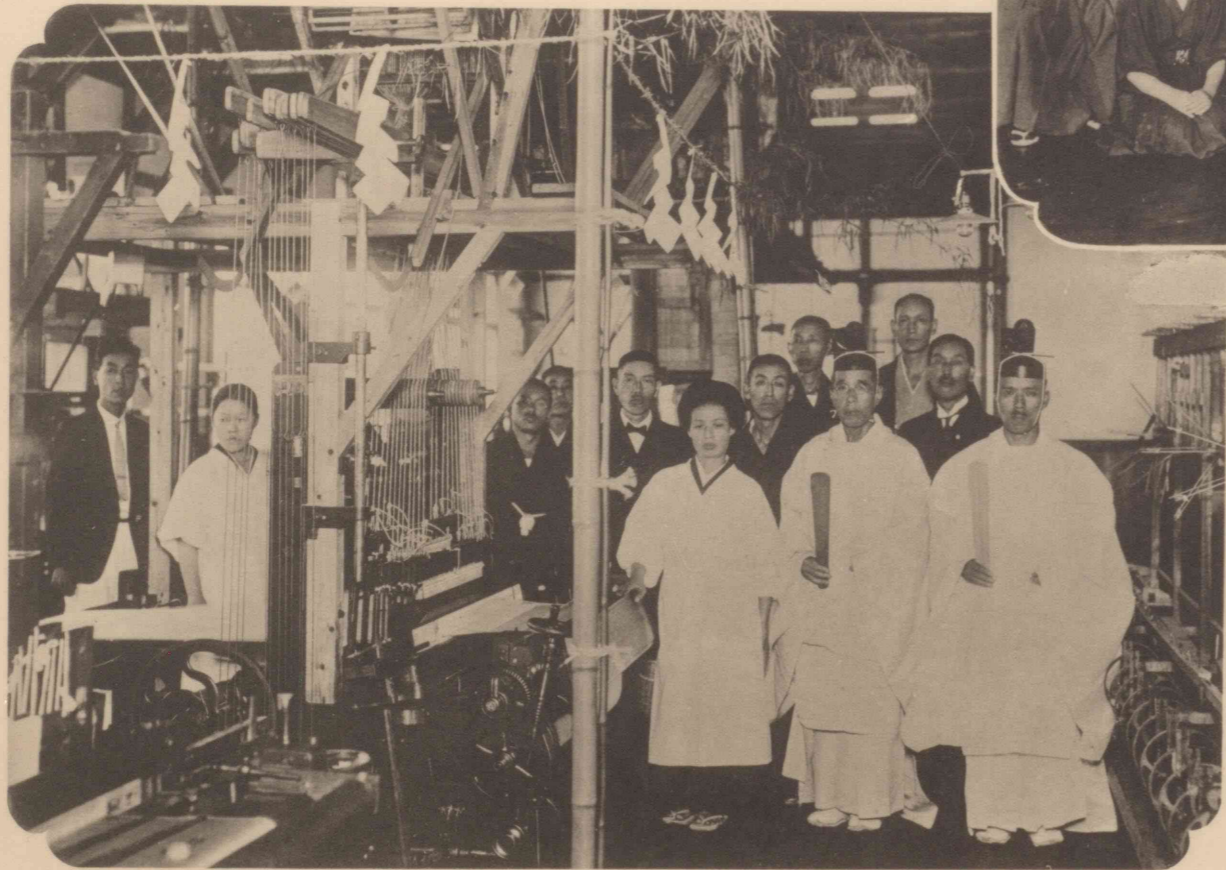
帝國蠶絲倉庫株式會社ニ於テ奉獻生絲保管管

織製ノ物織絹獻奉

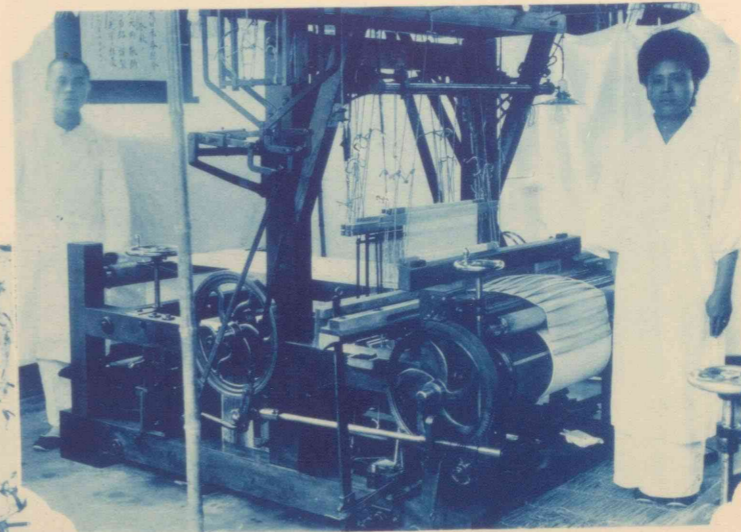
(合組業同物織絹出輪前羽)



(上 同)



同
(平權出小縣湯新)

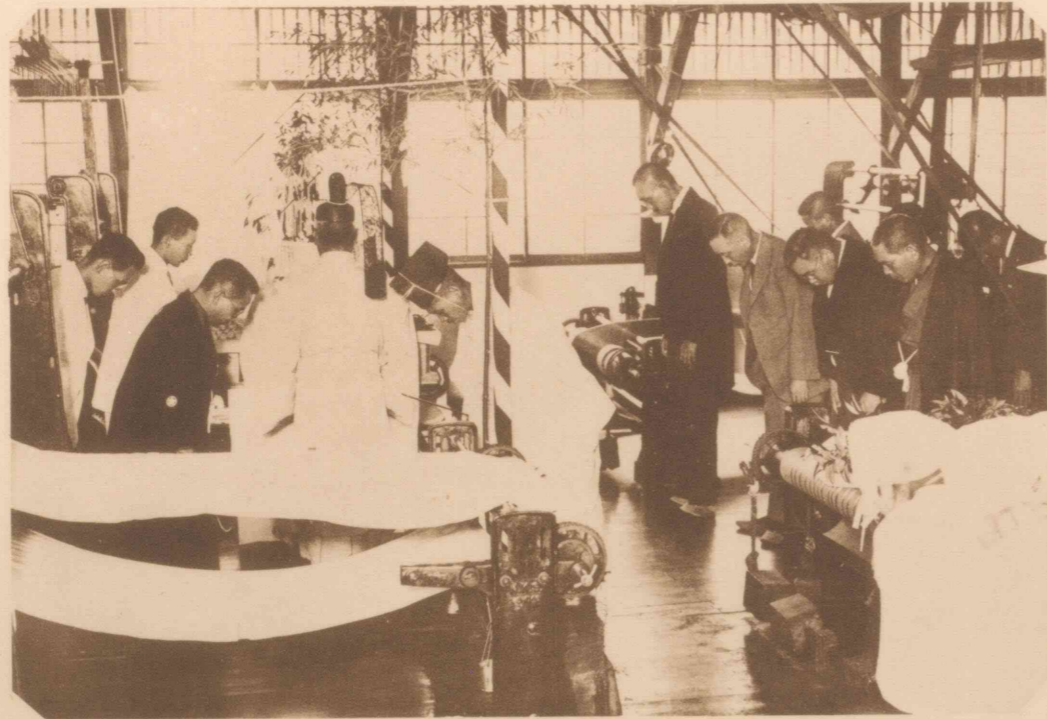


(同)



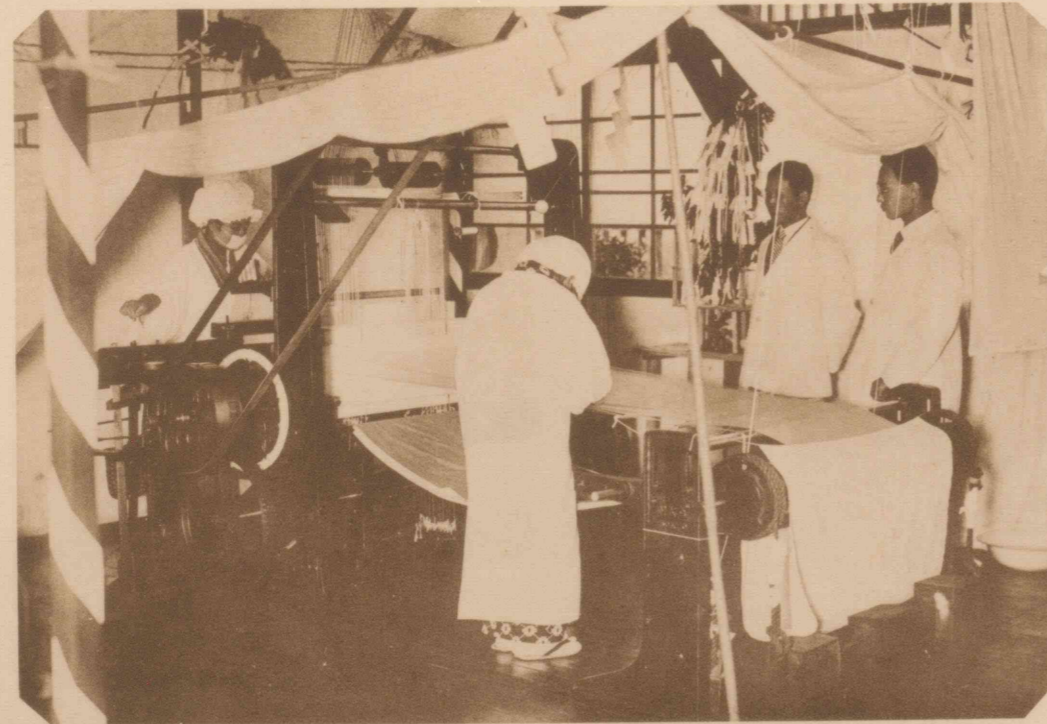
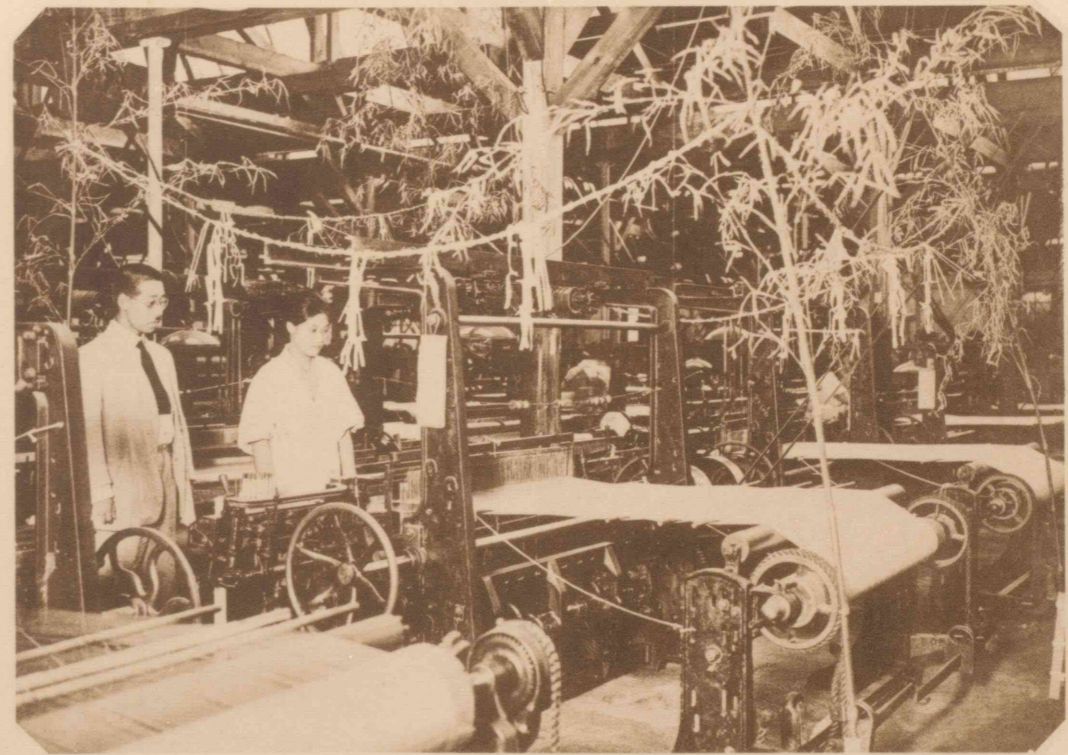
同

(副 喜 日 定 縣 梨 山)



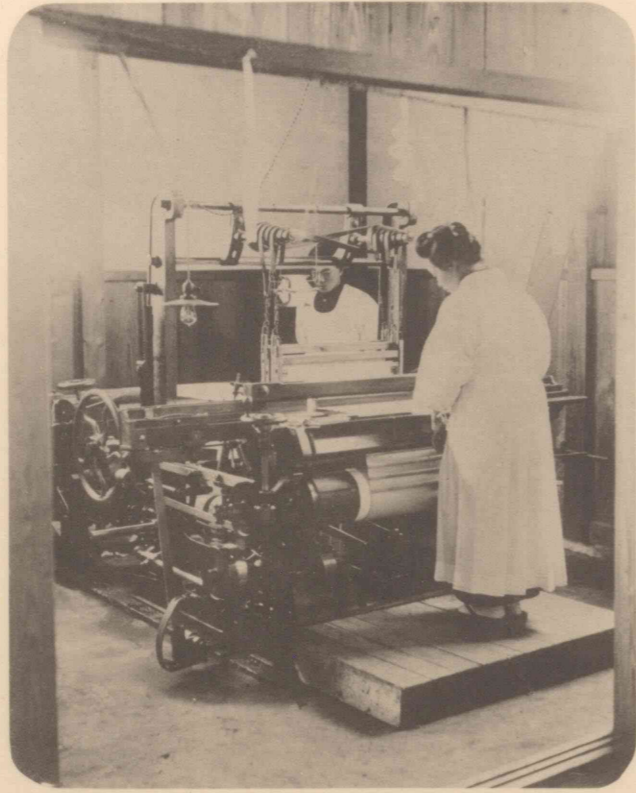
同

(場 工 範 模 物 織 縣 山 富)

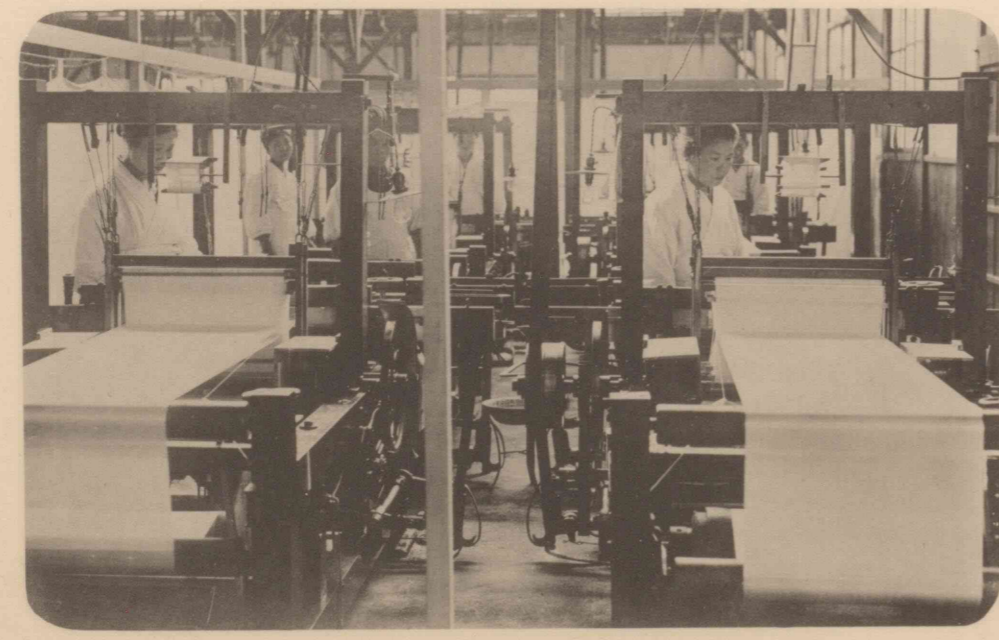


(上 同)

(同)



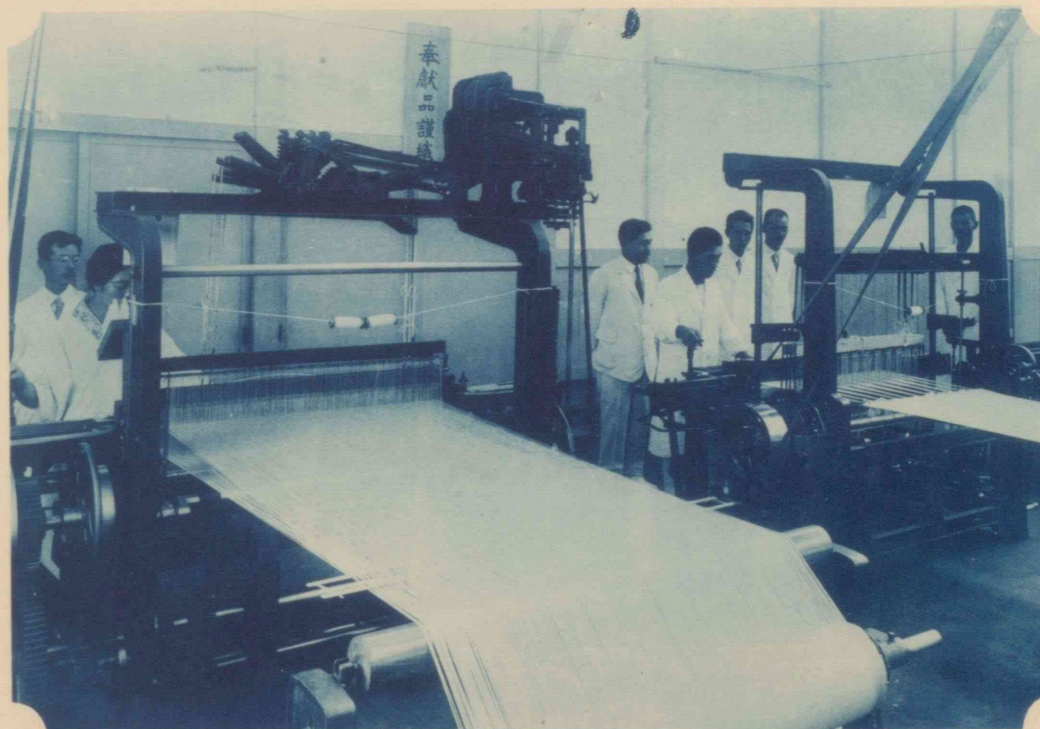
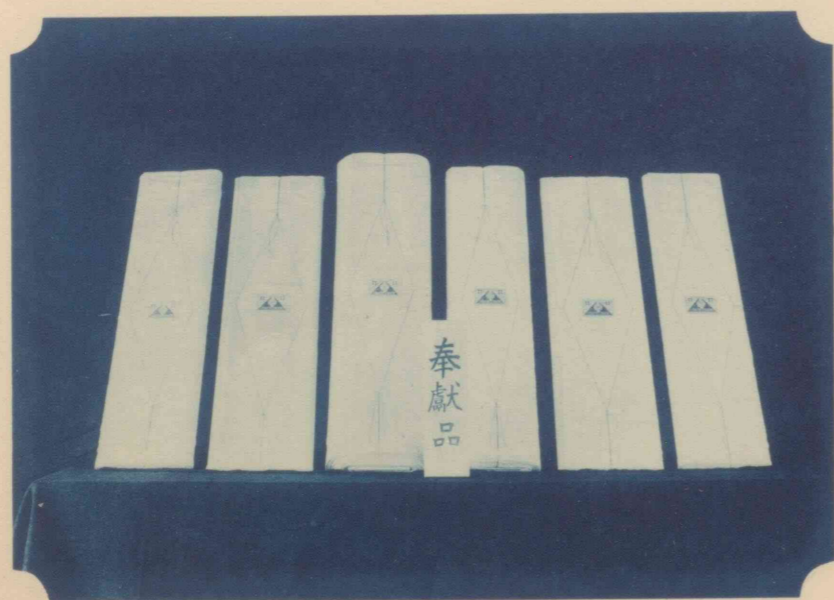
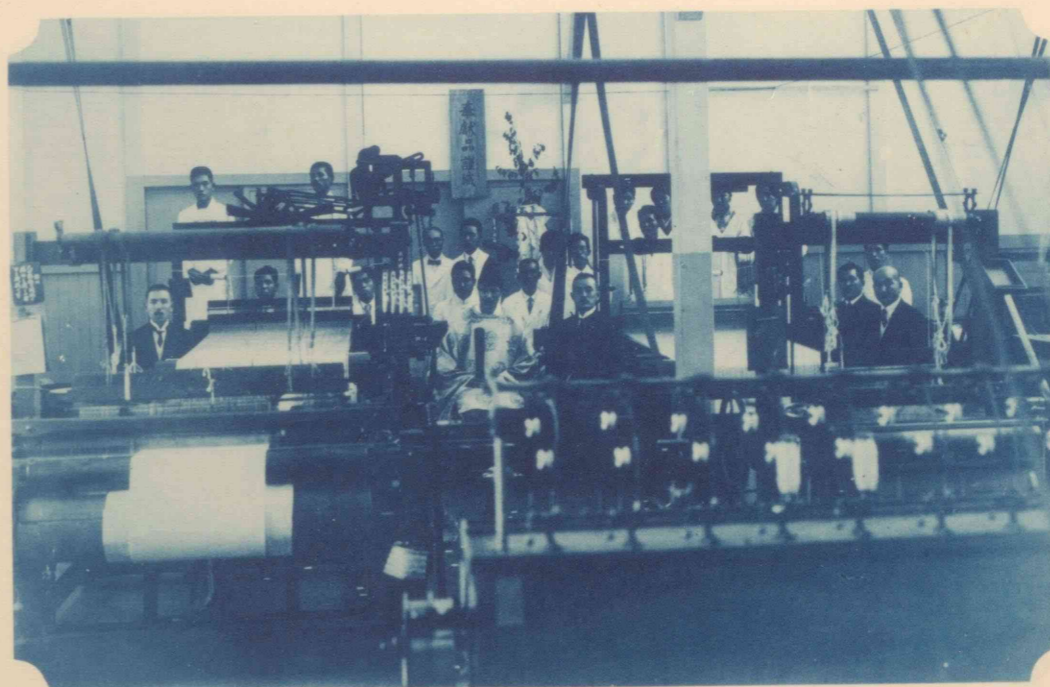
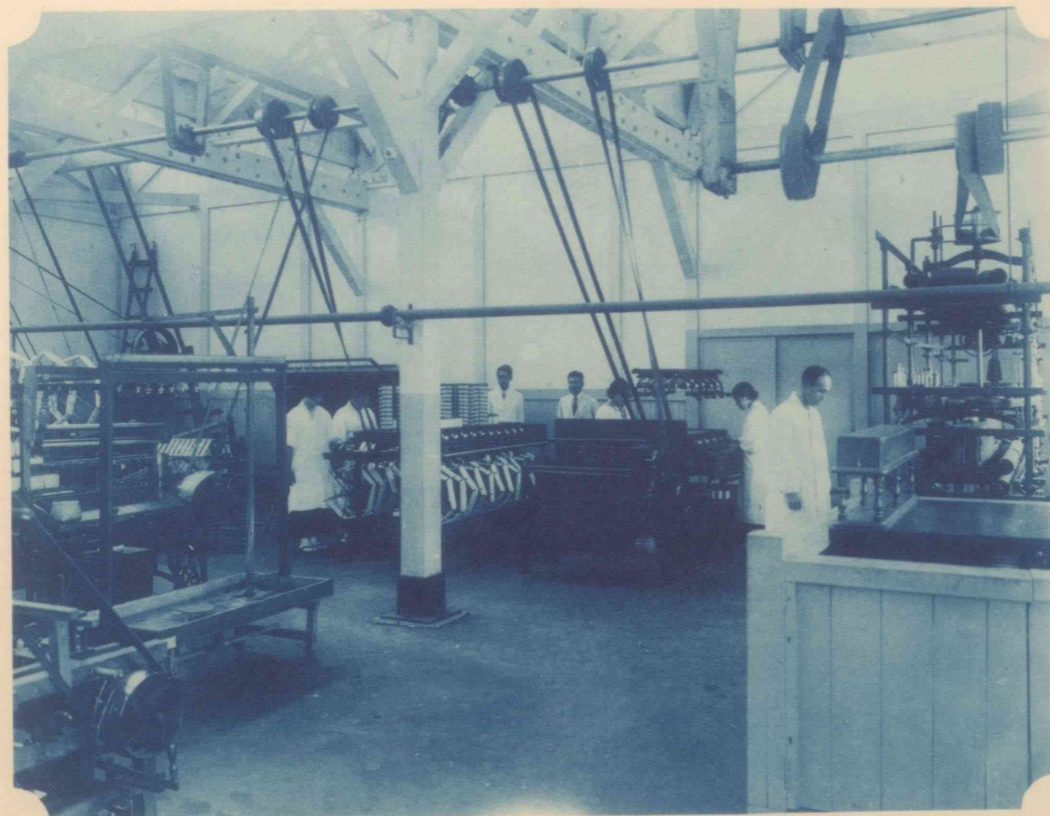
同
(太長田山縣川石)



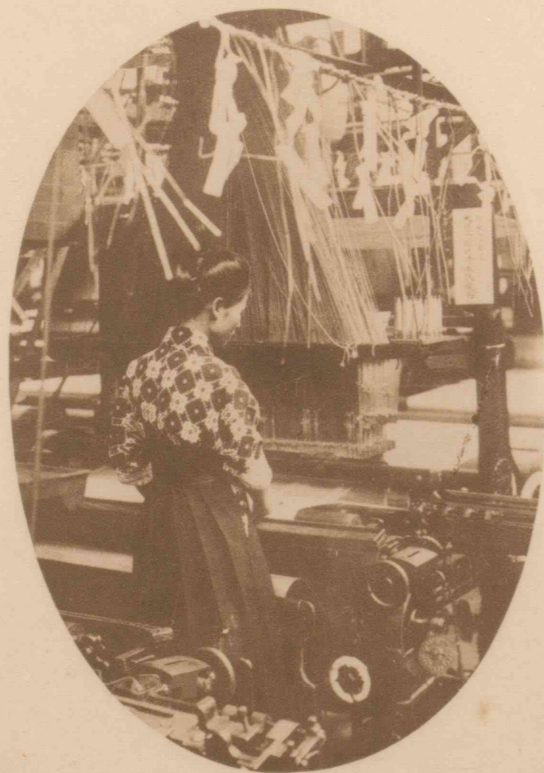
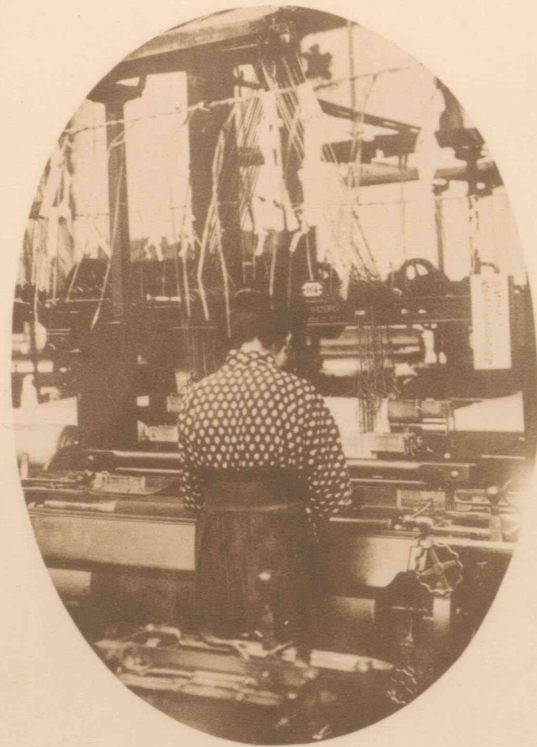
(同)

同

(場 驗 試 業 工 縣 野 長)

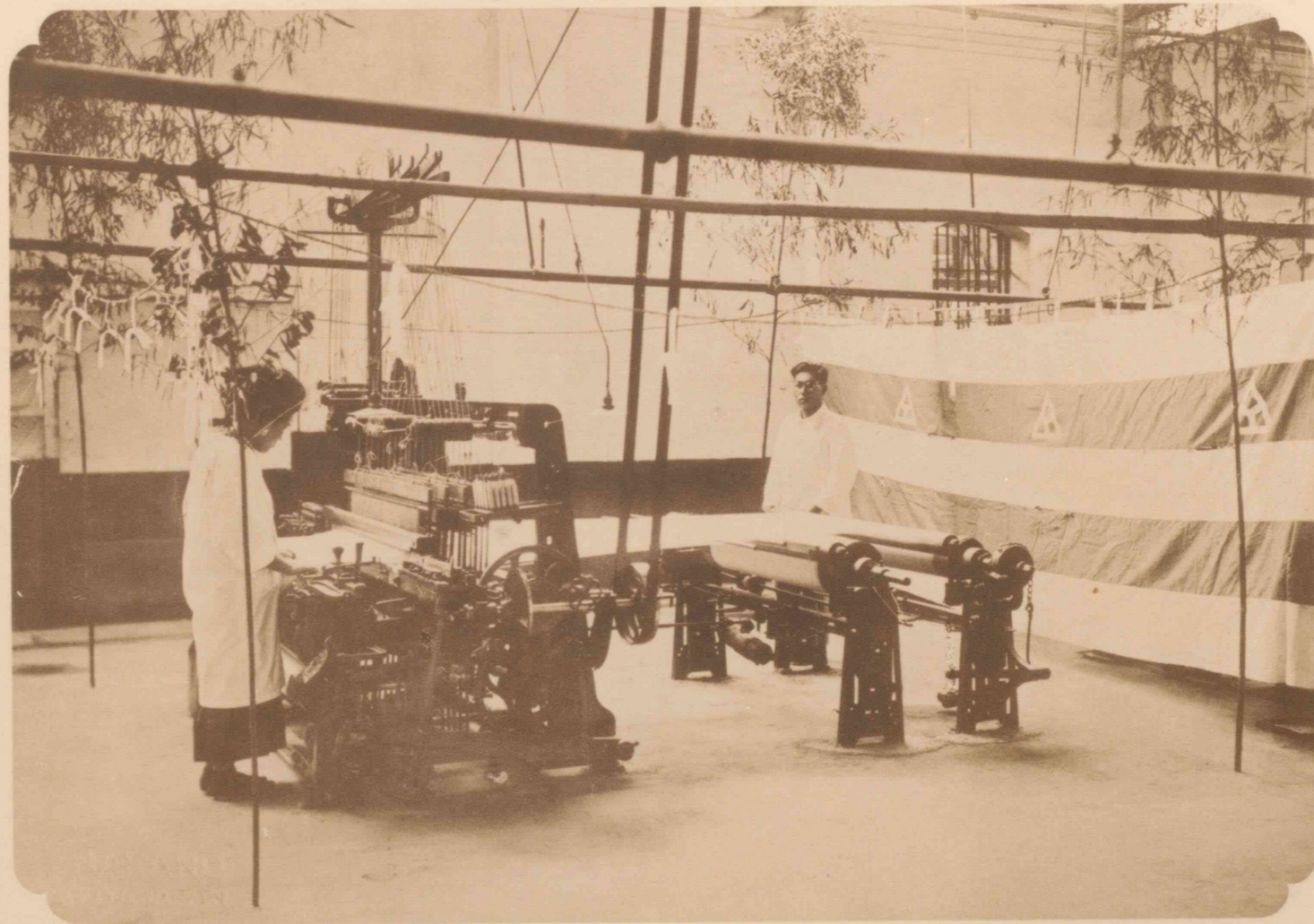


同
(社會式株物織都京)

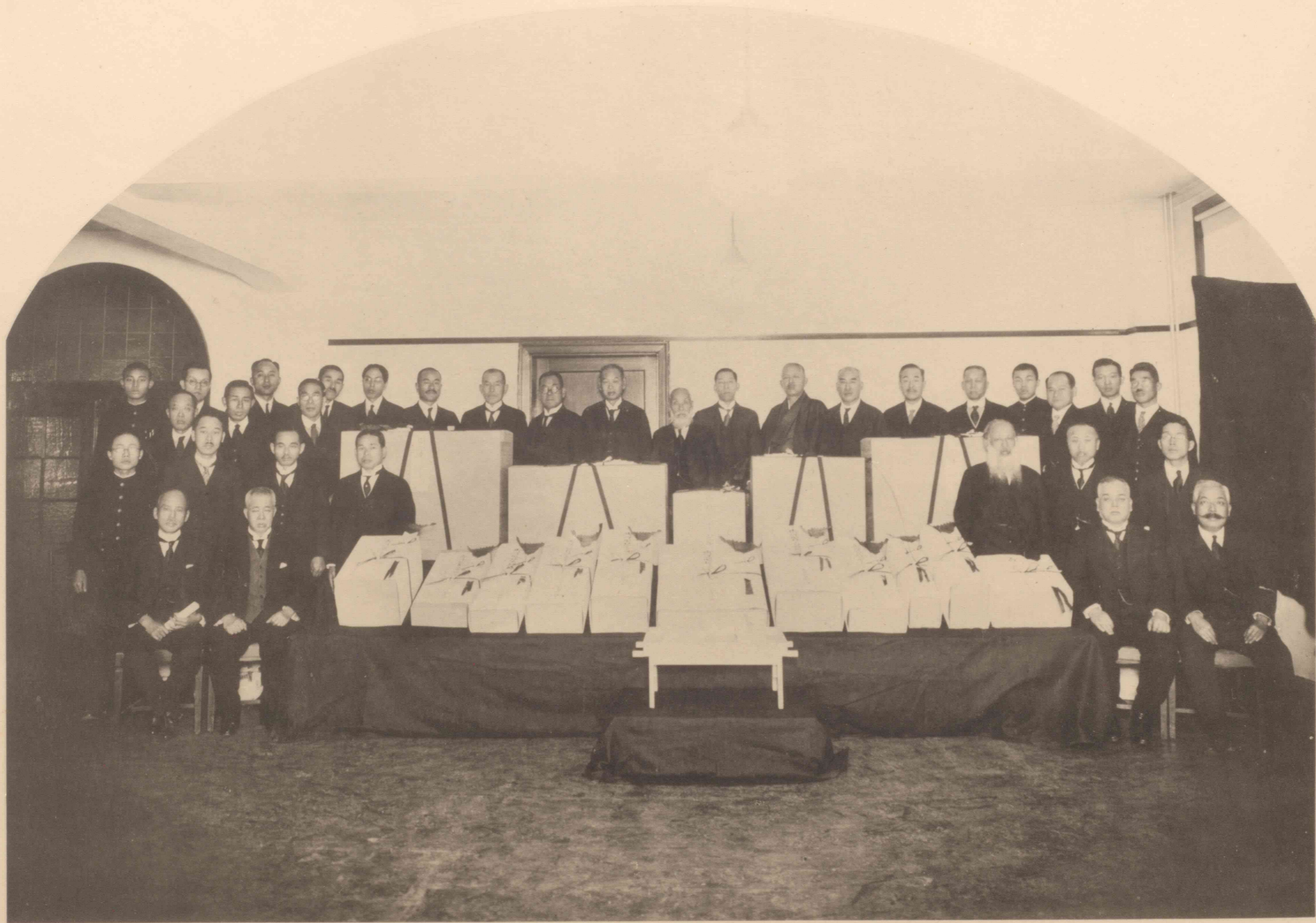


(同)

同
(社會式株物織絲撚國帝縣知愛)



員 職 役 會 本 卜 品 獻 奉



赤坂離宮東御門ヨリ奉獻品搬入



本會事務所前ニ於テ
ケル奉獻品ノ積込



奉祝事業の経過

奉祝事業の企畫は昭和二年十月十七日の理事會に於て決定したるものあるが本事業の遂行を期せんには全國の當業者にその趣旨を周知徹底せしむるの要あるは云ふ迄もなく之が爲には支會當局の翼賛と援助とに待たざるべからざるを以て同年十月二十二日華族會館に各支會幹事長會議を開き地方の事情を聴取すると共に本件に關し腹臆なき意見を求めたり同會議に對し本會より提出せる議案左の如し。

御大典奉祝ニ關スル件

明年十一月ノ候ニ於テ行ハセラル、御即位ノ御大禮ニ對シテハ國ヲ舉ゲテ奉祝ノ誠意ヲ捧クヘキハ勿論ニシテ殊ニ歴代ノ 皇室ヨリ厚キ御獎勵ヲ賜ハリ今日ノ盛況ヲ呈シタル蠶絲業者ハ何等カノ方法ヲ以テ慶祝ノ微意ヲ表シ一ハ以テ 皇祚ノ無窮ヲ壽キ奉リ一ハ以テ鴻恩ノ萬一ニ酬ヒ奉ランコトヲ希望セラル、向多カルヘキハ既往ノ事例ニ徴シテ豫想シ得ヘシ仍テ本會ハ其筋ノ聽許ヲ得テ蠶絲業者ノ生産ニ係ル繭及生絲ヲ集メ之ヲ繰絲機械シ以テ奉獻ノ勞ヲ採ラントス

惟フニ二百萬ノ當業者ヲシテ此ノ趣旨ヲ周知セシメ赤誠奉仕ノ念ヲ達セシムルニハ支會當局ノ熱誠ナル援助ニ待タルヘカラス各位ハ平素繁劇ナル事務ヲ掌理セラレ御苦勞察スルニ餘リアリト雖モ當業者ノ誠意竝ニ本會ノ微意ヲ諒トシ奮テ翼賛セラレタシ

尙左記ノ計畫ニ對シ意見ヲ開陳セラレタシ

記

一、寄附繭ハ一名ニ付百粒トシ生絲ハ一名ニ付三捻（成ルヘク十四デニールノモノ）トス

一、寄附繭及生絲ハ支會ニ於テ取纏メ本會指定ノ場所ニ送付セラル、コト

生繭ハ支會ニ於テ乾燥セラル、コト但シ乾燥料ハ本會之ヲ支辨ス

一、支會ニ募集費ヲ交付ス

一、寄附者ニ記念品ヲ贈呈ス

一、繰絲、加工又ハ精選ノ際生シタル屑物及端物又ハ精算ノ結果殘餘ヲ生シタルトキハ本會ニ於テ御大典記念事業ノ費途ニ充ツルコト

（備考） 次回ノ會議ニ於テ繭百粒ヲ五十粒ニ生絲三捻ヲ二捻ニ座繰生絲及玉絲ヲ一捻ト變更ス

右の案に對し隔意なき意見の交換あり一、二奉獻數量の多きに過ぎ却て成績の不良を招來する恐れなきやとの意見もありしが結局滿場一致を以て同案に賛成し本會支會協力して圓滿遂行に邁進することに協定せり茲に於て宮内省の内諾を求め更に十二月十二日開會の本會評議員會に於て全會一致本事業の豫算を決議したり。

昭和二年十二月十二日評議員會に於て決議したる當初豫算は一口繭五十粒生糸三捻にして收支共に二十萬五千七百二十圓なりしがその後一口繭五十粒生糸二捻に變更したるを以て昭和三年三月三十一日の評議會に收支豫算十萬四千五百七十圓と更正提議し決議を経たり然るに後記の如く寄進數六割餘の増加を來したるを以て更に同年十二月二十日の評議員會に更正豫算を提出しその決議を経たり左に掲ぐるもの即ち最後の豫算なり。

臨時部特別會計御大典奉祝費豫算

收 入		支 出		對 比 既 豫 算		附 記
費 目	更正豫算額	既定豫算額	增 減	對 比 既 豫 算	增 減	附 記
總 收 入	一七九,五〇〇 _円	一〇四,五七〇 _円	七四,九三〇 _円			
第一項賣却代	一七九,五〇〇	一〇四,五七〇	七四,九三〇			
第一項賣却代	一七九,五〇〇	一〇四,五七〇	七四,九三〇			
總 支 出	一七九,五〇〇 _円	一〇四,五七〇 _円	七四,九三〇 _円			
第一項募集費	八六,一〇〇	五八,二五〇	二七,八五〇			奉獻繭八十萬餘點分支會ニ交附 記念品八十五萬個(引替券、謝狀運賃 ヲ含ム)五一,八〇〇 _円 記念帳三百部一部五個(一、五〇〇 _円)
第一項交付金	三二,八〇〇	二〇,〇〇〇	一二,八〇〇			
第二項記念品費	五三,三〇〇	三八,二五〇	一五,〇五〇			
第二項取扱費	一五,四五五	一〇,八八五	四,五七〇			
第一目繭乾燥費	六,五七〇	四,五〇〇	二,〇七〇			實 費 拂
第二目臨時雇給	六〇〇	六〇〇				
第三目臨時囑託給	一,〇〇〇	一,〇〇〇				
第四目備人給	五〇〇	五〇〇				
第五目荷造運搬費	五,五〇〇	三,〇〇〇	二,五〇〇			繭、生絲、織物ノ荷造運賃(繭小袋ヲ 含ム)
第六目借入金利子	一,二八五	一,二八五				
第三項製品費	三二,三〇〇	二九,四〇〇	一,九〇〇			
第一目製絲費	二二,四〇〇	二二,四〇〇				生絲百四十四貫匁機織料
第二目機織費	六,九〇〇	五,〇〇〇	一,九〇〇			
第三目包裝費	一,〇〇〇	一,〇〇〇				
第四目雜費	八,四八一	三,〇〇〇	五,四八一			
第一目雜費	八,四八一	三,〇〇〇	五,四八一			宣傳印刷物及出張旅費、支會幹事長打 合會經費、消耗品、通信費、其他
第五項豫備費	三八,一六四	三,〇三五	三五,一一九			
第一目豫備費	三八,一六四	三,〇三五	三五,一一九			

本事業の施行に當つては多數斯業者赤誠の發露に對し最も周密の取扱をなし萬遺漏なきを期するの要あるを以て直接事務に當るべき支會の當局と共に慎重協議するの必要を認め昭和三年三月二十日三會堂に於て再び各支會幹事長會議を開き事務上に付仔細に協議を重ねたりその要項左の如し。

協 議 事 項

- 一、奉獻繭、生絲、玉絲、ノ處理及取纏メ時期
- 繭 奉獻繭ハ一點毎ニ本會交付ノ小袋ニ納メシメ支會ニ於テ適宜之ヲ取纏メ機ヲ失セス木乾燥ヲ行ヒ強製

紙又ハ布製ノ袋ニ納メ完全ニ保管シ七月末日迄本會指定ノ場所ニ送付スルコト(後ニ夏秋蠶繭を採納スルコト、シ八月末日迄送付スルコト、ナレリ)

強製紙又ハ布製ノ袋ハ支會ニ於テ之ヲ調製シ其ノ經費ハ支會ノ負擔トスルコト

生絲、玉絲、支會ニ於テ取纏メ荷造ニ注意シ八月末日迄本會ニ送付スルコト

奉獻者名簿及數量(繭ハ口數及本乾燥ノ貫數、生絲、玉絲ハ捻數及貫數)ハ現品發送ト同時ニ直接本會ニ送付スルコト

乾繭料及支會ニ於テ取纏メタル繭及生絲、玉絲ヲ本會指定ノ場所ニ送付スル爲ニ要シタル荷造運賃ノ實費ハ本會ニ於テ之ヲ支辨スルヲ以テ支會ハ各證憑書ヲ添ヘ本會ニ請求セラレタシ

繭小袋所要數ハ四月十日迄ニ本會ニ申出テラレタシ

二、周知方法

蠶絲界報、蠶絲の光等ノ誌上ニ於テ周知セシムル外百萬枚ノ趣意書ヲ作り支會ニ交付スルヲ以テ支會ハ最善ノ方法ニ依リ周知徹底方ヲ計ラレタシ

三、支會交付金

支會ニ左ノ割合ヲ以テ募集費ヲ交付ス

イ、繭一口(五十粒)ニ付金四錢

ロ、生絲一口(貳捻)ニ付金十錢

ハ、座練生絲及玉絲一口(一捻)ニ付金五錢

生絲及玉絲ノ一捻ハ十八匁ヲ標準トス

四、記念品及受領證交付方法

奉獻者及募集ノ爲盡力シタル向ニハ御大典記念ヲ表徴シタルメダル一個ヲ贈呈ス

右記念品ハ奉獻品受領ト引換ニ交付シタキモメダル製造能力ノ關係上約半數ハ引換ニ交付シ殘餘ノ半數ハ先ツ受領證ヲ交付シ置キ後日其券引換ニ記念品ヲ交付スルコト

受領證ハ本會ニ於テ之ヲ作り支會ニ送付スルヲ以テ支會ハ責任者ノ印ヲ押捺ノ上交付セラレタシ

五、奉獻繭ノ練絲委託

奉獻繭ハ別表ノ通り三十六ヶ所(後ニ支會ノ要求ニヨリ五十四ヶ所トナル)ノ製絲家ニ委託練絲シタキ見込ナルヲ以テ當該支會當局ニ於テハ左記事項了承ノ上適當ナル者ヲ選定シ豫メ内諾ヲ求メテ本會ニ報告セラレタシ

尙其工場ニ於テ委託事務ノ主任トナルヘキ者ニ對シテハ本會ニ於テ事務ヲ囑託スル見込ニ付其氏名ヲモ併セテ報告セラレタシ

本會ハ右報告ニ基キ會頭ヨリ正式ニ依頼狀ヲ發シ且ツ事務囑託ノ手續ヲ執ルヘシ

記

(イ) 生絲ハ十四デニールノ優良品ヲ製スルコト

(ロ) 委託製絲場ガ支會ヨリ奉獻繭ヲ受領シタルトキハ其都度數量ヲ本會ニ通知スルコト

(ハ) 奉獻繭ハ八月末日迄ニ練絲ヲ終リ本會指定ノ場定ニ送付スルコト

右荷造及運賃ハ本會ニ於テ之ヲ負擔ス

(ニ) 委託製絲場ニ對シテハ百斤ニ付百五十圓内外ノ範圍ニ依リ金錢又ハ物品ヲ以テ謝禮ス

(ホ) 囑託シタル主任者ニ對シテハ有功章ヲ、之ニ關係シタル者ニハ記念メダルヲ贈與ス

六、奉獻絹織物ノ機織委託

奉獻絹織物ノ種類及委託機織場ハ大體左記ノ豫定ナルカ機織委託ニ就テハ追テ支會當局ノ盡力ヲ乞フコトアルヘキル以テ豫メ含ミ置カレタシ(左記)ハ後ニ記スルヲ以テ茲ニ省略ス)

尙奉獻數量に付き地方の状況より減額を希望するものありたるを以て種々懇談の結果一口に付繭は五十粒生糸は二捻とし又座繰生糸及玉糸を一口一捻の寄進を受くることと協定せり。

右の協定に基き本會は先づ左記の趣意書百餘萬枚を支會を通じて普く之を配付せる外支會に於ては地方新聞雜誌等に之が掲載を懇願せられ又本會支會共に講習講話その他會合の機會に於て周知方を圖り一面各種團體の助力聲援を乞ふ等趣旨の徹底に努めたり。

趣 意 書

御大典奉祝法に就て蠶絲業者に告ぐ

大日本蠶絲會

來る十一月舉行あらせらるゝ御即位の御大禮に付いては、國民舉つて奉祝の誠意を捧ぐべきことは勿論でありませが、殊に吾々の携はつて居る蠶絲業は、歴代の皇室より厚き御庇護と御獎勵とを賜はり、その御かけに依つて現在の如き盛況を呈したのでありますから、今回の御大典に際して二百萬の當業者各位が何等かの方法を以て皇祚の無窮を壽ぎ奉り、且鴻恩の萬分の一にも酬ひ奉らんことを希望せらるゝことは、曾て 大正天皇御即位及 今上陛下御成婚の御大禮に際し、本會が御世話致しました奉祝の企が豫想外の盛況を呈した事實に徴して明かな事と思はれます。仍て本會は各府縣の大日本蠶絲會支會に諮り、又本會評議員會の協賛を得て大體左記の方法に依り、全國蠶絲業者奉祝の御世話を致すことになりました。

二百餘萬の當業者各位、今回我大日本蠶絲會にて行ふ奉祝事業の趣意を諒せられ、洵なく御賛同相成り、今より養蠶に製絲に、より良き結果を收めらるゝ様御心掛けの上、この千歳一遇の御即位式御大禮に奉祝の誠を致されんことを切望する次第であります。

蠶絲業者奉祝方法

- 一、蠶絲業者は各其生産品を奉祝献上するものとし、其數量は、一口に付、養蠶家にありては繭五十粒、器械製絲工場にありては器械生絲(成るべく十四デニールもの)二捻(一捻は十八匁標準)、座繰又は玉絲製絲工場にありては座繰生絲或は玉絲各一捻と定めます。
- 二、奉獻繭は奉蠶(霜害其他の爲止むを得ざる場合には夏秋蠶收繭後直ちに生絲(座繰絲、玉絲を含む)は八月末日迄、にそれ〴〵府縣廳内大日本蠶絲會支會に送付せらるゝこと。此場合、繭袋又は生絲包紙には住所氏名を明瞭に記して頂きたい。繭袋は自製品にて可なるも、大日本蠶絲會支會に御請求になれば無料で差上げます。
- 三、奉獻者には一口に付一筒の御大典記念メダルを贈呈致します。
- 四、奉獻品は各支會より本會に取纏め、製絲機織の上、御料の絹織物となし、奉獻者名簿を添へ蠶絲業者奉祝献上品として本會より宮中へ奉獻致します。

次に本會は圖示の如き繭小袋を最初六十萬枚製作し當業者の多寡に應じて各支會に分配方を依頼せるにこの事業の企畫あるを知れる當業者は争でか黙止すべき先を競ふて奉獻の誠意を致さんとし繭袋の配付を受けぬ當業者中には差別的待遇を受けたるかの如き感を懷き不平を訴へて繭袋の配當を求め來るものあり或は全部の當業者に同様の取扱をなさざれば町村若くは養蠶組合の平和を破るを以て全員に繭袋の配當を要請し來るもの少からず。

御大典
奉祝
奉獻繭袋

- 一、此の袋に入れられる繭は御料の絹織物になります
- 二、此の袋に入れる繭は五十粒と定めます
- 三、此の繭は春蠶（霜害其他止むを得ざる場合は夏秋蠶）收購後直にそれ／＼府縣廳内大日本蠶絲會に送られたい
- 四、奉獻者には一口（五十粒）に付き一箇の御大典記念メダルを贈呈致します
- 五、奉獻者の住所氏名は明瞭にお記し下さ

縦 九寸五分
横 四寸八分

奉獻者
住所
氏名

素より差別的取扱をなしたるにあらざるは勿論なれども經理上豫定をなす必要あり従て奉獻口數の如きも本會に於て之を豫測し各支會はその受けたる配當を郡町村に分配し町村は又養蠶組合若くは各區に分配する等便宜の措置を採ることは止むを得ざる事となるが如上熱心の發露に對し素より喜んで繭袋の配給を行ひたれば各支會よりの追求頗る多く終に百餘萬枚の多さに達せり而かも尙不足にして單獨作製せる支會もあり又配當を受け兼ねて自ら奉書紙などを以て作れる當業者もありたり。

奉獻繭は献上時期の關係上春蠶繭に限定したるが不幸各地に霜害あり被害地の當業者中春蠶飼育の中止を餘儀なくせられたる者或は氣候上春蠶飼育を爲さざる地方もあり斯る地方よりは屢々夏秋蠶繭の採納方を要請し來したるを以てその衷情を諒とし之を採擇することゝせり或は自家の都合より平年春蠶を飼育せざるものが奉獻繭は春蠶に限ることを知りて老驅を捧げて框製一枚の春蠶を入念飼育し精

不敬の無き様注意
御大禮献上箔

養蠶組合

繭を献上したる老翁あり又養蠶組合に於て組合員一同
縦 四寸 奉獻繭の蠶兒を飼育せる蠶箔に圖の如き小票を附し敬
横 二寸 虔丹念の飼育をなせるにその成績良好にして無類の良
繭を納め精神的緊張より得たる効果の偉大なるを知れ

るものあり或は奉獻用の蠶兒を入れたる蠶箔に赤札を附して特別飼育をなしたる如き又はその蠶架にべ繩を張りたる如きもの少からず。

生絲、玉絲糸を献上したる者も亦原料繭の精選は云ふ迄もなく齊戒して繰絲に當り特に桐箱を作りて納付せるものもありたり而して奉獻繭を蒐集乾燥送荷等の作業に當りては支會當局、地方蠶業機關及各團體の役職員等は或は修祓を行ひ或は白衣を着け或は徹夜不寢の番をなす等終始敬虔緊張一舉足一投足も苟もせざる熱誠振を發揮したり。

斯くて豫定の時期迄に寄進したる繭生絲玉絲の口數は合計八十一萬五千五百五十二口に達し計畫當時の五十萬口に比し六割餘の増加を見たる盛況を呈せり吾が蠶業者が如何に 皇室尊崇の念深く君臣の義に厚きかを知るに足るべし各地方別奉獻口數左表の如し。

繭及生絲奉獻口數

府縣別	繭奉獻口數	器械生絲	座繰生絲	玉	獻	口	計	合
北海道	二、二七九							二、二七九
青森	一、五五九							一、五五九
岩手	一〇、一〇五							一〇、一〇六
宮城	二一、七七九							二一、八一六
秋田	五、五〇六							五、五〇七
山形	一七、二三八							一七、二九八
福島	三七、三四四							三七、三九六
茨城	二六、〇七一							二六、一〇四
栃木	七、一九六							七、一九八
群馬	二九、二九四							二九、五二六
埼玉	五三、四八三							五三、五一六
千葉	一五、五九九							一五、六〇八
東京	七、七八五							七、八一四
神奈川	二二、六五一							二二、六八一
新潟	二四、一六四							二四、一八六
富山	五、一九七							五、二一八
石川	七、七四七							七、七六一
福井	八、三三三							八、三七二
山梨	二一、九三八							二二、〇三五
長野	七三、〇九三							七三、四三五
岐阜	四五、七六二							四五、九〇〇
靜岡	二一、六六七							二一、七九九
愛知	一六、八六一							一六、九三二
三重	一九、〇九四							一九、一六〇
滋賀	七、三六八							七、三八一
京都	八、八七四							八、八九二
大阪	七七四							七七六
兵庫	二〇、四二六							二〇、四四〇
奈良	一〇、七九一							一〇、七九五
和歌山	一六、四九一							一六、五三二
鳥取	九、四四七							九、四七〇
島根	一六、一二一							一六、一三〇
岡山	一九、六八六							一九、七二七
廣島	一三、四八八							一三、五一六
山口	九、八八五							九、八九五

德島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	朝鮮	満州	計
一〇,二一九	二,八一六	一九,三一五	二五,六三九	三〇,六四七	一七,八六五	二一,七五九	二〇,〇〇九	七,四九〇	一一,五〇四	二〇,一七一	三五四	六三七	八三,五二七	
二八	八	一一五	四二	一〇	三	五	三三	一四	二二	一七		三	一,六八一	
一			二九						一四	五			二二二	
二										三			一三二	
三一	八	一一五	七一	一〇	三	五	三三	一四	三六	二五		三	二,〇二五	
一〇,二五〇	二,八二四	一九,四三〇	二五,七一〇	三〇,六五七	一七,八六八	二一,七六四	二〇,〇四二	七,五〇四	一一,五四〇	二〇,一九六	三五四	六四〇	八一五,五五二	六

寄進せられたる多數の繭は各支會の盡力に依り夫々最寄の乾繭場又は製糸場等に運ばれて適度の乾燥を行ひたるが送荷に就ては特に赤地に白く「御大禮奉祝繭」の字を抜きたる紙片を繭籠に附して取扱者に注意を與へたるものあり或は繭を満載したる車上に「奉祝繭」の小旗を掲げて乾燥場又は繭の蒐集場に駆け付くる養蠶組合員若くは青年團員等を各所に見受け乾繭處理に就ても亦係員は最善の注意を拂ひ特別の籠に標札をして區別し周到綿密萬遺漏なきを期したり。

乾繭は各支會の推薦に依つて本會より委託したる左の五十四工場に於て繰繰せらる各工場共に無上の光榮として専任者を置き一切を扱はしめ支會幹部地方官憲等の列席を得て崇嚴なる修祓の式を行ひ概ね繩を張り或は従業員をして齊戒沐浴せしめ或は特に白衣を新調して着用せしめ或は特別の設備を施す等多大の犠牲を拂ひたるのみならず原料繭の到着より製糸の搬出に至る迄所在青年團消防組員等は徹宵委託製糸場を警戒し生絲の輸送に當り偶々驛員運送店員等の無關心者が普通品と同様の扱をなさんとすれば大聲叱咤しせるが如き挿話さへ見聞せり斯くの如く緊張し誠意を罩めて繰繰したるを以てその生絲は何れも稀に見るの優等品を得たり。

奉獻繭繰絲委託工場

府	縣	工場名
岩手	片倉製絲紡績株式會社盛岡製絲所	
宮城	片倉製絲紡績株式會社仙臺製絲所	
山形	長谷川合名會社製絲部	
	多勢丸多製絲場	
	多勢金上製絲場	

愛媛縣製絲講習所
 三好製絲所
 攝津製絲株式會社
 伊豫繭絲蠶種利用販賣組合
 高知 片倉製絲紡績株式會社高知製絲所
 福岡 山十製絲株式會社二日市工場
 佐賀 片倉製絲紡績株式會社鳥栖製絲所
 熊本 熊本製絲株式會社
 熊本 肥後製絲株式會社
 大分 片倉製絲紡績株式會社大分製絲所
 大分 豐中製絲株式會社
 宮崎 宮崎縣乾繭農業倉庫
 鹿兒島 薩摩製絲株式會社

各工場に於て繰絲せられたる生絲は之を最も嚴重に保管するの必要あるも本會にその準備なきを以て横濱の帝國蠶絲倉庫株式會社に保管を依頼せるに快諾を得特に同社倉庫の一部を清掃し繩を張り係員を置き懇切且つ無料を以て出納保管の任に當られ又選除繭は同社山下町出張所倉庫に保管の便宜を與へられたり而して生絲の量は製絲業者の寄進の分を合せ二千四百二十三貫四百八十二匁にして選除繭は四百六十八貫四百八十一匁を算せり。
 奉獻織物の原料はその織物の種類に依り自らその選を異にするを要し一々生絲の品質を檢查して織物工場に送付するの必要ありたれば生絲検査所の品位部に依頼して生絲着荷の都度一荷口毎に検査を行ひ更に生絲検査所技師平林與喜太、絹業試験所技師水谷洞三兩氏に囑託して精密なる審査を施し夫々機業場に送付せり。

機織工場の選定に就ては先年 大正天皇御即位禮及 今上陛下御成婚の御盛儀に際し本會に於て企てたりし奉祝事業の例に倣ひ絹業試験所長に之を託しその推薦に依り左記の各工場に委嘱せるに何れも之を光榮とし修祓を行ひ繩を張りて工場を淨め従業員齋戒して之に當り日夜謹織に意を拂ひたるを以て皆豫定の期限内に仕上り殊に頗る入念優美の織物を得たり。

奉獻織物	製織委託工場
御料羽二重	石川山田長太
羽二重	同
ダマスクサティンクレープ	京都織物株式會社
紋ジョウゼツトシヤルムーズ	同
御洋服裏地練繻子	同
ジョウゼツトクレープ	富山縣織物模範工場
シヤルムーズ	飯塚春太郎
フアイエヌクレープ	帝國捻絲織物株式會社
御洋服地天蠶絲混織物	長野縣工業試驗場

御洋服地玉絲織物	同	形	同
御洋服裏地生縞子	山	羽前輸出織物同業組合	
御洋服裏地練綾縞子	山梨	定月喜嗣	
白	新	湯	小出權平

斯くて謹製せられたる織物及夏秋蠶繭を以て練絲したる生絲は時期の都合上織物原料に供し難かりしものありしを以て生絲の儘之を献上することとし十二月二十日評議員會に際し之を展覽し翌二十一日献上の手續を了したり献品名及數量左の如し。

献上品目録

一、御料羽二重(紅白)	二種二十疋
一、御洋服地紋ジョウゼツトシャルムイズ	五十碼
一、御洋服地ダマスクサテイソクレープ	百五十碼
一、御洋服地ジョウゼツトクレープ	百五十碼
一、御洋服地シャルムイズ	百五十碼
一、御洋服地フアイエクレープ	百五十碼
一、御洋服地天蠶絲混織	五十碼
一、御洋服地玉絲織	三十碼
一、御洋服裏地生縞子	五十碼
一、御洋服裏地練縞子	五十碼
一、御洋服裏地練綾縞子	五十碼
一、羽二重(二十三匁付)	百疋
一、羽二重(二十匁付)	百疋
一、羽二重(十四匁付)	百疋
一、白	十疋
一、生	一捆

以上

右の献上品毎に桐材を以て製作せる容器に納め包装を施し目録及謹製の經過概票と共に長岡主事職員はトラック二臺に積載赤坂離宮に搬入献上の手續を完了せり翌二十二日牧野會頭は長岡主事帶同總裁 閑院宮邸に伺候拜謁献上品各種(羽二重紅白、白縞等は各一疋御洋服地及裏地は五碼又は十碼)を献上し本事業の經過を言上したるに種々御下問あり御満足の御模様を拜察殊に關係者一同の勞を稿はれたる有り難き御言葉を賜はりたり。

尙各献上品は共進會、品評會等に於て營業者の觀覽に供したきためその一部を本會標本用として存置せり。

昭和四年四月十日印刷

昭和四年四月十二日發行

東京市赤坂區溜池町一番地

發行所 大日本蠶絲會

東京府千駄ヶ谷町五六二

印刷者 葛西虎次郎

東京市麴町區九段坂下

印刷所 株式會社 青雲堂印刷所

群馬県立図書館



0496435-9

100



